

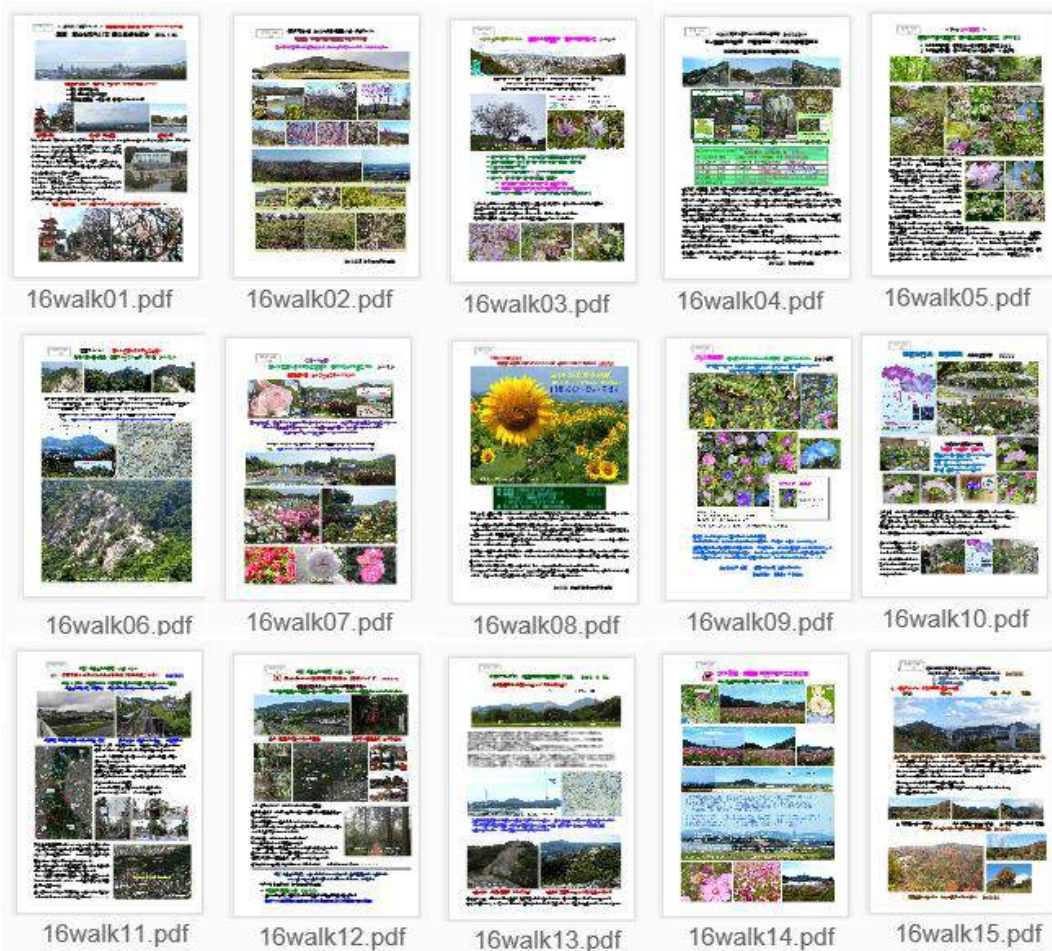
2016 風来坊 Country Walk

里歩き・山歩き・街歩き 2016

水行末 曇来末 風来末

2017. 3. 1.

Mutsu Nakanishi Home Page <http://www.asahi-net.or.jp/~zp4m-nkns/>



Iron Road 縄文 ぶらっと訪れた街の景色 四季折々

日本各地に残る素晴らしい風景 自分だけの景色を見る楽しみ

歳をとるにつれ、遠くへはなかなか行けませんが、まだまだ元気 好奇心一杯

神戸を中心に 四季折々の風景を思いついては ぶらっと訪ねています。

*毎年 同じ景色を眺めるのも楽しみ ぶと見かけた自分だけの景色の発見もうれしい
全くの独りよがりの風景の羅列です。*

体力の衰えはいかんともしがたし

だんだん 山や谷筋をへ入れなくなって きましたが、

その分 街歩きの楽しみが増えました

Country Walk 風来坊

By Mutsu Nakanishi

水行末 雲来末 風来末 和鉄の道 風来坊

Iron Road 縄文 ぶらっと訪れた山・里・街角 そして歴史を訪ねて
日本各地には 自然・人・地域・歴史の痕跡とともに
地域それぞれ・四季折々 素晴らしい日本の原風景が残り、
訪れると いつも新しい発見があり、 自分だけの景色で迎えてくれる
Country Walk の楽しみです

鉄の「まばゆい輝き・閃光」と「黒光り・肌光」

日本には「たたら製鉄」という鉄鉱石や砂鉄の塊から、
「硬くてねばい鋼」を直接作り出す日本古来の製鉄法がある。
ヒッタイトが人工鉄を発明した当初の姿を現代まで残し、
現在の製鉄法にも負けない高品質の鋼を作り出す技術に高め、
維持している日本独自の製鉄法である。



砂鉄との出会い 九十九重浜・飯岡浜



山・里・街角



日本に「鉄」が伝来して、この「たたら製鉄」が行われるまで、約800年の長きにわたってたたら製鉄法の摸索が続き、その技術をさらに磨き高めながら1500年続いてきた日本独自の製鉄技術。

「鉄は国家なり」「鉄は産業の米」と「鉄」の力が強調される一方で、文化を育み、そこに住む人たちの生活を豊かにし、現在に至る日本を作ってきた。

人里離れた里山の谷筋や川筋・海岸などなどに、産業生産・工房・街・街道などの痕跡とともに、それに携わった人々の賑わいや数々のドラマとともに日本の原風景といわれる素晴らしい景色が今も残っています。

そんなIron Road を訪ねつつ、日本各地に残る素晴らしい四季折々の風景を求めてCountry Walk 10数年。最近では年とともに遠くへ行かれなくなりましたが、まだまだ 元気 好奇心も一杯。素晴らしい景色とともに数々の出会いの楽しみも。日本各地のCountry Walkを楽しんでいます。

和鉄の道・Iron Road
縄文人は山を望む素晴らしい景色の森に村を作った
製鉄集団の住む街道・谷筋・浜にも素晴らしいドラマと四季がある。



2016 風来坊 Country Walk

水行末 雲来末 風来末

2016 風来坊 里歩き・山歩き・街歩き まえがき

本年も私の住む神戸を中心とした近郊の里を例年季節折々訪ねる花便り・近郊ハイクの楽しみが中心。それをスライド動画にしてBGM を楽しむスタイルが定番化してしまいました。

春を待ちかねて咲く梅・カタクリに始まり、菜の花・桜 そして石楠花・バラへ

夏はクリンソウ・アジサイ・ひまわりそして 京朝顔 六甲の高山植物園・京都府立植物園のバオバブを訪ねるのも定番に。 秋は黄金色 Country Walk に輝く播磨の田園とヒガンバナ・秋桜から紅葉へ。毎年西神戸・播磨の里を訪ねるのが楽しみに。



ほとんどが、デジカメ片手の原チャリで

田園地帯・里山の集落を駆け抜ける訪ねないと落ち着かない胸ワクワクの Country Walk。

また、相変わらず、運動不足解消の西六甲須磨アルプス周辺ハイクにも励んでいます。

毎年同じような景色ばかりですが、自分的には季節を楽しむ うれしい Walking。

新しい情報が提供できずで ごめんなさい。

そんな中で、私にとっては また一つ新しい Country Walk のコースが付け加わりました。

4月の但馬大屋加保坂・ハチ北の高層湿原に咲く氷河期の生き残りの水芭蕉

9月の念願の京都東山三十六峰越 & 山科側西野山・稻荷山の古道参詣道



まだまだ元気 好奇心もある 水行末 雲来末 風来末 毎日の街歩きも楽しみになりました

2016 風来坊 Country Walk もくじ

山歩き・里歩き・街歩き 2016

風来坊 Country walk 【15】山歩き・里歩き・街歩き 2016

1. 1月末 酷寒の寒さも和らいで 春の足音を探す 2016. 1. 26. 16walk01. pdf
須磨網敷天満宮・離宮公園 春の花とハートバレンタイン展
 1. 須磨 網敷天満宮の梅
 2. 須磨 陽光の影が映り輝く須磨浦
 3. 須磨離宮公園温室 春の花とハートバレンタイン展
2. <<早春のアルバム>> 神戸 神出の里 早春の雌岡山山麓 Walk 2016. 2. 26. 16walk02. pdf
弥生三月 春が生まれてる 春はもうそこまで
3. <<2016 神戸の春アルバム>> 早春から春爛漫に 神戸の春を駆ける 16walk03. pdf
 - ◆神戸の春の海からの贈り物 「イカナゴ」漁と西播磨相生・室津の殻付き牡蠣
 - ◆早春の大阪街散歩& 淀川3河川(桂川・宇治川・木津川)合流点 淀川背割り堤
 - ◆3月27日 復活日(イースター)
 - ◆西神戸の里での例年の土筆とり & 久しぶりの春選抜野球の応援に
 - ◆神戸でも 桜も咲き始め 野も街も桜満開 春爛漫に
 - ◎ 神戸奥平野の「舞桜」と神戸市民の山 再度山の山桜
 - ◎ 西播磨 佐用町漆野の「大糸桜」と姫新線千種川沿い桜堤
 - ◎ 毎年春になると一番出會いたい 山の斜面で身を震わせる春の妖精「カタクリ」
4. <<2016 神戸の春アルバム>> 新緑の但馬路 氷ノ山山系大屋加保坂・ 16walk04. pdf
八チ北の高層湿原に 氷河期の生き残りの水芭蕉を訪ねる 2016. 4. 20.
5. <<2016 神戸の春アルバム>> 六甲森林植物園 石楠花谷& 六甲高山植物園
<<2016 石楠花>> 新緑の六甲に石楠花・春の高山植物を訪ねる 2016. 5. 2. 16walk05. pdf
6. 新緑の西六甲縦走路 須磨アルプスの岩稜 馬の背 2016. 5. 21. 16walk06photoA. pdf
7. 春の終わりを飾るばら 須磨離宮公園 ローズフェスティバル2016 2016. 5. 21. 16walk07photo. pdf
8. ひまわりの夏 2016 小野市ひまわりの丘 & 佐用のひまわり畑を訪ねる 16walk08. pdf
 - 小野市ひまわりの丘で 2016. 7. 11
 - 千種川が流れ下るたたら郷たたら郷 佐用のひまわり 2016. 7. 20.
 - 夏の冷風 佐用旧上月 櫛田の飛龍の滝 2016. 7. 20.
9. 2016 朝顔帳 2016 盛夏 夏の朝を爽やかにしてくれる朝顔 2016. 8月. 16walk09. pdf
10. 京都半日会 京朝顔展 京都府立植物園 2016. 8. 2. 16walk10. pdf
11. 京都 東山三十六峰越 walk【1】 京都にうれしい散歩古道の発見
京都市街と山科を結ぶ東山滑石越「滑石街道」を歩く 16walk11. pdf
12. 京都 東山三十六峰越 walk【2】 稻荷山降臨伝承の三ヶ峰から伏見稻荷大社へ
東山三十六峰南端の稻荷山 三ヶ峰越 横断ハイク 2016. 9. 12. 16walk12. pdf
13. 天然の滑り台!! 小野アルプス「紅山」南稜岩尾根ハイク 2016. 9. 24. 16walk13. pdf
14. 2016 秋桜 東播磨 志方の郷のコスモス畑 2016. 10. 15. 16walk14. pdf
15. 【Photo Album】 師走の紅葉 今年はずぐ近くで こんな紅葉に 2016. 12. 6. 16walk15. pdf
 1. 須磨アルプス・妙法寺界限
 2. 京都御所

須磨 寒さも和らいで 春の足音を探す 2016. 1. 26.



須磨離宮の高台より 須磨の浦 淡路/紀州 紀淡海峡を遠望 2016.1.26.

- ◆ 須磨 網敷天満宮の梅
- ◆ 須磨 陽光の影が映る須磨浦
- ◆ 須磨離宮公園温室 一足先の春 春の花とバレンタイン展



須磨網敷天満宮



明石海峡・淡路島遠望



須磨離宮公園

新春 暖冬の中 極寒の厳しい寒さが神戸でも続いていましたが、やっと暖かい日差しに。寒さから解放されて 戸外に出かけたくなって 何か暖かさを感じる花の写真撮りたいと毎年 一番早く春がやってくる須磨海岸の網敷天満宮の梅を訪ねて、それから須磨離宮公園の丘から須磨の浦の海を眺めようと。

ラッキーなことに 離宮公園の温室では 春の花展 一足先に春を。まだまだ春がやって来るのは先ですが、曇り空の海も雲間から漏れる光が海に光の影を映して幻想的な海景色。

何とはなしに心浮き浮き 一足早い春を楽しんで帰りました。

また、庭では 満開の蟬梅に美しい姿の野鳥がやってきて花の蜜をすすっています。北からの渡り鳥「ショウビタキ」と名が知れましたが、北の空に飛びかえる準備の真っ最中なのだろうと。

春到来が待ち遠しい須磨のスナップをアルバムにしました。



- ◆ 須磨 網敷天満宮 まだ 大半はつぼみが固いのですが、一部梅が咲き始めました ◆



須磨 網敷天満宮の梅が咲き始めました 2016.1.26.



須磨 網敷天満宮の梅が咲き始めました 2016.1.26.

◆ やっと酷寒が収まった1月末 光の影が織りなす幻想的な明石海峡景色 2016.1.26. ◆



◆ 春の花とハートバレンタイン展 須磨離宮公園 温室で ◆

もう バレンタインデーも遠い過去の記憶に でも何となく晴れやかな気分に
寒い季節に温かな観賞温室 ここはもう春 心も身体も温まります



春の花とハートバレンタイン展 須磨離宮公園温室で 2016.1.26



愛を伝える花言葉

サクラソウ科 プリムラ
Primra Rose



プリムラ ジュリアン
「永続する愛」

冬～春の花
(最盛期は12月～3月)
花色は赤・紫・ピンク・白・黄・
オレンジなど



プリムラ全体の花言葉
「青春の恋」

<p>プリムラ・シネンシス 「永遠の愛」「気取らない愛」</p>	<p>プリムラ・ボリアンサ 「無言の愛」「一目惚れ」</p>	<p>プリムラ・オボユカ 「初恋」</p>
<p>プリムラ・ジュリアン 「永続する愛」</p>	<p>プリムラ・マラコイデス 「気取らない愛」</p>	<p>《種類別の花言葉》 プリムラ・シネンシス 「永遠の愛情」「気取らない愛」 プリムラ・ボリアンサ 「無言の愛」「一目惚れ」 プリムラ・オボユカ 「初恋」 プリムラ・ジュリアン 「永続する愛」 プリムラ・マラコイデス 「気取らない愛」</p>
<p>チューリップ 「思いやり」</p>	<p>ヒヤシンス 「悲しみを越えた愛」</p>	<p>マーガレット 「真実の愛」</p>
<p>シクラメン 「ほにかみ」</p>	<p>オキザリス 「喜び」「舞く心」</p>	<p>チューリップ 「思いやり」 ヒヤシンス 「悲しみを越えた愛」 マーガレット 「真実の愛」 シクラメン 「ほにかみ」 オキザリス 「喜び」「舞く心」</p>



サクラソウ科 プリムラ Primra Rose 花言葉は「(青春の)愛」



春の花とハートバレンタイン展 春の花



須磨廣島公園温室で 2016.1.26



須磨廣島公園温室で 2016.1.26



須磨の梅に渡り鳥「ショウビタキ」もやってきました
2016.1.26、by Mitsu Nakanishi



須磨・須磨公園温室の梅が咲き始めました。2016.1.26

梅の花もさきはじめ、酷寒の寒さも和らぎ
多くの船が行き来する明石海峡に
陽光が光の影を映し、幻想的な景色を作る
庭の繡梅に渡り鳥「ショウビタキ」もやってきて
須磨の春が待ち遠しい一日でした
2016.1.26、by Mitsu Nakanishi

雌岡山・神出の里の田園地で見つけた春

花の香りが漂う林の中を野鳥たちが 楽し気に飛び回っています もう春はそこまで



雌岡山梅林に咲きだした梅の花 その香りに野鳥たちも数多くやってきている 重なり合う梅の花のピンクのグラデーションは満開では見られぬ美しさ 2016.2.25



雌岡山東斜面に広がる雌岡梅林から ピンクの花越しに 須磨から明石海峡・淡路島までの遠望 明石海峡遠望 雌岡山山頂神出神社より



神出の里の田園地(Ⅰ) 畑の畔に顔を出したフキ、カワ 雌岡山の雑木林に顔を出した 早春の田園地を明るくする 神出の里の田園地(Ⅱ) 菜の花



梅の花ばかりに眼がいていましたが、ふと足元を見ると タンポポやホトケノザ等々 足元は春の野草のじゅうたん

《早春のアルバム》

西神戸神出の里 早春の雌岡山山麓 Walk 2016. 2. 25.

弥生三月 春が生まれてる 春はもうそこまで



- ◆ 雌岡山 東山腹に広がる梅林の梅と明石海峡の遠望
- ◆ 雌岡山山頂からの眺めと直下の雑木林に顔を出す雪割草
- ◆ 雌岡山南山麓神出集落の田園で春を見つける



雌岡山東斜面に広がる雌岡梅林から ピンクの花越しに 須磨から明石海峡・淡路島までの遠望



暖冬でいつもより早い春 各地からの梅便りを聞いて、毎年出かける西神戸神出の里の雌岡山。山腹に広がる梅林も もう淡いピンクに染まる頃 雑木林の中のカタクリの花が咲くにはまだ早い、雪割草はもう落葉から顔をのぞかせる違いない。梅の花越しに見る東播磨の早春の里景色も眺めたい。

2月25日晴天の午後 今日暖かくて絶好の花日和と いつもよりはちょっと早いのですが、原チャリを走らせて30分ほど 毎年出かける西神戸の田舎 神出の里 雌岡山に出かけ、早春の春景色を探しに。

今年も早春の西神戸の田園の春景色に出会ってきました。

また、雌岡山の南山麓の溜池の水面に大きな白い筏が浮いていて、毎度の春景色とともに新しい時代の景色も加わりました。

「弥生三月 春が生まれてる 春はもうそこまで」

西神戸神出の里 早春の雌岡山山麓 Walk を写真アルバムにしました。



神出の里の溜池に浮かぶ大きな白い筏 ???
雌岡山の山頂から眺めた神出の里の新しい景色
これは何だろう? 興味津々で.....

◆ 雌岡山 東山腹に広がる梅林の梅と明石海峡の遠望



遠く東播磨平野から明石海峡を見張らせる雌岡山の南東山腹に広がる雌岡山梅林 2016.2.25.



雄岡山と雌岡山 東西に並ぶ二つの山の鞍部 金棒池の横から雌岡山へまっすぐ尾根を登る道の南側一帯が梅林。時期的にはかなり早いのですが、今年は暖冬から 花がいっぱい。満開の時期ではないので、重なり合った樹木の花が相互に透かしあって、素晴らしいグラディションを作っている。また、今日は天気が良くて 梅林の南むこう遠くには西六甲の山々から明石海峡・淡路島がよく見え、ラッキーなお花見日和。梅の花と東播磨の景色ばかりに眼が言っていて、気が付かなかったのですが、足元ではタンポポやホトケノザなど 春の野草が花をつけ、梅の花の蜜を吸うメジロやショウビタキなどの野鳥にも出会えました。



雄岡山 神戸から須磨へと海岸沿いに連なる西六甲の山々 西神ニュータウン 明石大橋 明石海峡・淡路島 梅の香りを漂わせる淡いピンクのグラディション その南に広がる東播磨の田園の向うに須磨から明石海峡の海岸線



雌岡山の南東山腹に広がる雌岡山梅林で 2016.2.25.



此雄岡山の南東山腹に広がる雌岡山梅林で 2016.2.25

梅林の中で、しきりにファインダーを覗いてシャッターを切っている人たちがいる。近づいて聞いてみると 野鳥を撮っているという。

この雄岡山は非常に野鳥の多い処で神戸六甲周辺の鳥が次々やってきて、種類の多いことで有名。今日も次々と種類の違う野鳥が入ってきているという。

私も ちょっと ついて行って ショウビタキが梅の蜜をそそる写真が撮れました。



梅の花の足元にはタンポポ・ホトケノザ等々春の野草も一杯花をつけていました ここにも春が

◆ 雌岡山山頂からの眺めと直下の雑木林に顔を出す雪割草



雌岡山山頂から眺める神出の田園地帯から西神ニュータウン・明石大橋遠望 2016.2.25.



神出の里の溜池に白い筏 そこに人がいる



明石海峡大橋の遠望

雌岡山梅林から、少し上へ登ると神出神社のある雌岡山山頂。山頂からは南に広がる東播磨の田園・西神ニュータウンそして その向こうには 須磨から明石海峡・淡路島の海岸部が遠望できる。毎度の景色であるが、いつ来ても心地よい景色が堪能できる。特に春はかすんで、よく見えぬ明石海峡大橋が今日はよく見えている。

また、山のすぐ下に見えている神出の溜池群の一つ合ノ池に白い浮き架台がいくつも連結されて 大きな筏が組み立てられ、浮かんでいる。初めて見る光景。この白い筏は何だろう？ そして 人が筏の上で作業しているのが見える。

また、太陽電池パネルは乗っていないが、おそらく太陽電池/パネル設置用の架台筏か？

播磨は雨の少ない地で 溜池の多いところ。クリーンエネルギーの太陽発電所発電所設置には絶好の場所だ。たぶんそうだろう。今 クリーンエネルギーとして 太陽電池発電所が、各地の田園遊休地を利用して設置されていると聞く。

溜池の多い西神戸・播磨地方はかっこうの設置場所に思える。西神戸での溜池を活用した先端事業の始まりになるかも...後で山を下ったら確かめに行こうと。

神出神社にお参りして、頂上のすぐ下 西北斜面日陰の雑木林の中 カタクリの花の群生地の中に咲く雪割草を見に行く。カタクリの花にはまだこの時期早いのですが、同じ雑木林の中の一部に、雪割草が落ち葉の間から顔をのぞかせていました。

誰もいない雑木林の中、今年も花びらの先を薄い紫色に染めた白いかれんな花 花言葉は「信頼」「はにかみや」などと言われる早春を代表する花「雪割草」に出会えました。



落葉から顔を出し始めた「雪割草」 2016.2.25.

花言葉は 信頼・はにかみや

◆ 雌岡山南山麓神出集落の田園におりて、春を見つける

1. 合ノ池の白い筏を見に行く 2. 田園の中に菜の花とフキノトウを見つける



● 合ノ池に浮かぶ白い筏の正体は

やっぱり 太陽電池パネル設置用の架台でした

雌岡山の頂上からまっすぐ麓の神出神社の石の鳥居のところまで下って、そのままさらに南の神出の溜池群の縁に出て、頂上でみた合ノ池の土手に登る。

頂上で見た作業をしていた人たちはボートで向かい側に帰っていましたが、土手にはきつたイヤールのリールがそのままになっていて、池に浮かんでいるのは太陽電池パネル設置用の架台と知れました。

まだ 規模などわかりませんが、この神出の溜池が太陽電池発電所になるのだと。インターネットをみると同じような溜池の水面一杯に敷き詰められた白い架台の上に搭載された太陽電池パネルで構成された同じ

播磨の溜池地帯 加東市西平池の太陽電池発電所の写真がありました。雨の少ない播磨地方の溜池群は太陽電池パネルを敷き詰める絶好の場所。これから いくつもこんな発電所が作られるのだろう。完成が楽しみだ。



太陽電池パネル設置ケーブルのリール

雨の少ない播磨地方の溜池群は太陽電池パネルを敷き詰める絶好の場所。これから いくつもこんな発電所が作られるのだろう。完成が楽しみだ。



神出の里の溜池 合ノ池に浮かぶ白い筏の正体はやっぱり 太陽電池パネル設置用の架台でした 2016.2.25



● 溜池群がひろがる神出の里の田園地で菜の花とフキノトウを見つける



神出の里の溜池の土手の横でみつけたフキノトウ 2016.2.25.
もう最盛期を過ぎているのでしょうか、今年初めて見るフキノトウです



神出の里で見つけた菜の花畑 菜の花のはたけにはいるとパッと明るくなる 春はもうすぐそこ



《2016 神戸の春アルバム》 早春から春爛漫に 神戸の春を駆ける 2016.4..10.



満開の花をつけた枝を 精一杯広げる桜に 人それぞれの なつかしい思い出がある
また、私には 桜と共にもう一つ人一倍愛着がある春の花がある。
里山の斜面の雑木林の中 風に身を震わせて立つ春の妖精「カタクリ」の花



満開の花をつけた枝を 精一杯広げる桜に 人それぞれ 思い出がある
神戸の市街地 再度山山裾の高台 水の科学館(奥平野貯水池)
樹齢約70年の大きな一本桜「舞桜」が、今年も満開の花をつけました。2016.4.4.

春の妖精 カタクリの花 2016

花言葉は「初恋」・「耐える」

地球氷河期の生き残り
8年かけて地表に顔を出し
山腹の斜面で冷たい風に身を打ち震わせ
て立ち向かう姿に心を揺さぶられる

今年も元気な姿に出会えました

桜の便りが届きだすと毎年出会いに行く
佐用ただらの里のカタクリの花
春一番の楽しみ カタクリの花との出会い
その愛らしい姿にじっと目を凝らす



千種川が流れる下西福磨佐用町 三日月町「弦谷」& 東徳久 殿崎 カタクリの群生地です 2016.4.5.

- ◆ 神戸の春の海からの贈り物 「イカナゴ」漁と西播磨相生・室津の殻付き牡蠣
- ◆ 早春の大阪街散歩& 淀川3河川(桂川・宇治川・木津川)合流点 背割り堤
- ◆ 3月27日 復活日(イースタ)
- ◆ 西神戸の里での例年の土筆とり & 久しぶりの春選抜野球の応援に
- ◆ 神戸でも 桜も咲き始め 野も街も桜満開 春爛漫に
 - ◎ 神戸奥平野の「舞桜」と神戸市民の山 再度山の山桜
 - ◎ 西播磨 佐用町漆野の「大糸桜」と姫新線千種川沿い桜堤
- ◆ 毎年春になると一番出会いたい 山の斜面で身を震わせる春の妖精「カタクリ」

3月から4月初めにかけて早春から春爛漫に。野山も里も草木萌え 目まぐるしく移り変わる春景色
生命観あふれる自然の中に飛び込んで、春を楽しむ

私の毎年の春迎え 戸外に飛び出して 元気いっぱい うれしい季節になりました
神戸近郊の春景色 walking を短いスライド動画とPhoto アルバムにしました



春爛漫 日々新た 新しい出会いと出発へ
「老いてはられない 前向いて 一步を踏み出して」と



どこかで 春が生まれる 新しい出会いと出発の4月を迎える
花の香りが漂う春に胸膨ませ、仲間元気を活力に!!
時には助けてもらいながら わが道を前向いて

3月27日はイースター・復活日

毎年 復活日が来るとキリストの受難に思いをはせ、自らをふりかえり、わが身に感謝し、家族・仲間 そして地球の人たちへと思いをはせる

希望の明日をして世界平和を春の花に込めて「神とともにいまして」との思いもあらた新しい出発を誓う

Happy Easter 2016

2016.3.27. Mutsu Nakanishi from Kobe

「希望「愛」風し」
アーモンドの花の香りが漂う春

春爛漫 新しい出会いと出発へ 日々新た
老いてはられない 前向いて 一步を踏み出して



2016年春爛漫 桜
満開の花をつけた枝を 精一杯広げる一本桜 人それぞれに 思い出がある



神戸 再度山 山桜



神戸 奥平野の「舞桜」



西播磨佐用 淺野光福寺の「大系桜」



姫新線三日月 佐用川の桜堤



春の妖精 カタクリの花 2016
花言葉は「初恋」「耐える」

地球氷河期の生き残り
8年かけて地表に顔を出し
山溪の科露で冷たい風を打ち振り
立ち向かう姿に心を惹きつけられる



2016年 春の妖精 カタクリの花 西播磨 佐用町 東徳久殿崎-弦谷で
西播磨佐用町 三日月町 弦谷 & 美池の 殿崎
カタクリ群生帯を初発見し、2016.4.5

東徳久殿崎 カタクリ群生帯で 2016.4.5



三日月町弦谷 カタクリ群生帯で 2016.4.5

【参考 風来坊 by Mutsu Nakanishi】

《[スライド動画] かつて訪れたことがある日本各地の一本桜》 2014.5月

桜を眺めるといつも口ずさむ歌がある 懐かしい私の応援歌 かつてのTVドラマ主題歌 「記念樹」

<http://www.infokkna.com/ironroad/2014htm/walk11/1405fkobe01.htm>

イカナゴは夏眠する珍しい魚

神戸の春の風物詩「イカナゴ」

今年は暖冬がたたって 大阪湾の水温が高く、大阪湾を回遊するイカナゴの稚魚が極端に少なく、不漁。高値を呼んで 毎年神戸ではイカナゴの釘煮の話題で盛り上がるのですが、今年是不発。

でも、店先には例年ほどではありませんが、釘煮にするイカナゴを求める行列ができていました。



2016.3.12. 明石魚の棚で

ところで 「イカナゴは1年の半分近くを寝て過ごす夏眠する修正を持つ珍しい魚」と砂の中から頭を出す写真入りで新聞に掲載されていました。イカナゴは、もともと寒い北の海の魚で、お正月前後が産卵期 卵は明石海峡や紀淡海峡近くの海底の砂つぶに産み付けられ、10日ほどでふ化。 海の流れに乗って大阪湾内に広がり、海中のプランクトンを食べながらぐんぐん大きくなり、2月下旬から3月初めになると、体長3cm程に成長。 それを待って 春の風物詩イカナゴ漁が始まるのだと。

生き残ったイカナゴは 水温が高くなる6~7月頃になると、体力の消費を避けるため、海底の砂の中に潜って活動を停止する。これを「夏眠」と呼ぶという。

イカナゴはそれ以後 餌も食べず、12月まで砂の中でじっとしている。

この習性は、彼らが北の海から南へ分布を広げるために身につけた、暑い夏を乗り切るすばらしい戦略。そして、12月頃になって水温が下がってくると、イカナゴは砂の中から出てきて、産卵をおこない、満1才で親になるという。

今年は 一説によると今年は大阪湾の海水温が高いために、大阪湾に入る イカナゴが極端に少なくなったのだと。 無数のイカナゴが砂から頭を出している写真を見ながら「イカナゴは生き延びるため すごい戦略を持っているのだ」といままらながらびっくり。 高山植物などの植物の生き残り戦略の話はよく聞かいて 知っていましたが、魚にも こんな生き残り戦略がある。

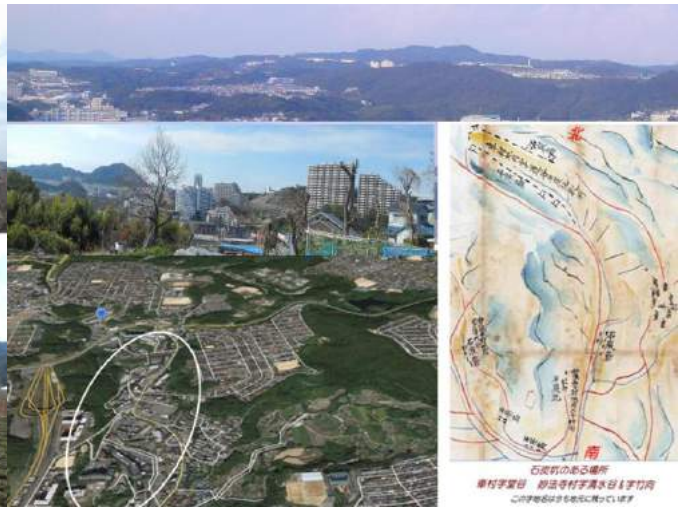


一度歩いてみたかった 桂川・宇治川・木津川の合流点 淀川の背割堤 2016.3.16.

1.4kmにわたって 淀川の合流点の中州に築かれた堤今は鶯がのどかに 鳴き声の練習中 もう春がすぐそこ

でも 4月には左写真のように桜のトンネルに







春爛漫 神戸 奥平野の舞桜も満開に 2016.4.4.



満開の花をつけた枝を 精一杯広げる桜に 人それぞれ 思い出がある
神戸の市街地 再度山山裾の高台 水の科学館(奥平野貯水池)
樹齢約70年の大きな一本桜「舞桜」が、今年も満開の花をつけました 2016.4.4.



再度谷川沿い桜並木 2016.4.4



水の科学博物館の横を流れ下る再度谷川岸の桜並木 神戸市兵庫区で



水の科学博物館 2016.4.4



再度谷川沿い大師道を遊んで 再度山大蔵寺へ 2016.4.4
再度山の山桜を眺めに行く



春の妖精 カタクリの花 2016

花言葉は「初恋」・「耐える」

地球氷河期の生き残り
8年かけて地表に顔を出し
山腹の斜面で冷たい風に身を打ち震わせ
て立ち向かう姿に心を揺さぶられる

今年も元気な姿に出会えました

桜の便りが届きだすと毎年会いに行く
佐用たたらの里のカタクリの花

春一番の楽しみ カタクリの花との出会い
その愛らしい姿にじつと目を凝らす



千種川が流れ下る西播磨佐用町 三日月町「弦谷」& 東徳久 殿崎 カタクリの群生地 2016. 4. 5.



西播磨佐用町三谷川 桜並木に沿って流れる志文川原の跡 2016.4.5



春のたたらの里 西播磨佐用町徳久を流れ下る千種川 2016.4.5



東徳久 殿崎 カタクリ群生地 2016.4.5



東徳久 殿崎 カタクリ群生地 2016.4.5



西播磨佐用町旧三日月町 姫新線に沿って流れる志文川堤の桜 2016.4.5.



西播磨佐用町 漆野 光福寺 樹齢300年を越す大糸桜 2016.4.5.



西播磨佐用町 漆野 光福寺 樹齢300年を越す大糸桜 2016.4.5.



西播磨佐用町 漆野 光福寺 樹齢300年を越す大糸桜 2016.4.5.

どこかで 春が生まれてる 新しい出会いと出発の4月を迎える

花の香りが漂う春に胸膨らませ、仲間の元気を活力に!!

時には助けてもらいながら わが道を前向いて



2016.4.5.

by Mutsu Nakanishi

氷ノ山山系の山郷 大屋加保坂・ハチ北の高層湿原に

氷河期の生き残りの水芭蕉を訪ねる



新緑の但馬路の春景色 山腹をキャンパスに 新緑をピンクの山桜・ミツバツツジが彩る 山が萌え輝く一瞬

◆ 芽吹きの中 中国山地 但馬路	山腹全体をキャンパスに新緑の中 ピンクの山桜・ミツバツツジが点在 新緑の春景色 山が萌え輝く一瞬・林を彩るミツバツツジ
◆ 養父市大屋 樽見	山腹から里を見下ろす新緑の一本桜 樽見の大桜「仙桜」
◆ 養父市大屋 佐保坂峠	西日本で唯一自生す加保坂峠湿原 南西限の水芭蕉
◆ 香美町ハチ北高原	水芭蕉の里 休耕田の水芭蕉 (ハチ北高原 休耕田栽培地)
◆ 香美町ハチ北高原	ハチ北ゲレンデ 小沼湿原の水芭蕉 (自然環境での水芭蕉観察栽培地)
◆ 香美町ハチ北高原	ハチ北ゲレンデ 丘を黄色に埋める水仙をバックに立つ白樺の木
◆ 但馬路の水芭蕉	但馬路で訪ねた水芭蕉2016

兵庫北部 中国山地 生野峠を超えて兵庫県北西部の但馬氷ノ山山系の古生湿原に咲く水芭蕉を訪ねました。香気に自然の中に飛び込んでいる場合ではないのかもしれませんが、桜が散って野山は芽吹き 一年で一番輝く季節に。新聞に「ハチ北高原で、今年も水芭蕉が咲いている」との記事を見て、但馬路の芽吹きの中を思い浮かべ、無性に水芭蕉に出会いたくなって、5月19日に家内と二人 芽吹きの中を但馬の山を眺めながら、西日本で唯一水芭蕉が咲く但馬 養父 大屋加保坂峠湿原やハチ北高原の湿原を訪ねました。

但馬で咲く水芭蕉は栽培しているものばかりと思い込んでいましたが、ほんやりとは聞いたことがありましたが、氷ノ山山系の養父市加保坂峠湿原では氷河期から一万年藻の長きにわたり、水芭蕉にとっては温暖化・乾燥化 そして他の植物との競争を戦いながら、生き延びてきた水芭蕉が静かに咲いていて、思わずがんばれ!!と。

水芭蕉が咲く湿原ばかりでなく、久しぶりに眺めた中国山地 但馬の春。新緑の山並みは山腹全体をキャンパスにして 芽吹きの中を緑のグラデーションの中に山桜やミツバツツジのピンクをちりばめ、鳥たちのさえずりが聞こえる雑木林 そして人影のないスキーゲレンデの丘一面は紀伊伊弉諾のじゅうたんに。山が萌え輝く最も素晴らしい時でした。

日本各地でも素晴らしい芽吹き・新緑の春景色がみられることだろうと思いつつ、デジカメで但馬の春 山里の春景色を撮ってきました。元気が出る春の訪れ。 戸外に出て この一番の季節を。



新緑の但馬路 萌える山並 播但有料道路 朝来周辺 2016.4.19



新緑の但馬路 播但有料道路 天空の城 竹田城址 2016.4.19

新緑の但馬路の春景色 山腹をキュンパスに 新緑をピンクの山桜・ミツバツツジが彩る 山が萌え輝く一瞬



山はミツバツツジが満開 大屋加保坂峠のツツジとバック妙見山

ハチ北グレンデの水仙の中に立つ白樺 バックにはどっしりと妙見山

新緑をまとった一本桜 樽見の仙桜 花がなくともその存在感と美しさは抜群

但馬路の山越でみた山里の景色 加保坂峠から関宮への峠道で

晴天に恵まれ、心地よいドライブ。いつもは地道を行くのですが、今日は但馬路の山中で、場所もあやふや。時間短縮のため、山陽自動車道・播但有料道路に乗って、福崎・生野峠越をして 朝来の和田山ICに出るよく知った道。但馬路は新緑の春一色。山腹をキュンパスに 新緑をピンクの山桜・ミツバツツジが彩る。もう神戸では桜も散って、ヤマツツジも盛りを過ぎていますが、散ってしまいましたが、但馬路は一番の春景色。峠を越えて朝来にはいり、正面の山の上に今ブームになっている天空の城竹田城址が見えると間もなく和田山。もうここは円山川が日本海へ流れ下る但馬の真ただ中。和田山JCTからそのまま豊岡へ向かう北近畿自動車道に合流してトンネルをぬけると氷ノ山・八鹿IC。ここで高速道路を降りる。養父市八鹿 一つ手前の朝来市和田山とともに京都からの山陰道と神戸姫路から生野峠越えて但馬へ入る街道の合流点で、昔から但馬路へ入る交通の要衝。ここからさらに円山川沿いを北に下れば豊岡。また 中国山地の山中を西北に延びる山陰道を行けば 但馬美方をぬけて鳥取へと続く。また、ここは氷ノ山・鉢伏山ハイク 関西の冬のスキーのメッカ鉢伏山への入り口でもある。



新緑の但馬路 播但有料道路 養父IC周辺 2016.4.19



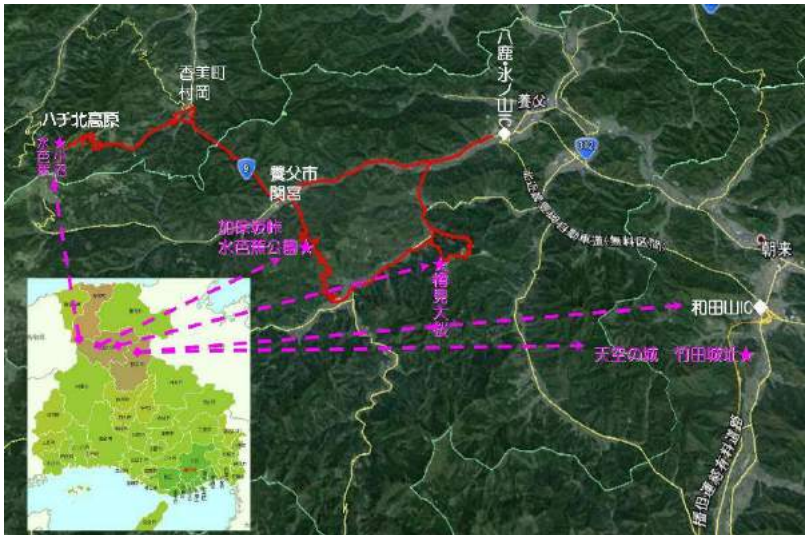
八鹿・氷ノ山ICを出るとすぐ前にある道の駅「八鹿たじま蔵」に入り、観光案内所へ。あやふやだった八チ北高原の水芭蕉への地図をもらいに行く。

この案内所で、思いがけず これもまた あやふやだった養父市大屋町加保坂にある水芭蕉は西日本唯一の自生地であることを知り、そこへの途中に「樽見の大桜」があることを知りました。以前から見たかった一本桜です。

もう葉桜と聞きましたが、ちょっと立ち寄って それから加保坂の水芭蕉を見てから、さらに北に位置する八チ北高原の水芭蕉を見に行くことに。

但馬大屋加保坂・八チ北の高層湿原に氷河期の生き残りの水芭蕉を訪ねるドライブ ルート図

養父市八鹿 道の駅「ようか但馬蔵」→ 国道9・八木川沿い山陰道を西へ→ 剣大橋を渡って南へ県道272・樽見
 → **樽見の大桜**→ 県道6・大屋川沿い加保→ 県道714・北へ川を渡って加保坂峠 **水芭蕉自生地 加保坂湿原**
 → 県道714・北の国道9・関宮→国道9・山陰道 香美町村岡→八チ北口から西へ大谷川沿い県道531・八チ北温泉
 → **八チ北高原・水芭蕉の里**→ 八チ北高原・スキーゲレンデ→ **水芭蕉 大沼小沼湿原** → 帰路八チ北口へ
 → 国道9・八鹿道の駅「ようか但馬蔵」→ 和田山から 国道312 生野峠へ



◆大屋樽見の大桜「仙桜」



樹齢500年1000年ともいわれるエドヒガンの但馬随一の一本桜。毎年4月 頂上近くの山腹から樽見の集落を見下ろして咲く大きな桜である。機会があれば是非と思いつつながら、見られずにいましたが、案内所のポスターにこの一本桜を見たくて。
 「もう 葉桜 いても仕方がないよ」と言われながらも ぜひ見たいと道を教えてもらって樽見の大桜入口まで車を走らす。
 ここからは山道を15分ほど 雑木林の中を抜けると 突如 新緑の枝を大空一杯に広げた大きな一本桜が目に入る。立派な一本桜。来てよかったと。



雑木林を抜けた上方 新緑の山腹に若葉を纏った一本桜の巨木
樽見の大桜「仙桜」の堂々とした姿が見えた 2016.4.19.



樽見の大桜への登り路 雑木林の中 かつては山腹に広がる桑畑だったという組石で区切られた幾つもの
区画の中を上り詰めると視界がぱっと開け、大作が情報に見える。 かつては ここにも集落があったのだろう



「山の神の依代」と信仰されてきた一本桜。かつては樹高が20mはあったというが、現在は樹高13.8m、根回り8m、目通り幹周6.3m。長年の風雪から樹勢が弱まったが、治療を大規模に施し、近年では持ち直しつつあるという。

◆ 南西限の地に自生する水芭蕉 -兵庫の最高峰 氷ノ山山系の山中 但馬の湿地に咲く氷河期の生き残り-
南西限の自生地 大屋町加保坂峠湿原 & 香美町八子北高原 大沼・小沼湿原ほか

水芭蕉は初夏尾瀬の印象が強いが、春雪解けの湿原に咲く「春の花」、
花言葉 「美しい思い出」「変わらぬ美しさ」

水芭蕉の南西限 但馬 氷ノ山山系の山中で育つ水芭蕉 ルーツはさまざま でもその姿を見るとうれしい

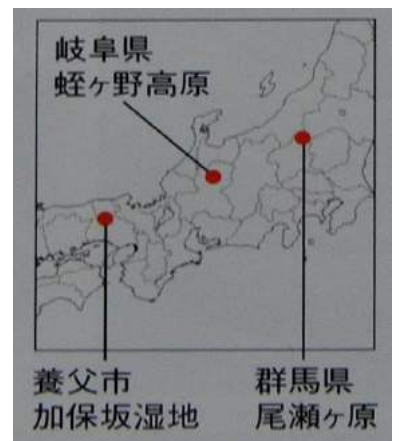


● 南西限の水芭蕉 加保坂峠湿原の水芭蕉
他の自生地と遠く隔絶された氷ノ山山系の山中 但馬の湿地に水芭蕉が自生するわけ

加保坂湿原の管理をしている地元の管理員の人から この地の水芭蕉の貴重さや発見のいきさつに始まり、草に覆われているこの湿原の下には 古生代からの泥炭層があり、今も豊富な地下水が流れ、湿原を保っている。

この地の土壌は ヒスイなどを出す蛇紋岩質のアルカリ性土壌で、植物が育ちにくく、耕作不適地であったことで、他の植物の侵入や耕地にならな かったなど荒らされず、今までずっと湿地が残ってきたことで、水芭蕉が生きながらえることができたと聞く。さらに いま直面している乾燥化や異種混入排除など この地の水芭蕉を守ってゆく上での厳しい現実などについても色々教えていただきました。

水芭蕉の通常の自生地帯から大きく飛び離れた南西の地但馬に水芭蕉が存在できた理由について、養父市のホームページには次のように解説されている。





水芭蕉が自生する加保坂湿原 2016.4.20.

思っていた湿原イメージと随分違つ、乾燥化が随分進んでいて、ほとんど水がみえず、水芭蕉も小さく湿原の草地の中に埋もれている。
目を凝らすと、この草原のあちこちで水芭蕉が咲いている。特にこの湿原の中央部の窪地状のところには葉の大きな水芭蕉が集まって咲いている。



西日本で唯一の自生地 加保坂の水芭蕉
養父市大塚町 加保坂水芭蕉公園
氷ノ山をかつてと水芭蕉の絶滅の生きた
分布域の外のポイントで生息している
日本西南限 隔離分布の水芭蕉

氷ノ山は標高 1510mある兵庫県の最高峰の山。日本海の厳しい寒気の影響を受ける豪雪地帯にあり、西日本でも氷ノ山だけに、氷河期の生き残りといわれる北方系の植物が幾つも生育している。この加保坂峠の草に覆われている湿地の下には、分厚い泥炭層があり、乾燥が始まっているとはいえ、今もこの泥炭層を潤す水が流れている。この加保坂湿原の土壤にふくまれる花粉分析調査が昭和 46 年に実施され、深さ 100cm の位置が、C14 年代測定で今から 8190 年前を中心として±115 年という年代が出るとともに、この位置で、ミズバショウと考えられるサトイモ科の化石花粉が全体の花粉の6%という高い数値で確認された。

この結果から この地が水芭蕉自生の自然環境を保持し、また、水芭蕉は1万年前の氷河期から現在に至るまで、生きのびてきた自生地の可能性が高いと判断された。

養父市ホームページ 日本西南限のミズバショウ 解説より

氷ノ山の自然環境に恵まれ、他の水芭蕉と隔絶された地で 1 年以上の長きにわたり、命をつないできた但馬の水芭蕉はきわめて、貴重な存在といえる。また、尾瀬や他の自生地の水芭蕉に比べ、その大きさが極めて小さいことや、色つやなどに その厳しい毛岸が垣間見え、同じ兵庫に暮らすものとして 思わず 頑張れよと声をかけたくなった。カタクリとともに氷河期の生き残り 水芭蕉が兵庫に自生している。何とはなしにうれしく、元気をもらう春の花になりました。

新緑の但馬 養父・八千北高原
大屋加保坂・八千北の水芭蕉を訪ねる 2016.4.20.



但馬養父市・香美町ハチ千北の位置 訪ねた但馬養父・ハチ千北 ルート図 八鹿・水ノ山ICから樽見の大桜「仙桜」へ 樽見から加保坂峠湿原→関宮經由ハチ千北高原へ

「2016年春 但馬の春景色」水ノ山山系の山懐 養父市大屋 & 香美町ハチ千北高原 2016.4.20.



この「2016年春 但馬 水芭蕉を訪ねる」の動画

<http://www.infokkna.com/ironroad/2016htm/walk13/1605hachikita00.htm>

日本各地でも素晴らしい芽吹き・新緑の春景色がみられることだろうと思いつ、デジカメで但馬の春 山里の春景色を撮ってきました。元気が出る春の訪れ。戸外に出て この一番の季節を。

2016.4.26. Mutsu Nakanishi

新緑の六甲に石楠花・春の高山植物を訪ねる 2016. 5. 2.

1. 六甲森林植物園 石楠花谷の日本石楠花 石楠花 2016
2. 六甲高山植物園 春から初夏に咲く高山植物 & 山野草



5月初頭 桜が散って、野山は一年で一番美しい季節に。この時期になると 毎年 六甲森林植物園の中にある石楠花谷へ日本石楠花を見に行くのですが、今年はちょっと出遅れて、5月2日 連休が始まった朝一番に六甲へ。

森林植物園の石楠花は もう盛りが過ぎて、数が少なくなりましたが、美しいツクシシャクナゲが出迎えてくれて、気分も晴れやかに。2016年の石楠花見れました。谷筋を埋めつくす満開のシャクナゲは見られませんでした。人も少なく ゆっくりと 一つ一つ シャクナゲの美しさをながめられました。

また、森林植物園からドライブウェイを上った六甲山上の高山植物園では新聞では「今ちょうどシャクナゲが見頃 ヒマラヤの青いケシも咲いている」と聞き、そのまま六甲山上へドライブウェイを上って、六甲高山植物園に足をのびしました。

満開の石楠花 幻の青いケシばかりでなく、シラネアオイに出会えたのもうれしい。湿地にはクリンソウ。高山植物の女王 コマクサやウスユキソウのほかハクサンイチゲにも。また 知らなかったユキモチソウなど数々の高山植物・山野草に出会えました。春と初夏の高山植物が一齐に咲いていて ラッキー 新緑の森の中でのうれしい花めぐり。もれ来る光に照らされて、森の小道も淡い緑のグラデーション。新緑の緑をバックに木漏れ日に輝く石楠花 石楠花谷とは違う美しさも。毎年 春が来て 桜が散ると 心待ちの一日 今年も素晴らしい「石楠花 2016」 毎年の春の楽しみ また 一つ 新しい楽しみが増えました。



1. 六甲森林植物園 石楠花谷の日本石楠花 石楠花 2016



森林植物園 石楠花谷で 2016.5.2



森林植物園 石楠花谷で 2016.5.2



森林植物園 石楠花谷で 2016.5.2



六甲森林植物園で 2016.5.2



石楠花谷 石楠花谷で 2016.5.2



森林植物園 石楠花谷で 2016.5.2



森林植物園 石楠花谷で 2016.5.2



森林植物園 石楠花谷
2016.5.2.
時期が遅く、咲いている石楠花の数が少なくなりましたが、美しいツクシジャクナゲが出迎えてくれ、谷筋をうずめつくす満開のジャクナゲは子らけませんでした。人も少なく ゆっくりと 一つ一つ ジャクナゲの美しさをながめられました



森林植物園 石楠花谷の入口 2016.5.1



石楠花谷の入口にあるハンコチの木は白は花を一杯つけていました 2016.5.2 森林植物園で



森林植物園 石楠花谷で 2016.5.2



森林植物園 2016.5.2



森林植物園 石楠花谷で 2016.5.2



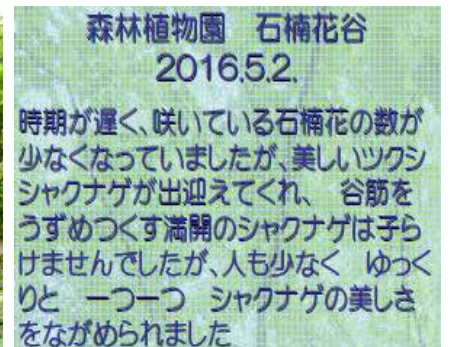
石楠花谷の入口にあるハンコチの木は白は花を一杯つけていました 2016.5.2 森林植物園で



森林植物園で 2016.5.2



森林植物園 石楠花谷で 2016.5.2



森林植物園 石楠花谷
2016.5.2.
時期が遅く、咲いている石楠花の数が少なくなりましたが、美しいツクシジャクナゲが出迎えてくれ、谷筋をうずめつくす満開のジャクナゲは子らけませんでした。人も少なく ゆっくりと 一つ一つ ジャクナゲの美しさをながめられました

◆ 湿地や山腹の林に咲く山野草・高山植物 ◆



◆ 六甲高山植物園の石楠花 今が見ごろでした ◆



◆ シラネアオイ 東日本の山でしか見られぬ美しい花 思いがけずも ◆



毎年心待ちの一日 今年も素晴らしい 「石楠花 2016」でした 2016.5.2



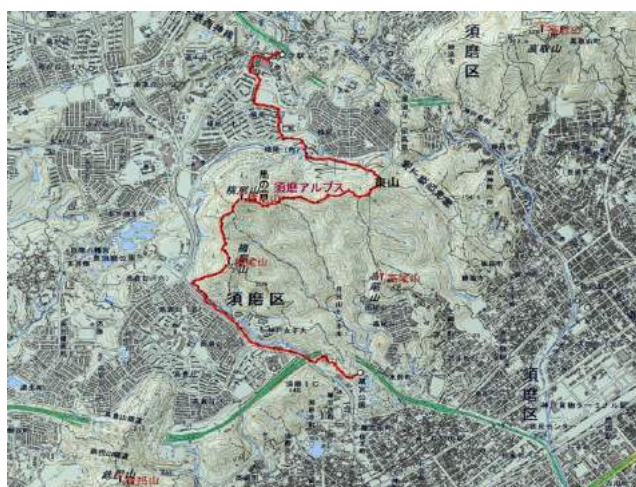


西六甲縦走路 須磨アルプス 馬の背 妙法寺駅横尾道より 2016.5.22

真っ青な青空に新緑の山が美しく、見上げる須磨アルプス 馬の背を渡ってゆく人が見える
久しぶりに西六甲縦走路 須磨アルプス岩稜の馬の背を歩きたくなって東山-馬の背-横尾山の縦走路へ。
そのまま須磨離宮公園へ下って、いま満開の宮公園のバラを見に行ってきました

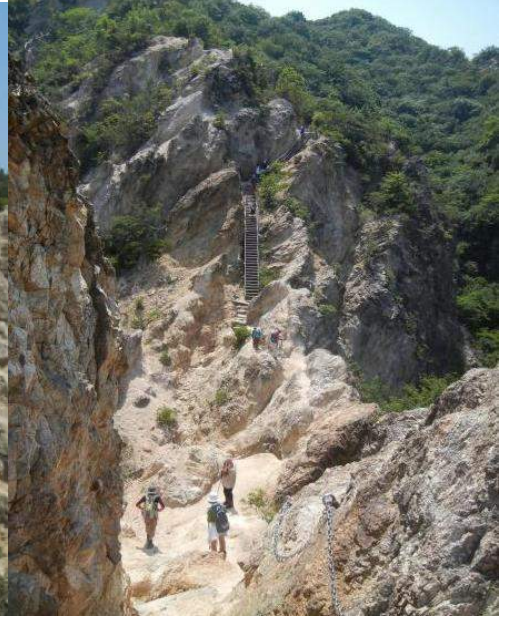
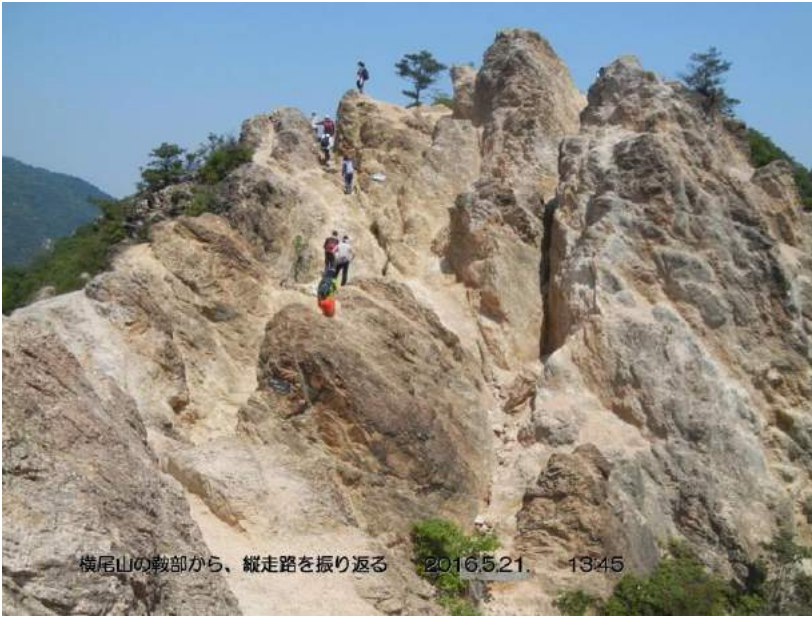
下記のCountry Walk2016 URL サイトに スライド動画とPhoto アルバムがあります

URL: <http://www.infokkna.com/ironroad/2016htm/walk13/1607umanose00.htm>



東山から眺める須磨アルプス 馬の背の縦走路 2016.5.21

須磨アルプスの岩稜 馬の背 西六甲縦走路 2016. 5. 21.



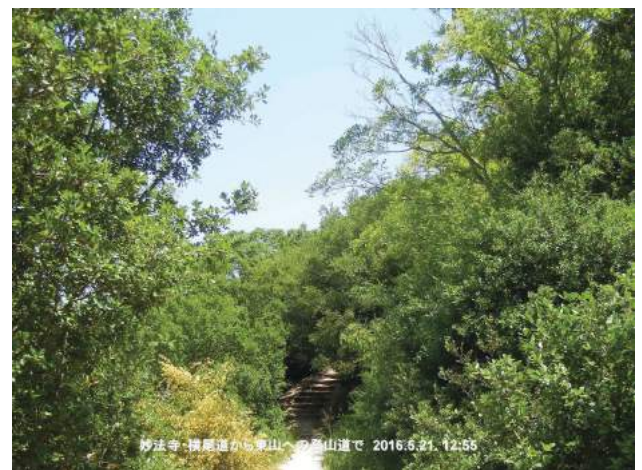
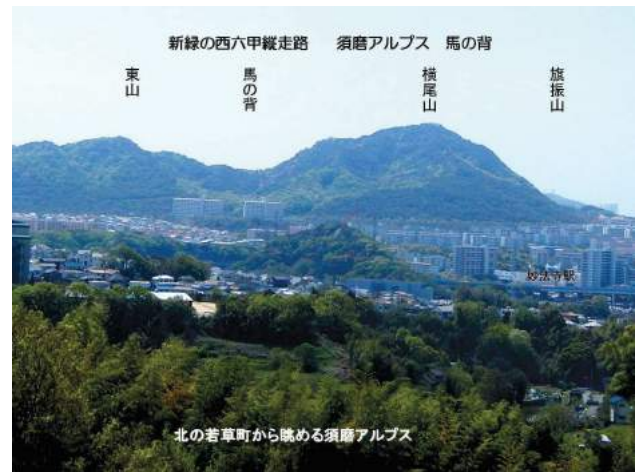
【写真アルバム】

新緑の西六甲縦走路 須磨アルプスの岩稜 馬の背 2016. 5. 21.

下記の Country Walk2016 URL サイトにスライド動画と Photo アルバムがあります

URL: <http://www.infokkna.com/ironroad/2016htm/walk13/1607umanose00.htm>







妙法寺・横尾道から眺める 横尾団地・妙法寺の集落 2016.5.21



東山への高から町・山下に横尾団地・妙法寺が、右側に高取山・菊水山へ至る甲斐駒走路の山々が現えてい16

妙法寺・横尾道から東山への登山道で 2016.5.21. 13:03



馬の背から丹生山へ、切り立った崖を縦道を登る縦走路が正面に見える
1分ほど馬の背に人の姿が見える 東山への道より 2016.5.21



15分ほど森の中の急な登山道を上ると横尾山・須尾山を背に
横尾山山腹 切り立った荒々しい岩肌が見えてくる 2016.5.21. 13:07



須磨アルプス 西六甲駒走路 東山山頂付近 2016.5.21. 13:17



須磨アルプス 馬の背の縦走路 2016.5.21



東山から眺める須磨アルプス 馬の背の縦走路 2016.5.21



東山から眺める須磨アルプス 馬の背の縦走路 2016.5.21



西六甲山脈 馬の背
両側が切れ落ちた狭い道に連せ尾根道を渡るハイカーたち 2016.5.21. 13:28



東山脈の馬の背、林の中のアミカ、ミヤビの森が加わり、
両側が切れ落ちた狭い道に連せ尾根道を渡るハイカーたち 2016.5.21. 14:28



西六甲山脈 馬の背 両側が切れ落ちた狭い道に連せ尾根道とある、2016.5.21.



西六甲山脈 馬の背 両側が切れ落ちた狭い道に連せ尾根道を渡る、2016.5.21. 14:28



須崎アルプス 馬の背 2016.5.21. 13:31



馬の背から 東山を眺める 2016.5.21



須崎アルプス 馬の背



馬の背から横尾山の鞍部、須賀野法寺の古道との十字路 2016.5.21.



横尾山の鞍部から、縦走路を振り返る 2016.5.21. 13:45



横尾山の鞍部、須賀野法寺の古道との十字路 2016.5.21. 13:45



横尾山の鞍部から最初の段梯子を登って ふっと一息 東山・馬の背を振り返る 2016.5.21. 13:45



横尾山の段梯子を登って 東山・馬の背を振り返る 2016.5.21. 13:50





林の中、急な道の、傾斜も数カ所、でも、怖くはない。2016.5.21



横尾山の山腹、岩壁帯を登け、林の中をさらに横尾山頂へ登る



横尾山の急な道をさらに登ると南の神戸市街地と高が見え、馬の背もずいぶん下に。2016.5.21。14:12



東には、長田から須磨の神戸市街地

西には明石大橋が見えている



14:26 横尾山山頂に到着 2016.5.21。久しぶりの横尾山頂



14:50 横尾山から林の中の熊笹谷を南へ、約30分足らずで梅尾山頂。2016.5.21。南西海岸に西八甲船走道の淵、須磨海岸の観音山、針伏山が見えている





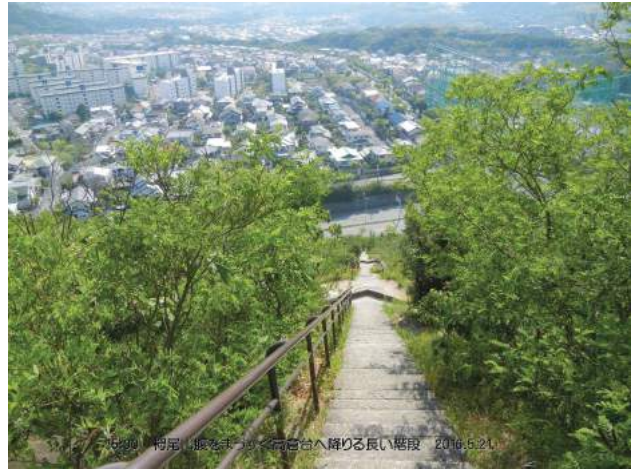
桐尾山から登山道を高倉台へ 山腹をまっすぐ降りる長い階段が待ち受ける。2016.5.21



桐尾山頂より眺める明石海峡 2016.5.21.



桐尾山腹をまっすぐ高倉台へ降りる長い階段 2016.5.21.

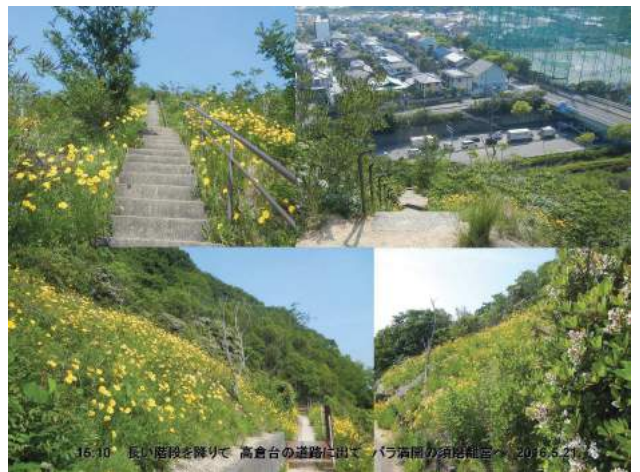


桐尾山腹をまっすぐ高倉台へ降りる長い階段 2016.5.21.



新緑の須磨アルプス 馬の背 2016.5.22.

西六甲縦走路・須磨アルプス 馬の背 妙法寺駅横尾道より 2016.5.22.

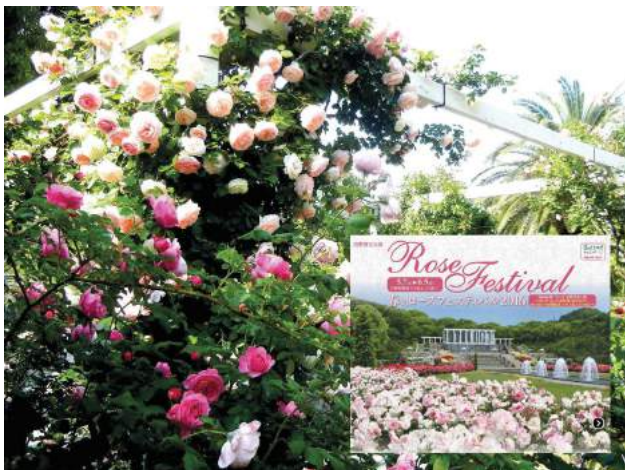


16:40 長い階段を降りて 高倉台の道路に出て パラソルの須磨輪堂へ。2016.5.21.



須磨離宮公園 ローズフェスティバル2016 2016.5.21.

Rose Festival 2016



2016 walk
07

<スライド動画>

春から初夏へ移り変わる季節に 春の終わりを飾るばら 2016. 5. 21.

須磨離宮公園 ローズフェスティバル 2016



西六甲縦走路 須磨アルプス岩稜の馬の背を歩きたくなって 東山-馬の背-横尾山の縦走路を歩いて、そのまま須磨離宮公園へ下って、いま満開の離宮公園のバラを見に行ってきました
今年も春の終わりを飾る美しいバラにであえました

Country Walk2016 URL サイトに スライド動画と Photo アルバムがあります

URL: <http://www.infokkna.com/ironroad/2016htm/walk13/1607bara00.htm>



写真アルバム

春から初夏へ移り変わる季節に春の終わりを飾るばら 2016. 5. 21.

須磨離宮公園 ローズフェスティバル 2016



Country Walk2016 URL サイトに スライド動画とPhoto アルバムがあります

URL: <http://www.infokkna.com/ironroad/2016htm/walk13/1607bara00.htm>





2016.5.21. 須磨離宮公園 ローズフェスティバル2016



須磨離宮公園 ローズフェスティバル2016
2016.5.21.



2016.5.21. 須磨離宮公園 ローズフェスティバル2016



2016.5.21. 須磨離宮公園 ローズフェスティバル2016



2016.5.21. 須磨離宮公園 ローズフェスティバル2016



2016.5.21. 須磨離宮公園 ローズフェスティバル2016



2016.5.21. 須磨離宮公園 ローズフェスティバル2016



2016.5.21. 須磨離宮公園 ローズフェスティバル2016





2016.5.21. 須磨離宮公園 ローズフェスティバル2016



2016.5.21. 須磨離宮公園 ローズフェスティバル2016



2016.5.21. 須磨離宮公園 ローズフェスティバル2016



2016.5.21. 須磨離宮公園 ローズフェスティバル2016



2016.5.21. 須磨離宮公園 ローズフェスティバル2016



2016.5.21. 須磨離宮公園 ローズフェスティバル2016



2016.5.21. 須磨離宮公園 ローズフェスティバル2016





2016.5.21. 須磨離宮公園 ローズフェスティバル2016



2016.5.21. 須磨離宮公園 ローズフェスティバル2016



2016.5.21. 須磨離宮公園 ローズフェスティバル2016



2016.5.21. 須磨離宮公園 ローズフェスティバル2016



2016.5.21. 須磨離宮公園 ローズフェスティバル2016



2016.5.21. 須磨離宮公園 ローズフェスティバル2016



2016.5.21. 須磨離宮公園 ローズフェスティバル2016



2016.5.21. 須磨離宮公園 ローズフェスティバル2016

ひまわりの夏2016

奥播磨 千種川が流れ下るたたら郷 佐用のひまわりを訪ねる 2016.7.20



2016 ひまわりの夏

2016年 夏 ひまわりの元気な顔を届けます

- 東播磨 小野市ひまわりの丘で 2016.7.11
- 奥播磨 たたら郷 佐用のひまわり 2016.7.20

東播磨 小野市ひまわりの丘で 2016.7.11

- 東播磨 小野市ひまわりの丘で 2016.7.11
- 奥播磨 たたら郷 佐用のひまわり 2016.7.20.
 1. 佐用徳久 林崎のひまわり畑
 2. 佐用三日月 宝蔵寺のひまわり畑
- 夏の冷風 佐用旧上月 樟田の飛龍の滝 2016.7.20

7月11日 各地から届くひまわりの便りに、毎年出かける東播磨小野のひまわりの丘 & 奥播磨佐用のひまわり畑へ ひまわりに出会いに行きました。 小野のひまわり畑は今年は例年に増して、黄色の笑顔があふれかえっていました。

しかし、奥播磨では梅雨時の長雨と日照不足で開花が随分遅れていて、ひまわりの花は咲き始め、出会えずでした。

佐用のひまわり祭りも無事終わったと聞いて、7月20日 奥播磨千種「製鉄神 金屋子神 降臨の伝承地 千種岩鍋(岩野辺)」の近世のたたら跡 荒尾山鉄山遺跡を訪ね、その午後 再度佐用のひまわりを訪ねました。

まだちょっと早かったようで、田園一面を黄色に染めるひまわりの景色は見られませんでした。いつものとは違った景色でしたが、ひまわりの元気な姿に出会ってきました。

志文川沿いの宝蔵寺の郷のひまわり畑で、一度撮ってみたかった「ひまわり畑に行く姫新線の列車」のスナップを撮ることができました。また、佐用の夏「涼風吹く 爽やかなパワースポット」教えてもらった佐用一の滝「久崎の飛龍の滝」へも立ち寄り、ここでもパワーを。

夏の太陽がギラギラ照り付ける暑い一日ですが、また 今年も作用で元気をもらって帰ってきました。

そんな毎年の「ひまわりの夏」のスナップ 2016年版mp4 動画にして 川島英吾の「元気ですか」の呼びかけとともに届けます。 本当にギラギラ輝く酷暑が続く夏ですが、無理せず 元気にお過ごしください。



東播磨 小野市ひまわりの丘で 2016.7.11.



東播磨 小野市ひまわりの丘で 2016.7.11.

東播磨 小野 ひまわりの丘で 2016.7.11.



2016 ひまわりの夏

■ 奥播磨 千種川が流れ下るたたらの郷 佐用のひまわりを訪ねる 2016.7.20.



千種川 たたらの郷に咲く ひまわり

梅雨時に奥播磨の長雨による日照不足で、佐用町林崎のひまわり畑の成長が随分遅れました。毎年眺めるひまわりの景色とは ちょっと異なっていました。でも 千種川 が流れ下るたたらの郷に咲く元気なひまわりに今年も出会えました。

2016.7.21. 佐用林崎のひまわり畑で Mutsu Nakanishi

奥播磨 千種川 佐用町林崎のひまわり. 2016.7.21.



佐用町 宝蔵寺集落のひまわり畑を行く。新播磨線の列車 2016.7.21.



林崎のひまわり畑から 宝蔵寺の郷のひまわり畑へ 2016.7.20.

田舎を黄色の帯で覆いつくす元気なひまわりの景色を林崎のひまわり畑を期待したのですが、残念ながら今年はお預け。ひまわり畑でのスナップを切り上げ、毎年、この林崎より早くひまわりが開花する宝蔵寺地区のひまわりを訪ねること。この宝蔵寺地区は徳久地区から南へ山を越すとこのところ、徳久の西千種川に合流する志文川が流れ、志文川に沿って新播磨線の列車がひまわり畑に沿って走る。





奥播磨 千種川 佐用町林崎のひまわり 2016.7.20.



奥播磨 千種川 佐用町林崎のひまわり畑で 2016.7.20.



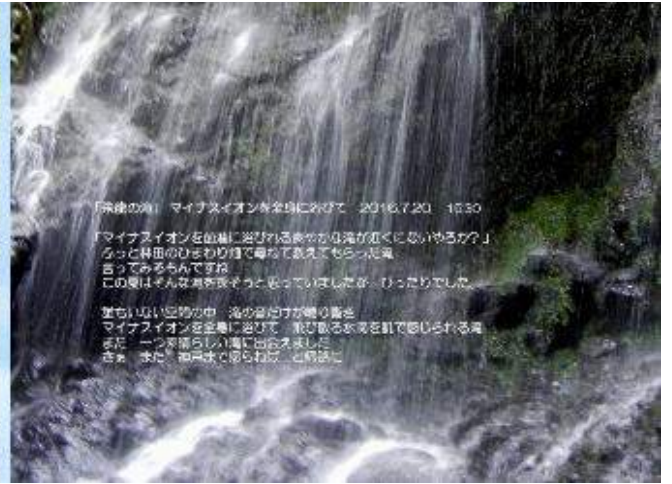
佐用町 宝蔵寺集落のひまわり畑を行くJR姫新線の列車 2016.7.20. (写真合成)





佐用町随一の滝「飛龍の滝」 旧上月町櫛田 滝谷川

龍の滝は、上月町櫛田の滝谷地内を南から北へ流れる滝谷川の上流海拔約200mから同240mのところ。佐用郡随一の規模を誇り、約16mの高さから落ちる水の音としぶきは壮観。滝中央部あたりの壁岩が突き出し、水の流れに変化がついており、これが飛龍の姿に似ていることからこの名前がつけられたと伝えられている。



志文川との合流点近く千種川がキラキラ輝きながら流れ下る千種川中島橋で 2016.7.20. 15:09
 このすぐ先 正面の山並みのところが、志文川との合流点である



川幅が広がった千種川が下ってゆく 石井橋で 2016.7.20. 15:00

2016 ひまわりの夏 from Kobe

黄色い元気なまん丸の顔・顔・顔 一斉にこちらを向いて「よう!!」と
今年も元気なひまわりに出会えました。

無理せず元気に この夏をお過ごしください

2016.8.1. Mutsu Nakanishi



帰路 切窓峠を越えて山崎の揖保川についた時には夕暮れ近く 2016.7.20. 16:20.
揖保川では数多くの釣り人が竿を出している これもひまわりの夏2016 奥播磨 夏の風物詩





切原峠を下り、尾谷に入ると まもなく見慣れた山に囲まれた下三河の郷への坂道 下三河のT字路へ

北の千種から南の佐用へ 千種川が流れ下る下三河のT字路 2016.7.20.
左へ行くと ひまわり畑の佐用徳久 右へ道を取るとかつての温泉地、千種底のから地、千種



中国道 漆野の鉄橋をくぐると 山間に広い河岸段丘徳久地区 まもなく林崎のひまわり畑である 2016.7.20.
千種から流れ下ってきた千種川の流れは速い、透き通った清流が氷しぶきをあげながら流れ下る



両側を山に挟まれて千種川が流れ下る下野の郷 2016.7.20.
奥に千種の山々 山に挟まれた狭い河岸段丘が広がる景色はいつまでも気持ちよい。
下野の郷で 南へ流れ下ってきた千種川は山にぶつかり、西へ折れ曲がって広い河岸段丘が広がる徳久の郷へ。
ひまわり畑はもうすぐ。この下野 すぐ隣の漆野にも ひまわり畑があるのですが、まだ 黄色い姿は見られない。



例年と違う佐用林崎のひまわり畑 2016.7.20.
千種川に沿って徳久地区 河岸段丘に広がる田園の中を西の林崎のひまわり畑を目指す。狭い谷あいの集落 下野・漆野の集落をぬけ、西徳久の基下・殿崎に出ると前方にハッと緑の田園が広がる東徳久。
例年だと緑の中に田園を抜いていくひまわりの黄色い帯が見えてくるのですが、どうも様子がおかしい。
千種川の南側の河岸段丘に広がる田園地帯にいつも見られる黄色の帯が見られない。林崎のひまわり畑の横まで来るとそれでも、いくつもひまわりが咲いているのが見え、畑に多くの見物する人たちが見え、ひと安心。もう ひまわり祭りが終わったと聞いたのですが、今年この東徳久林崎地区のひまわりはこれからのようだ。

新田新から 千種川越しに見る林崎のひまわり畑。 2016.7.20。 13:50
新田、ひまわり畑だという。でも 黄色い姿が見え、見物の人たちの姿もひまわり畑の中に見え



2016 ひまわりの夏 from 佐用のひまわり畑

- 徳久 林崎のひまわり畑
- 宝蔵寺のひまわり畑で 2016.7.20.

佐用町が一番早くひまわりが咲く宝蔵寺郷のひまわり畑。 2016.7.20。 14:50



奥細郷 千種川 佐用町林崎のひまわり畑で。 2016.7.20.



2016 ひまわりの夏 from 佐用のひまわり畑

- 徳久林崎の郷のひまわり畑で 2016.7.20.

奥細郷 千種川 佐用町林崎のひまわり 2016.7.20.



奥細郷 千種川 佐用町林崎のひまわり畑で。 2016.7.20.



佐用町一の滝 佐用町榑田「飛龍の滝」へ行く 2016.7.20.



林崎のひまわり畑の事務所教えてもらった夏一番の爽やかスポットで、佐用一の滝「飛龍の滝」。
 近くなので、おすすすめポイントと地図と案内をいただいた。
 場所は徳久地区から、千種川に沿って少し南へ下がった所。
 大きな滝で涼しいと聞いて、少し足を延ばして立ち寄ることに。



志文川との合流点近く千種川がキラキラ輝きながら流れる千種川中島橋で 2016.7.20. 16:00
 このすぐ先、正面の山並みのところが、志文川との合流点である



川幅が広がった千種川が下ってゆく 石井橋で 2016.7.20. 15:00

この石井橋のところに 飛龍の滝への案内標識があり、橋を右手側に渡って、さらに南へ川から離れつつ、榑田の集落から 山中に入り、滝谷川の谷筋を南へ詰めたところに飛龍の滝がある。



佐用町第一の滝「飛龍の滝」 旧上月町榑田 滝谷川

龍の滝は、上月町榑田の滝谷地内を南から北へ流れる滝谷川の上流滝抜約200mから同240mのところ。佐用郡第一の規模を誇り、約16mの高さから落ちる水の音としぶきは壮観。
 滝中央部あたりの壁岩が突き出し、水の流れに変化がついており、これが飛龍の姿に似ていることからこの名前がつけられたと伝えられている。



佐用町一の滝 佐用町榑田「飛龍の滝」への入り口 2016.7.20.



「飛龍の滝」への入り口 2016.7.20.



「飛龍の滝」(3)

「飛龍の滝」(4)



「飛龍の滝」(1)

「飛龍の滝」(2)

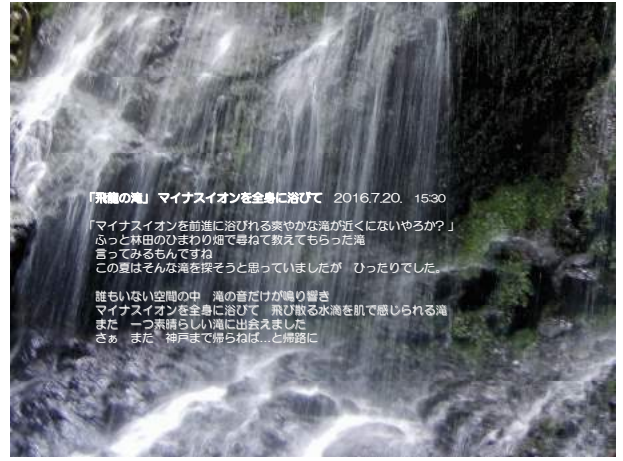


「飛龍の滝」(5)

「飛龍の滝」(6)



「飛龍の滝」 マイナスイオンを全身に浴びて 2016.7.20.



「飛龍の滝」 マイナスイオンを全身に浴びて 2016.7.20. 15:30

「マイナスイオンを前進に浴びれる爽やかな滝が近くにないやろか？」
ふっと秋田のひまわり畑で尋ねて教えてもらった滝
言ってみるもんでね
この夏はそんな滝を探そうと思っていましたが ひたりでした。

誰もいない空間の中 滝の音だけが鳴り響き
マイナスイオンを全身に浴びて 飛び散る水滴を肌で感じられる滝
また 一つ素晴らしい滝に出会えました
さあ また、神戸まで帰らねば...と帰路に



「飛龍の滝」 マイナスイオンを全身に浴びて 2016.7.20.



帰路 切窓峠を越えて山崎の掛保川については夕暮れ近く 2016.7.20. 16:20.
掛保川では数多くの釣り人が竿を出している これもひまわりの夏2016 奥播磨 夏の風物詩



2016 ひまわりの夏 2016.7.30.

奥播磨 千種川が流れ下るたたら小橋 佐用のひまわりを訪ねる

佐用町林崎のひまわり畑の成長が随分遅れて心配し、また、毎年眺めるひまわりの景色とは
ちよっと異なっていました。今年も元気な佐用のひまわりに出会えました。
テラカメにはひまわり畑を走る延和線の別荘の写真も、鳥籠の裏を流す美しい滝で、午前中
に訪ねた千種岩崎 栗尾山 飛田山鉄道遺跡を含め、また一つ たたら小橋 奥播磨の魅力が
増えました。

毎年 元気をもらう夏のひまわり うれしい ひまわりの夏の到来です

2016.7.20. Mutsu Nakanishi

帰路 切窓峠を越えて山崎の掛保川については夕暮れ近く 2016.7.20. 16:20.
掛保川では数多くの釣り人が竿を出している これもひまわりの夏2016 奥播磨 夏の風物詩



2016 ひまわりの夏

無理せず元気に この夏をお過ごしください

2016.8.1. From Kobe

東播磨 小野市ひまわりの丘で 2016.7.11.



東播磨 小野市ひまわりの丘で 2016.7.11.

2016 朝顔帳 夏の朝を爽やかにしてくれる朝顔 毎朝がたのしみに 2016 盛夏

夏の早起きの楽しみ 今年も数多くの朝顔が咲き、すがすがしい朝を演出してくれました
今年の我が家の朝顔帳をスライド動画にまとめました



朝顔の花言葉

色によって違いますが、「明日もさわやかに」
「さりげない愛」「冷静に前向いて」など

私には「包み込んでくれるやさしさ」 そんな言葉が頭に浮かんでいきます

夏の朝 ひっそりと咲いて 風にはしぼ んでしまう朝顔

そのすがすがしい姿 なんともしほやかなさしさに心奪われ、「今日も 一日を ゆったりと」と
毎朝早く起きだして庭の朝顔をみる夏の楽しみ 「今日は幾つ どんな色の花が咲いているだろうか?」と
大きな葉っぱの陰からそと顔を出した花に ふ〜うっと 息を吹きかけるとパッと大輪の花を広げる。
シルバー世代にとって ゆっくり流れてゆく時間の楽しさが ちっとわかってきたかなあ・・・と

2016年8月 盛夏 酷暑の今年の夏 毎日をさわやかに
from Kobe Kikuko & Mutsu

2016 朝顔帳 夏の朝を爽やかにしてくれる朝顔

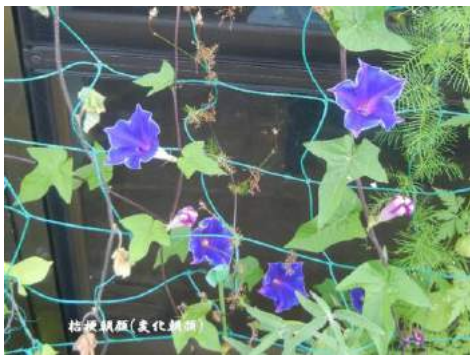


あさがお
 花言葉は「明日もさわやかに」
 みんな 朝の水やりに 精を出したことがあるやさしい花

夏の朝早く花を咲かせ、昼にはしぼんでしまう 半日の花
 でも 毎朝が楽しみな そのすがすがしさ

明日もさわやかに
 2016年盛夏





朝顔の花言葉

色によって違いますが、「明日もさわやかに」「さりげない愛」「冷静に前向いて」など

私には「包み込んでくれるやさしさ」 そんな言葉が頭に浮かんできます



久しぶりに毎年京都府立博物館で開催されている

「京都半日会 京朝顔展」にも出かけました 2016.8.2.

<http://www.infokkna.com/ironroad/2016htm/walk13/1609kyoasagao00.htm>





京都伝統の朝顔造りの技法
「京朝顔 -大輪造り・数造り-」
丹精込めて低い背丈に切りそろえて育て、
大輪の花を一つ咲かせたり、
また、幾つもの花を一度に咲かせて、
夏の朝 朝顔の爽やかさを楽しむ



8月2日 久しぶりに京都府立植物園で毎夏開催されている「京都半日会の京朝顔展」に行ってきました。
早朝に咲き始め、昼にはしぼんでしまう半日の花。蕾の中に姿を封じ込め、早朝咲くまでその姿を見せない。
毎朝 期待一杯で 目にする色鮮やかな大輪は その日一日を爽やかで 楽しくしてくれる。
植物園の広い緑に包まれた朝 丹精込めた色とりどりの大輪の朝顔が一堂に爽やかな姿を見せてくれた。
また、朝顔鑑賞のきっかけになった変化朝顔も展示されていて楽しませてくれる。

名前とその見事な姿・色・形・大きさなどを見比べては、花びらのすぐそばに顔をくっつけたり、眺める角度を変えたり、花びらの色のグラデーションにひとりイメージを膨らませる心とむひと時でした。





【変化朝顔 (変わり咲き朝顔) 選抜と交配で作られた 花や茎・葉に特異な姿を持つ朝顔】



毎朝 夏の清々しさを運んでくれる朝顔。
 夏の朝 ひっそりと咲いて 風にはしぼんでしまう朝顔
 そのすがすがしい姿 なんともしほやかなささに心奪われ、
 「今日も ゆったりと一日を」と
 シルバー世代にとって ゆっくり流れてゆく時間の楽しさが
 ちっとわかってきたかなあ・・・と 感じる朝でした。
 2016.8.2. 京都府立植物園 京朝顔展で

京都府立植物園
Kyoto Botanical Gardens

京の夏の風物詩

第57回 朝顔展

7月29日(金)～8月2日(火)
7:00～12:00
会場：植物展示場

えっ ニれが朝顔なの!?

変化朝顔

京都創案の「京風数咲き作り」や突然変異でできた「変化アサガオ」など、開催期間中延べ1000鉢を展示します。

主催 京都府立植物園、京都朝顔半日会

あさがお
花言葉は「明日もさわやかに」
みんな 朝の水やりに 精を出したことがあるやさしい花

夏の朝早く花を咲かせ、昼にはしぼんでしまう 半日の花
でも 毎朝が楽しみな そのすがすがしさ

明日もさわやかに 2016年盛夏

夏の清々しさを運んでくれる朝顔。
久しぶりに 本年の京朝顔展を見に行ってきました。



■「我が家の2016 朝顔帳 夏の朝を爽やかにしてくれる朝顔」のページもご覧ください

<http://www.infokkna.com/ironroad/2016htm/walk13/1609asagao00.htm>

おまけ 京都の夏点描 <<1>> アフリカの巨木 ワオパブの花が咲きだしました京都府立植物園で





京都 高瀬川一之船入 2016.8.2.



京都二条「かんこ」内 角直子屋白部の家
京都 高瀬川一之船入 2016.8.2.



京都 高瀬川一之船入 2016.8.2.



京都 高瀬川一之船入のすぐ横にある島津総業記念資料館 2016.8.2.



2016年 ひまわりの夏
厳しい暑さが続く毎日 無理せずゆっくりと
熱中症にからぬよう ご留意を
2016年盛夏

2016.8.2 京都府立美術館

【1】 京都市街と山科を結ぶ東山滑石越「滑石街道」を歩く 2016.9.13.

府道118号線 今熊野勸修寺線 大石内蔵助が山科から祇園・伏見へ通ったという古道
東山三十六峰を越 滑石街道 京都の新しい散策道の一つまた 見つけました



京都鴨戸横 鴨川塩小路橋から眺める東山 南部



JR東海道線 東山トンネル出口 今熊野橋より



府道118号 今熊野勸修寺線。 東山通の今熊野交差点から東へ
両側にびっしり、家並みが続く狭い坂道が東山へと登ってゆく。
かつては 大石内蔵助が計を図りながら、山科から祇園・伏見へ
足しげく通った道だという。
滑石街道・醍醐街道などと名称はついているが、幹線道路の役割を三条通
日岡越や五条通東山越に渡し、今は街道筋に暮らす人たちの生活道路。
車に邪魔されることもなく 往時を思い起こしながら ゆっくりと
家並みを楽しみながら東山越
30分もあれば峠越 1時間もかからず、山科の街へ
山科がこんなに近いとは!! びっくりした古道です



最近 山科西野山界隈を歩いていて知ったJR 東山トンネル
の上を越えて京都と山科を結ぶ「東山滑石越」滑石街道(府
道118号今熊野勸修寺線)。 かつては京都と山科を結ぶ
間道として、京都ではよく知られた道という。
東山を越えて山科に入る西野山地区は古い時代 中臣氏(藤
原氏)の本拠地であり、坂之上田村麿の墓もある。
また、忠臣蔵大石内蔵助が居住し、忠臣蔵の計画をめぐら
したところでもある。さらに、この東山滑石越の道は稻荷
山そして醍醐への道。
古い歴史をたどる道で「滑石街道」の名前にはさぞ由緒が
あるのだろうとイメージを膨らませましたが……………。





滑石越 山科側西野山から山科市街地



滑石越 東山の峠(京都今熊野/山科西野山)



滑石越 京都側今熊野から京都市街地



東山 滑石越 ルート図



JR京都駅東 塩小路橋から眺める東山



山科 新十条通から眺める東山

「滑石街道」の名は「忠臣蔵の秘策を練る大石内蔵助が、放蕩を装って、毎夜毎夜 東山の山道を越えて 祇園・伏見へ通った際に、凍り付いた公道で足を滑らせて転んだことであろう」と誰いうとなく「大石も滑る→すべり石」街道と呼ばれるようになったという。

何かすごい歴史がこの道に隠されていると思いましたが、意外にも庶民の感覚のネーミング。

でも、地図で眺めてみると曲がりくねった狭い道の両側にびっしり今熊野の家並みが峠まで続く生活道路。

古い時代から住み継がれてきた生活道路に違いない。

三条通日岡峠越・五条通東山越の道が、幅の広い幹線道路に対してびっくりの東山越。昔も今もずっと 車に邪魔されずに歩ける庶民の道「滑石街道」なんだと。

観光客の雑踏もなし 車にも邪魔されず、山から眺める景色も独り占め。京都にうれしい古道の散歩道 発見。

今にも雨が降り出しそうな9月13日朝 今熊野/滑石越/山科西野山の滑石街道 walk へ

帰りは 午後 山科側から 稲荷神降臨伝承 伏見稲荷大社の御神体山「稲荷山」に登って京都へ。

曲がりくねった狭い道の両側にびっしり今熊野の家並みが峠まで続く、古い時代から住み継がれてきた生活道路。

それも 東山通今熊野から東山を登るといふより、ぶらぶら坂歩きで約30分で峠に



今熊野の一番上 滑石街道 日吉南町周辺から眺めた京都の街 2016.9.13.

今熊野から峠にかかる一番高いところからは、そして 雲に煙る西山をバックにした京都の街が遠望。京都タワーも見える。

随分下に京都の街がみえ、知らぬ間に東山の上に。

街道筋の家並みが途切れて、緑に包まれた東山の山中 視界が開けないが 平坦になって峠も近い。この下を東海道線・新幹線のトンネルが潜り抜けている。時折、通り過ぎてゆく自動車以外誰もいない静かなもの。

山科側は一体どないになっているのか、興味津々。



鳥石区画 東山開拓の準備への経過 2016.9.13.

30分足らず 平坦な道を曲がると急な下り坂。ここが峠でした。
 急な坂道を下ってゆくと、文字通りのヘアピンを描くカーブに。
 この横の竹藪の中が坂之上田村磨の墓といわれる西野山古墓。
 この坂道で山科の盆地の大パノラマ。急に開けた街並みにびっくり。
 また、約1時間弱で山科 西野山地区の街へ。
 京都と山科がこんなに近いとは・・・。
 びっくりですが、逆に気分的な東山の壁の大きさにも気が付きました。



西野山から眺める南北に広がる山科盆地全景

西野山桜の馬場町周辺分岐より 2016.9.13.



滑石街道 山科側の下り路 きれいなヘアピンカーブ 2016.9.13.
 すぐ横に西野山古墓 眼下には山科盆地のパノラマが広がっていました



知っているようで 知らなかった楽しい京都
 東山三十六峰 滑石越 walk でした。
 観光客の雑踏もなし 車にも邪魔されず、
 山から眺める景色も独り占め。
 昔も今もずっと 車に邪魔されずに歩ける庶民の道「滑石街道」。
 京都にうれしい古道の散歩道 発見でした。

2016.9.13. たどってきた滑石街道の道を眺めながら
 山科 滑石・新大石道で Mutsu Nakanishi

【2】 京都 東山三十六峰越 walk <<2>>

東山三十六峰南端の稲荷山 横断ハイク 稲荷山降臨伝承の三ヶ峰から伏見稲荷大社へ

帰りは山科西野山から稲荷山へ登って伏見稲荷大社へ 久しぶりの稲荷山はワンダーランド

<http://www.infokkna.com/ironroad/2016htm/iron12/1610inariyama00.htm>

参考 和鉄の道-Iron Road By Mutsu Nakanishi

1. 京都 東山三十六峰越 Walk 2016.9.13.

[1] 京都市街と山科を結ぶ東山滑石越「滑石街道」を歩く 2016.9.13.

京都こうれしい古道散歩道の発見 府道118号線 今熊野勤修寺線 大石内蔵助が山科から祇園・伏見へ通ったという古道

<http://www.infokkna.com/ironroad/2016htm/iron12/1610suberishi00.htm>

[2] 東山三十六峰南端の稲荷山 横断ハイク 稲荷山降臨伝承の三ヶ峰から伏見稲荷大社へ 2016.9.13.

帰りは山科西野山から稲荷山へ登って伏見稲荷大社へ 久しぶりの稲荷山はワンダーランドでした

<http://www.infokkna.com/ironroad/2016htm/iron12/1610inariyama00.htm>

2. 京都山科 西野山walk 2016.6.3.

<http://www.infokkna.com/ironroad/2016htm/iron12/1607nishinoyama00.htm>

1. 今の時代に通じる 征夷大將軍「坂上田村麻呂」& 蝦夷のリーダー「アテルイ」の評価討論 !! NHK BS 英雄たちの選択 「衝突! その時 男は何を見た 征夷大將軍・坂上田村麻呂」より

2. 京都山科 西野山walk 主要訪問先案内 山科 西野山Wak 西野山周辺の古代伝承

3. 京都山科 西野山walk

3.1. 坂上田村麻呂墓を訪ねる

3.2. 稲荷伝承の折上稲荷

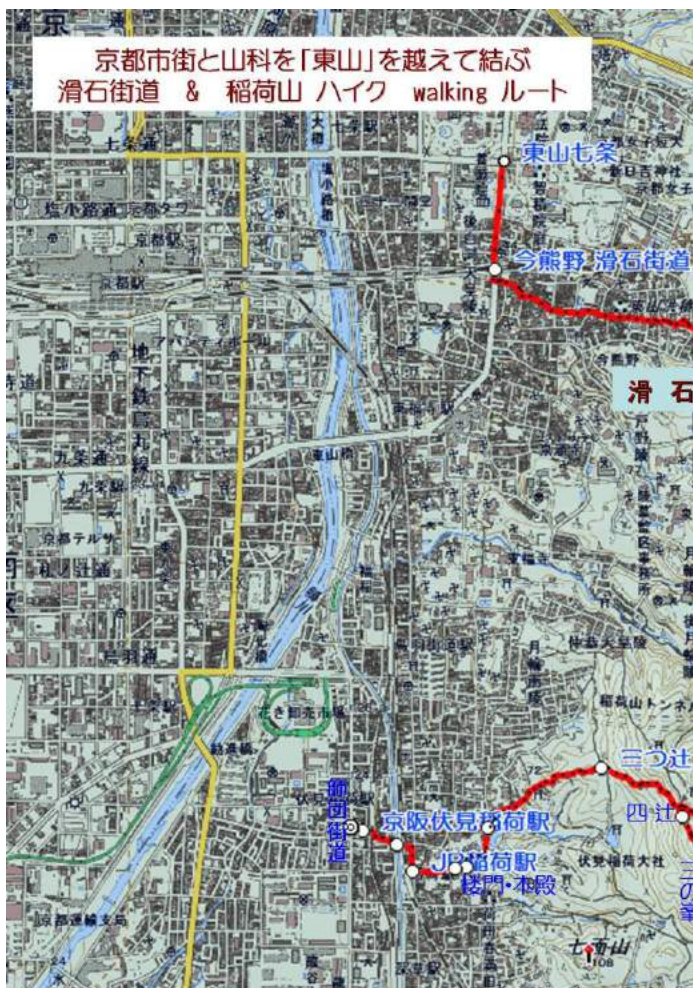
3.3. 西野山山麓の鍛冶伝承地 花山稲荷神社

3.3. 勤修寺 回遊式庭園の花菖蒲と睡蓮見学

4. 坂上田村麻呂創建の京都東山 清水寺に アテルイ・モレの碑を訪ねる

3. 京都山科に古代のたたら跡 如意ヶ岳南製鉄遺跡群を訪ねる 2013.8.26

<http://www.infokkna.com/ironroad/2013htm/iron09/1309yamashina00.htm>



京都 東山三十六峰越 Walk 2016.9.13.

1. 大石内蔵助が京都に通った古道 滑石街道(薩摩街道)
2. 稲荷神降臨伝承の稲荷山三つ峰 伏見稲荷大社の参詣道をたどる



鴨川 京都駅東 塩小路橋から遠望する東山三十六峰の南端部 西野山-稲荷山 2016.9.13.

【1】京都市街と山科を結ぶ東山滑石越 滑石街道を歩く 2016.9.13.

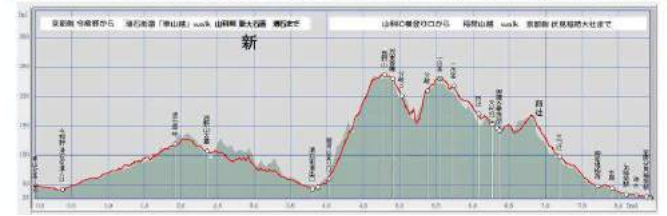
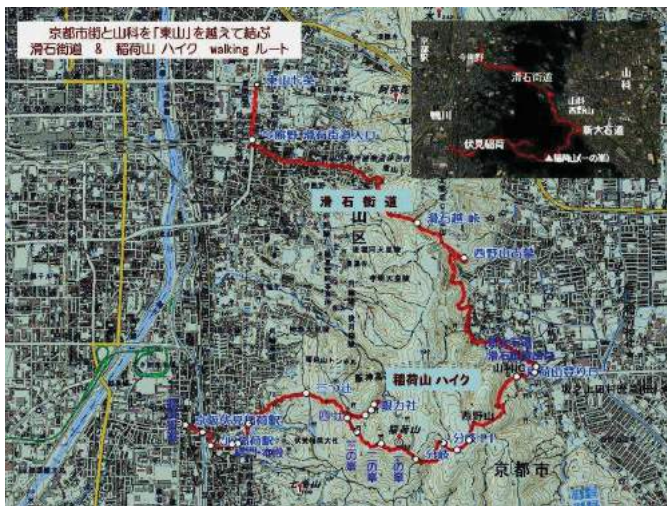


最近 山科西野山界隈を歩いていて新った東山トンネルの上を越えて京都と山科を結ぶ東山滑石越の滑石街道(併走118号今野野郎峠参詣路)かつては京都と山科を結ぶ街道として、京都ではよく知られた道で、東山を越えて山科に入る養野山地区は古い時代 中臣氏、藤原氏、の本拠地であり、坂之上田村の事も。また、忠臣蔵大石内蔵助が隠居し、忠臣蔵の村置をめられたところでもある。また、この東山は新山として隠居への道でもある。古い道安とある道で「滑石街道」の名前にはさき由緒があるのだからと、「滑石街道」の名は「滑石」の地名を由来と大石内蔵助が、彼を導いて、毎年稲荷 東山の山道を越えて 稲荷へ参り通った際に、降りた道で足を滑らせて転んだことであろうと推測しうなが「大石も滑るーサベリ石」街道と呼ばれるようになったという。例かすこい歴史がこの道に記されていると聞いていますが、意外にも歴史の感あるイメージでした。

また、道がわかれた後、道の両側にびっしり今野野郎の家並みが続き生活道路。古い時代から住み継がれてきた生活道路。三条通有稲崎橋 五条通高辻の道が、道の古い家並がある参詣道に對して、びっしりの東山道。それも、東山滑石野から東山を巻くというより、さらさら歩道で約30分で、また、約30分山科の街へ。約1時間 道はもつと短い時間で 京都と山科の東山を越えられるなど本当にびっくり。

暑も今もずっと 道に案内されずに歩ける歴史の道「滑石街道」だんだん。観光客の増加もなし。道にも案内されず、山から出る景色も優れている。京都に付いた古い街道の散歩道 歴史でした。稲崎の橋から付いていますが、やっぱり この東山大石神社の横から稲荷山に登って 伏見稲荷大社へ参拝して帰ることに

2016.9.13. 山科 滑石 参詣道で たどった滑石街道の道歩き日記 Mitsu Nakayoshi



最近 山科西野山界隈を歩いていて新った東山トンネルの上を越えて京都と山科を結ぶ東山滑石越の滑石街道(併走118号今野野郎峠参詣路)かつては京都と山科を結ぶ街道として、京都ではよく知られた道と聞いて。

東山を越えて山科に入る養野山地区は古い時代 中臣氏、藤原氏の本拠地であり、坂之上田村の事も。また、忠臣蔵大石内蔵助が隠居し、忠臣蔵の村置をめられたところでもある。 また、この東山は新山として隠居への道でもある。古い歴史をたどる道で、「滑石街道」の名前にはさき由緒があるのだからイメージを磨かせてのスタート。

「滑石街道」の名は「滑石」の地名を由来と大石内蔵助が、彼を導いて、毎年稲荷 東山の山道を越えて 稲荷へ参り通った際に、降りた道で足を滑らせて転んだことであろうと推測しうなが「大石も滑るーサベリ石」街道と呼ばれるようになったという。例かすこい歴史がこの道に記されていると聞いていますが、意外にも歴史の感あるイメージでした。

また、道がわかれた後、道の両側にびっしり今野野郎の家並みが続き生活道路。古い時代から住み継がれてきた生活道路に違いない。三条通有稲崎橋 五条通高辻の道が、稲崎の橋から付いて、びっしりの東山道。暑も今もずっと 道に案内されずに歩ける歴史の道「滑石街道」だんだん。観光客の増加もなし。道にも案内されず、山から出る景色も優れている。京都に付いた古い街道の散歩道 歴史ながらか……。と、例は、山科西野山 大石神社の横から 稲荷山に登って 伏見稲荷大社へ参拝して帰ることに

【1】京都市街と山科を結ぶ東山滑石越 滑石街道を歩く 2016.9.13.



2016.9.13 朝 京都東山七条 朝今にも雨が降り出しそう。 傳習館の向こうに見える東山にも雲がかかっている。 予報は雨が降るみたいだけれど、東山を過ぎてから前道滑石街道は、雨に降られても大丈夫、 稲畑山山中で雨にやられるというけど、その時は、北、五條路の渋谷街道を走って、まっすぐ、いつものころながら、嵐川にかかるだろうと滑石街道の出口点、今熊野に向かう。 東山通りを南へ



スタートは東山七条習儀院前 東山通りを南へ 今熊野に向かう 2016.9.13. 10:25



今熊野橋より、東山をトンネルで抜けてゆくJR東海道線(左)・新幹線(右) 2016.9.13.
滑石街道は正面に見える東山の右手を越えてゆく



歩きだしてすぐ JR東海道線が降り抜ける橋が見え、その向こうに信号がある今熊野の交差点が見えてくる
東山通り:東山トンネルを出てきたJR&新幹線が降り抜ける今熊野橋&今熊野の交差点周辺 2016.9.13.



今熊野橋より、西の京都駅側を眺める 右手奥に京都タワーが見えている 2016.9.13.



今熊野橋のすぐ南 今熊野交差点を右に入ると滑石街道の入口 2016.9.13.
滑石街道: 京都今熊野から 東山を越えて山科 西野山大石道を結ぶ 京都府道118号 観修寺今熊野線



京都府道118号 観修寺今熊野線
滑石街道の入口 2016.9.13. 10:35



京都府道118号 観修寺今熊野線 滑石街道の入口 2016.9.13. 10:35
どう見ても普通の生活道路 真っすぐ東へ 家並みの間の狭い道が東山へ通ってゆく



滑石街道今熊野 南白吉町周辺 JR東山トンネルのすぐ南側を並行して 飯道を東山に越えてゆく



滑石街道 今熊野南日吉町周辺 車がやっと融合できる狭い坂道が東山へと登ってゆく 2016.9.13. 10:45
幹線道路の車道というより、どう見ても生活道路である



滑石街道 今熊野 南日吉町の上郎周辺 2016.9.13. 10:45
道沿標の案内板が壊れてきて、やっぱり道標が読めなれど、いよいよ標線が近づき、今熊野 南日吉町並みの最上郎 階段登って来ました



滑石街道 今熊野南日吉町周辺 東山の線路が随分近くになってきた 2016.9.13. 10:45



滑石街道と白吉南道との十字路に京都一岡トレイル東山10の案内標識 2016.9.13. 10:45



京都一岡トレイルとのクロスを過ぎると一瞬に視界が開け、今熊野の最上部にある延仁寺の大屋根が見え、その後ろに滑石越の山間が見える



視界が開けた滑石街道右手谷筋 京都の市街地が眺望 今熊野白吉南町最上郎 2016.9.13. 10:45



左:滑石街道 東山滑石越へ 右:谷筋を東山山頂へ昇る道との分岐 2016.9.13. 10:50



滑石街道 今熊野日吉町最上部 延仁寺駐車場 二つから花は昨道 東山線越の東越 2016.9.13. 10:51



滑石街道 東山峻線の乗越への峠道 2016.9.13. 10:54



10:55 滑石街道 東山峻線 滑石越 峠へ 2016.9.13.



滑石街道 東山峻線乗越への峠道 2016.9.13. 10:54



滑石街道 東山滑石越 峠<京都今熊野/山科西野山> 2016.9.13. 11:03



滑石街道 東山滑石越 峠 山科西野山側は急な下り道 2016.9.13. 11:03

京都市内からは壁のように立ち上る東山が、霧に覆い隠れてもなく、母の30分乗らずで隠される
木立に覆われて、びっくりです。
やっぱり、大石内蔵翁が山科から伏見・京都へ通った最良で安全だった道なんだろうと……



滑石街道 山科西野山 ヘアピーカーブ 2016.9.13. 11:08

カーブの右手 藪の中に「西野山古墓」の石標が建っていました



滑石街道 東山滑石越 峠 山科西野山側は急な下り道 2016.9.13. 11:07

つづら折れの坂道の次にはヘアピンの標識が見える。
このヘアピンの頂点部分が今回ぜひ訪ねたかった坂之上田村屋の墓といわれる西野山古墓のあるところである。



ヘアピーカーブのところ 坂之上田村屋の墓といわれる「西野山古墓」 2016.9.13. 11:08



西野山古墓 滑石街道 西野山ヘアピンカーブ 2016.9.13.

藪の中は死んでいる 中には入れませんでした



滑石街道 西野山の山腹 もう 山科の市街地沿いと思うのですが視界が開けない 2016.9.13.



滑石街道 西野山の山腹をカーブしながら雨へ下る 2016.9.13.



滑石街道 西野山山腹 突然視界が開け、山科の市街地が見えてきた。 2016.9.13. 11.18.



滑石街道 西野山桜の馬場町周辺 東へ 市街地下りる道との分岐 2016.9.13.

滑石街道はまっすぐ南へ山腹を登きながら下ってゆくが、分岐の急な坂道を下れば市街地へ。大半の車は分岐を下ってゆく。



西野山から眺める南北に広がる山科盆地全景 西野山桜の馬場町周辺分岐より 2016.9.13.

如意ヶ岳 金刺山 音羽山 千原岳 龍崎山

如意ヶ岳 蓮塚山

金刺山 千原岳 龍崎山



滑石街道 西野山桜の馬場町周辺分岐 東へ 市街地下りる道 2016.9.13. 11.20



滑石街道 山科西野山市街地へ下ってゆく道 2016.9.13. 11.20

【2】東山三十六峰南端の稲荷山 横断ハイク 2016. 9. 13.

稲荷山降臨伝承の三ヶ峰から伏見稲荷大社へ
帰りは山科西野山から稲荷山へ登って伏見稲荷大社へ 久しぶりの稲荷山はワンダーランドでした



山科 西野山市街地から眺める稲荷山



山科側の稲荷山山頂 三の峯参詣道



もう 何十年ぶりか? 久しぶりに歩きはじめた稲荷山。
山科側の山中は 緑の林に包まれた静かな空間の中を稲荷山山頂三ヶ峰への小道がつづく。
昔から伏見稲荷への参詣する多くの人かたどった道。
霧雨けふる林の中に幾つも名も知れぬ祠や塚そして行場がポッと現れてくる 摩訶不思議なワンダーランド。
神が集う山 今はやりのパワースポットか?
初めて山科側からたどる稲荷山への道は
この山が伏見稲荷の御神体山であることを随所で体現させてくれる。
霏がかった林の中に 赤い鳥居が正面向こうに浮かんでいる。
稲荷神が降臨した稲荷山山頂 三ヶ峰への参道の入口である。
何十年ぶりかの三ヶ峰 随分変わっているようですが、 今はどうなっているのか.....



京都 東山三十六峰越 walk をしようとなった本年6月 山科西野山を歩いた記録です。

このwalk で知った山科の歴史などに触れていますので、ご参考まで

【和鉄の道・Iron Road】 by Mutsu Nakanishi

◆ 京都山科 西野山walk 2016.6.3.

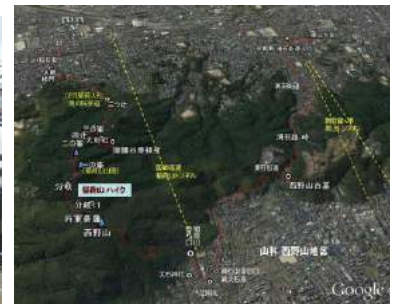
古代の鍛冶伝承・稲荷伝承の残る京都山科に坂上田村麻呂の墓を訪ねる

<http://www.infokkna.com/ironroad/2016htm/iron12/1607nishinoyama00.htm>

稲荷山概要 稲荷山と伏見稲荷 & 稲荷神の伝承 稲荷信仰に潜むと土着の神

1. 稲荷山横断ハイク walking Map

稲荷山横断ハイク walking Map 伏見稲荷大社へ ← 稲荷山三ヶ峰 ← 山科IC横登山口から



2. 稲荷山 稲荷神降臨・稲荷信仰の伝承

◆ 伏見稲荷大社と稲荷山 稲荷神が降臨した三ヶ峰 稲荷信仰の象徴 赤い千本鳥居と稲荷山の杉



伏見稲荷大社



七条大橋周辺より 鴨川越しに眺める東山 の南端 西野山・稲荷山 2016.9.13

伏見稲荷大社は京都東山36峰の南端に位置する稲荷山三山(三ヶ峰)を「稲の穀霊神・稲荷大神」が宿る山・神体山とする神社で、稲荷山の麓に本殿があり、稲荷山全体を神域とする。全国に約3万社あるといわれる稲荷神社の総本宮である。旧称は稲荷神社。式内社、二十二社の一社。旧社格は官幣大社で、現在は神社本庁に属さない単立神社。

稲荷大明神の神名化された下記5柱の神々を祭神とする全国に広がる稲荷信仰の中心に位置する。稲荷山三ヶ峰の下社に主祭神である「宇迦之御魂大神」を、「佐田彦大神」を中社、「大宮能売大神」を上社に据え、明応8年(1499年)に本殿に合祀された左右の摂社、「田中大神」・「四大神」とともに、五柱の神を一宇相殿(一つの社殿に合祀する形)に祀っている。

稲荷神社の起源は「山城国風土記」逸文に残されていて、711年(和銅4年)伊弉呂妻公が、勅命を受けて伊奈利山三ヶ峰(稲荷山)に三柱の神を祀ったことに始まる。それには富裕だった伊弉呂が、お餅を弓矢の的にしたところ、餅は白い鳥になって飛び去り、稲荷山に舞い降り、そこには、稲が生え(稲成りいなり)た。伊弉呂の子孫は、伊弉呂の過ちを悔いて、杉の木を植えて祭ったのが、稲荷神社の起源とされている。

◎ 稲荷山の杉は稲荷信仰の象徴とされ、伏見稲荷大社では神楽を舞う巫女の頭にも、杉の葉が飾られる。



稲荷山の麓 伏見稲荷大社上社 2016.9.13



◆ 稲荷山三ヶ峯の社の祭神について インターネット <http://amago.hatenablog.com/entry/2014/08/01/125701> ほかより

伏見稲荷大社は稲荷大明神の神名化された下記5柱の神々を祭神とする全国に広がる稲荷信仰の中心に位置する総本宮。稲荷山三ヶ峯の下社に主祭神である「宇迦之御魂大神」を、「佐田彦大神」を中社、「大宮能売大神」を上社に据え、明応8年(1499年)に本殿に合祀された左右の摂社、「田中大神」・「四大神」一宇相殿(一つの社殿に合祀する形)に祀っている。



伏見稲荷大社 本殿を眺める

本殿 向かって左から 田中大神 佐田彦大神 宇迦之御魂大神 大宮能売大神 四大神 の五柱がまつられ、これら五柱の神々の総称が「稲荷大神」とされている。稲荷神は古く一柱の神のように伝えられていたものが、平安時代には下社、中社、上社に三座の神々(宇迦之御魂大神 大宮能売大神 四大神)が祀られ、やがて新たに二座(田中大神 佐田彦大神)を加えて現在の形になったと見られてる。

稲荷山の山上 三ヶ峰に祀られている三座の神々は古墳時代にまで遡る稲荷山の神奈備信仰とも結びついており、今でも一ノ峰(上之社神蹟=末廣大神)、二ノ峰(中之社神蹟=青木大神)、三ノ峰(下之社神蹟=白菊大神)の三ヶ峯への信仰を色濃く残っています。(御神蹟とは、太古に神が宿っていた場所といい、また、三ヶ峰の大神は稲荷大明神の神明化された神々としてされている。)

また、三ヶ峰の社の祭神については時代の移り変わりによって諸説ありますが、現在の大神の見解では、下社=宇迦之御魂大神、中社=佐田彦大神、上社=大宮能売大神とし、下社摂社の田中大神、中社摂社の四大神については由緒不明であるものの、「元は稲荷神と何らかの深い関わりがある地主神、あるいは土着的傾向が濃厚」とし、五柱の神を祭神として 伏見稲荷本殿に 一宇相殿(一つの社殿に合祀する形)に祀っている。



一の峯 上社



二の峯 中社



間の峯 荷田社



三の峯 下社

稲荷山の杉は稲荷信仰の象徴

弘法大師と「稲を担う老翁」 稲荷神が 京都東寺の守り神

「稲荷山の杉は稲荷信仰の象徴」
 稲荷神社の起源は「山城国風土記」逸文に残されていて、711年(和銅4年)伊弉具素公が、勅命を受けて伊奈利山三ヶ峯(稲荷山)に三柱の神を祀ったことに始まる。
 その理由は伊弉具がお餅を弓矢の的にしたところ、餅は白い鳥になって飛び去り、稲荷山に舞い降り、そこには稲が生えた。(稲成り・いなり)伊弉具の子孫は 伊弉具の過ちを悔いて、杉の木を植えて祭ったのが、稲荷神社の起源とされており、稲荷山の杉は稲荷信仰の象徴とされている。
 そんなイメージで見るからでしょうか、稲荷山の道筋の杉林は心なしか、密集していて林が暗い。異次元の空間の感じが漂う。霧雨の林の中 雨粒は落ちてこないのですが、蒸し暑くポケットの地図も内から濡れて びしょびしょです。
 119番通報ポイント番号【3】 11.51
 この周辺は西野山 山科区に属している。
 一方稲荷山全体は伏見区で、正確には東西に並び異なる二つの山。
 伏見稲荷の神域も稲荷山。
 しかし、ほぼ同じ高さの山が並んでいて 全体を稲荷山と誤らされてる。

伏見稲荷大社・間の峯 荷田社 と 荷田氏
 伏見大社の由来についての伊奈利伝承に対して、稲荷神の鎮座を「稲を担う老翁」に求める伝承があり、伏見稲荷で奉氏とともに神官を勤めた荷田氏系の伝承とされている。
 稲荷大明神伝記(南北朝時代)による(大意)弘法7年(816)4月の頃、弘法大師が紀州田辺の宿で身の丈八尺あまりの異相の老翁に會った。(これを神と知った)大師は、鎮座国家のため密教経路の資糧・東寺において神の加護を待つと告げると、老翁はそのみぎりに必ず奉養して大師の法命を守るであろう、と答えた。
 降って弘法14年(823)4月10日、彼の紀州の老翁が、稲を担い杉の葉を担い、二人の女性と二人の童子をともなって東寺の南門にやってくる。
 大師は喜んでこれを敬待し、道傍もこれに會った。老翁は、しばらく東寺の家に寄宿していたが、その間大師は東寺の山に勝地を定めて7日間禱進し、稲荷の老翁を神として祀ったとある。
 同じように伝承が盛つた方が、ともち、東寺の鎮座神として現在でも伏見稲荷大社と東寺を同視し、関係が深たれているという。
 稲荷大神が稲荷山三ヶ峯に鎮座した際、最初に奉祀したのは、荷田氏とされ、間の峯の稲荷社には荷田氏の祖神が祀られていた。
 インターネット 検索まとめ転記

二の峯から三の峯に向かう途中、間の峯 伊勢大神を祀る荷田社 2016.9.13.

伏見稲荷大社/三の峯/山科折上神社 稲荷塚 を結ぶ稲荷信仰のレイライン

◆ 稲荷信仰聖地 山科折上稲荷・稲荷山・伏見稲荷大社を結ぶレイライン 1/2

伏見稲荷・稲荷山・折上稲荷、3つの稲荷信仰の聖地が直線上に並んでいる
 711年(和銅4年)稲荷大神が降臨した際、稲荷山の三ヶ峰の次に降りたのが折上稲荷神社境内の稲荷塚と伝承され、伏見稲荷と共に最古の稲荷神とされている。
 伏見稲荷神社・稲荷山・折上稲荷の3つの稲荷信仰の聖地が直線上に並んでいて、これも折上稲荷神社が信仰を集める理由でもある

西野山公園
 花山稲荷神社
 折上稲荷神社
 京阪上田片麻呂墓
 京阪伏見稲荷駅
 稲荷駅
 伏見稲荷神社
 稲荷山

◆ 稲荷信仰聖地 山科折上稲荷・稲荷山・伏見稲荷大社を結ぶレイライン 2/2

稲荷の大神降臨伝承地 折上神社

伏見稲荷の奥の宮とされる折上稲荷神社 友の森が稲荷町 2016.9.13 12:35

折上稲荷神社境内の稲荷塚(京都市史跡)は約1,500年前のもので、稲荷神の前身、稻舩神(田)の神が祀られていた聖地。後の711年(和銅4年)稲荷大神が降臨した際、稲荷山の三ヶ峰の次に降りたのが境内の稲荷塚と伝承され、伏見稲荷と共に最古の稲荷神とされている。山に對する信仰と生産の信仰が一体となって生まれたと考えられ、合わせて古い民間信仰の姿をとらえているといわれる。

稲荷信仰と結びついた鍛冶伝承 山科花山稲荷の稲荷塚

京都山科に残る稲荷信仰と結びついた刀鍛冶の伝説
謡曲「小鍛冶」のもととなった山科花山稲荷の名刀「小狐丸」の伝承
名刀工三条小鍛冶宗近の相槌は稲荷大明神

山科盆地の北部 大文字山から比叡山へと連なる山並みの山中には鉄鉱石があり、そこから山科盆地を流れ下る山科川はかつて砂鉄の産地だったといい、山麓には如意ヶ岳南製鉄遺跡群と呼ばれる古代たたら跡が点在する。また、この山科盆地は天智天皇の御陵に象徴される古代王城の地でもあった。以前 この山科盆地北部のたたら跡を訪ねた時に、この地にも 古い鍛冶伝承が残っていると思いながら、よう見つけなかった。

今回 西野山の坂上田村麻呂の墓を訪れる機会に西野山周辺を歩こうと地下鉄 柳辻駅へ降り立ち、駅の地下通路の壁のタイルに上記した山科の鍛冶伝説を伝えるタイルをみつけ、一緒に訪ねてきました。

山科花山稲荷に伝わる名刀「小狐丸」の伝承

ある夜、一条天皇(980~1011年)が不思議な夢を見られて、当時名工として知られた三条の小鍛冶宗近に御剣を打つことを命ずる為、橘道成を勅使として遣わされました。宗近は宣旨を承りはしたものの、一人では御剣を打つことが出来ません。相槌に優れた者が居なくて困った宗近は、神にすがるとより仕方ないと思い、氏神である稲荷明神に祈願のために出かけます。すると一人の童子が現れて、不思議にもその童子は既に勅命を知っており、「君の恵みによって御剣は、必ず成就するであろう」と安心させます。そして、和漢の銘剣の威徳や故事を述べ、特に日本武尊の草薙剣の物語を詳しく語って聞かせ、「通力の身を変じて力を添えよう」と言って、稲荷山に消えていきます。

宗近は屋敷に戻って、しめ縄を張った壇をしつらえ、童子の教えのままに剣を打つ支度を調べて、祝詞を唱えて待ち構えていると、稲荷明神からの使いの狐が現れて、相槌となって御剣を打つのを手伝ってくれたのでした。やがて御剣は完成し、表に小鍛冶宗近、裏には小狐と銘を入れ、勅使に捧げると、狐は再び稲荷山に帰っていく。



【スナップ写真抜粋 稲荷山降臨伝承の三ヶ峰から伏見稲荷大社へ】

東山三十六峰南端の稲荷山 横断ハイク 2016.9.13.





東山三十六峰南端の稲荷山 横断ハイク を終えて



稲荷山 伏見稲荷大社 ミケ峰奥社参詣道 四つ辻から眺めた京都市街地 2016.9.13.
 久しぶりの稲荷山 初めて歩いた伏見稲荷参詣道稲荷山横断 walk
 霧雨が時折降る曇天の天気でしたが、神が宿る山稲荷山の雰囲気が一層強く感じながら 歩けました。
 ◎ もう何十年ぶりか？ 久しぶりに歩いた稲荷山。私の遠い記憶の山とは随分 イメージが違う。
 知っているようで知らなかった山に。

山科側の山中は 鬱蒼とした緑の林に包まれた静かな空間に稲荷山の山頂ミケ峰への小道がつづく。
 稲荷神の化身としての神さんの祠や塚そして行場が数多く散在する摩訶不思議なワンダーランド。
 一体幾つあるのだろうか？ と。 でも今は山中の自然に溶け込んで、やりのパワース ポットに？
 初めて山科側からたどる稲荷山への道はこの山が伏見稲荷の御神体山であることを体現させてくれました。
 また、京都側 伏見稲荷神社本殿からミケ峰に続くにミケ峰奥社 お山巡りの参道にも たくさんの塚や祠。
 もとは朱の鳥居を含め、古くからの稲荷信仰の「おかげ参り」のたまもの。その数はますます増えてゆく。
 昔 登った頃と随分イメージが変化して、戸惑いも。本当にすごい

赤い鳥居トンネルが連続し、参詣する人の賑わいもさすが。

さすが、日本一の外人観光客のスポット。 平日にもかかわらず ミヶ峰への参道はほとんどが外人の観光客。 たくましく山を登ってくる外人たちの多さに、今の日本人が忘れてしまった気質を見る思いも……………。

- ◎ 知らなかった山科から稲荷山山越えすれば、もう これで 稲荷山がわかると思っていましたが、山中尾根筋や谷道に張り巡らされた参詣道の多さとその随所にある塚・行場。まだまだ 知らぬところが 数知れずあると。そればかりか、稲荷伝承も色々。稲荷大社と杉との関係も初めて。 東寺・空海と伏見稲荷との関係も興味ぶかい。やっぱり 自然信仰・土着信仰が、稲荷大神の奥深さの源になっているのだろう。
- ◎ 稲荷山の稲荷大神は農耕豊穰をもたらす開拓神。開拓神として ひょっとして 稲荷山の鉱物資源との関係もあるかもしれぬと 山中の峯・土 そして塚や行場にある伝承等々 歩く先々で痕跡を見まわしましたが、見つからずでした。おかげで 静かな山中のあちこちを眺めながらのWalk 本当に面白い山。
- ◎ 40数年前 伏見稲荷大社に数多くある摂社・参拝所のどこかで、「開運のだるま」を受け、お礼参りをした記憶。訪ねてみようと思いましたが、開運達磨を売っている店はあるのですが、今回はよくわからず。

今回のwalk で、終わりにせず、また ちょくちょく 訪ねようと……………。

霧雨が時折頬をなでる曇天でしたが、念願の山科側から京都市内側への稲荷山横断ができました。

2016.9.13. 鴨川七条大橋で

鴨川越しに東山を眺めながら by Mutsu Nakanishi

京都 東山三十六峰越 walk 2016.9.13.

【1】京都市街と山科を結ぶ東山滑石越「滑石街道」を歩く 2016.9.13.

<http://www.infokkna.com/ironroad/2016htm/iron12/1610suberiishi00.htm>

【2】東山三十六峰南端の稲荷山 横断ハイク 稲荷山降臨伝承の三ヶ峰から伏見稲荷大社へ

<http://www.infokkna.com/ironroad/2016htm/iron12/1610inariyama00.htm>

◆ 京都 東山三十六峰越 walk 総合動画 2016.9.13.

<http://www.infokkna.com/ironroad/2016htm/iron12/1610higashiyamago.pdf>

【1】滑石街道を歩く 【2】稲荷山横断ハイク 2つの動画を1つのfileに

参考 和鉄の道・Iron Road By Mutsu Nakanishi

1. 京都 東山三十六峰越 Walk 2016.9.13.

【1】京都市街と山科を結ぶ東山滑石越「滑石街道」を歩く 2016.9.13.

京都にうれしい古道散歩道の発見 府道118号線 今熊野勤修寺線 大石内蔵助が山科から祇園・伏見へ通ったという古道

<http://www.infokkna.com/ironroad/2016htm/iron12/1610suberiishi00.htm>

【2】東山三十六峰南端の稲荷山 横断ハイク 稲荷山降臨伝承の三ヶ峰から伏見稲荷大社へ 2016.9.13.

掃りは山科西野山から稲荷山へ登って伏見稲荷大社へ 久しぶりの稲荷山はワンダーランドでした

<http://www.infokkna.com/ironroad/2016htm/iron12/1610inariyama00.htm>

2. 京都山科 西野山walk 2016.6.3.

<http://www.infokkna.com/ironroad/2016htm/iron12/1607nishinoyama00.htm>

1. 今の時代に通じる 征夷大將軍「坂上田村麻呂」& 蝦夷のリーダー「アテルイ」の評価討論 !! NHK BS 英雄たちの選択 「衝突! その時 男は何を見た 征夷大將軍・坂上田村麻呂」より

2. 京都山科 西野山walk 主要訪問先案内 山科 西野山Walk 西野山周辺の古代伝承

3. 京都山科 西野山walk

3.1. 坂上田村麻呂墓を訪ねる

3.2. 稲荷伝承の折上稲荷

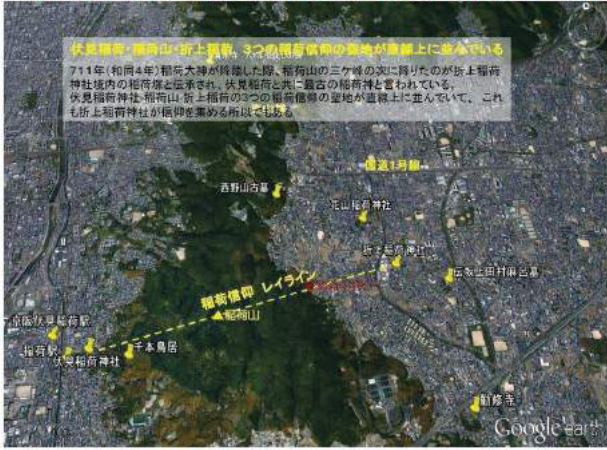
3.3. 西野山山麓の鍛冶伝承地 花山稲荷神社 3.3. 勤修寺 回遊式庭園の花菖蒲と睡蓮見学

4. 坂上田村麻呂創建の京都東山 清水寺に アテルイ・モシの碑を訪ねる

3. 京都山科に古代のたたら跡 如意ヶ岳南製鉄遺跡群を訪ねる 2013.8.26

<http://www.infokkna.com/ironroad/2013htm/iron09/1309yamashina00.htm>

◆ 稲荷信仰聖地 山科折上稲荷・稲荷山・伏見稲荷大社を結ぶレイン 1/2



西野山から眺める南北に広がる山科盆地全景 西野山桜の見場町見望分岐より 2016.9.13.



【2】 山科の帰りは 久しぶりの稲荷山横断ハイク 2016.9.13.
山科西野山から稲荷山へ登って伏見稲荷大社へ 久しぶりの稲荷山はワンダーランド



もう 何十年ぶりか? 久しぶりに登った稲荷山、山科側の山中は、豊饒した後の林に包まれた静かな空間。稲荷山の山頂三ヶ峰への小道がフツク、昔ながらの稲荷への参詣する多くの人がたどった道。神さんの祈や響をうけて行儀が多々存在する稲荷不思議なワンダーランド。一歩踏つたところから、今までのハイキングとは、初めて山科側からとる稲荷山への道はこの山が伏見稲荷の御神体山であることを体感させてくれる。また、京都側、伏見稲荷神社本陣から三分路に続く三ヶ峰後山、志山山頂の参道は切れるとなく続く山科の稲荷山を横断し、参詣する人の賑わいもまた、今日に代わらず、三ヶ峰への参詣を待つてくる人達と山科の稲荷山は、さすが、日本一の稲荷大社の山科に、たくましく山を登つてくる人たちの姿に、今の日本人が忘れてしまった気負いを思わせる……、嵐雨が稲荷宮まで下ってきたが、嵐前の山科側から稲荷山内街への稲荷山後山ができた。





山科IC・稲荷山トンネル横 稲荷山登り口 2016.9.13. 11:40

入口には何もありませんが、案外、しっかりと補強があるように整備された道が伸びています。



119番通報ポイント番号【1】

稲荷山トレイル 2016.9.13. 11:43

登り口の奥は、すぐ、鬱蒼とした森の中、山腹を登ってゆく整備された登山道に、道脇には 119番通報ポイント【1】標識が立っていました。



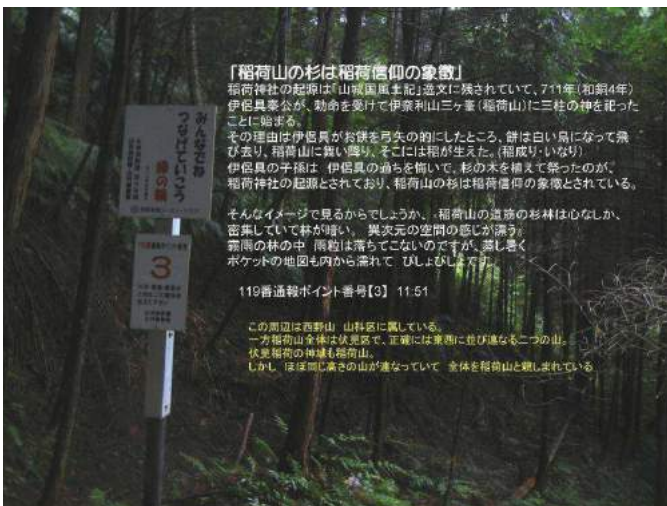
山科IC・稲荷山トンネル横 稲荷山登り口 2016.9.13. 11:40

山腹へ取りつく登り口からは、今にも雨が降り出しそう、霧雨に煙る山科の街が一瞥できました。



稲荷山トレイル 2016.9.13. 119番通報ポイント番号【2】

ついに霧雨が降り出したが、樹木がうっそうと立ち並ぶ森の中、雨粒は落ちてこない。予備では大雨にはならぬと、気分的にはちと重たいが、運も申し分ない。それに、頂上から向こうは稲荷大社の参道道。今日はやっぱり、稲荷山を越えて京都にでたい。このままがらから稲荷山を登るだろうと、それにしても、道がすべり、視界の悪化も懸念とした着、稲荷山全体が神域としてみられてきたからなのだろうかと、果た元の空間に迷い込んでゆくと思いがこぼれる。屋根と屋根の間なので傘計に無い。



3

「稲荷山の杉は稲荷信仰の象徴」
 稲荷神社の起源は「山城国風土記」逸文に残されていて、711年(和銅4年)伊弉具季公が、助命を受けて伊豫利山三ヶ峯(稲荷山)に三柱の神を祀ったことに始まる。
 その理由は伊弉具が宿禰を弓矢の的にしたところ、餅は白い鳥になって飛び去り、稲荷山に舞い降り、そこには稲が生えた。(稲成り・いなり)
 伊弉具の子孫は、伊弉具の命を悔いて、杉の木を植えて祭ったのが、稲荷神社の起源とされており、稲荷山の杉は稲荷信仰の象徴とされている。
 そんなイメージで見ると、稲荷山の道脇の杉林は心なしか、密集していて森が暗い。異次元の空間の感じが漂う。霧雨の森の中、雨粒は落ちてこないのですが、蒸し暑いポケットの地図も内から濡れて、ひしょひしょです。

119番通報ポイント番号【3】 11:51

この周辺は西野山 山科区に属している。
 一方稲荷山全体は伏見区で、正確には東側に並び連なる二つの山。
 伏見稲荷の神域も稲荷山。
 しかし、深遠に遡るその山が違っていて、全体を稲荷山と観し来れている。



4

稲荷山へと続く西野山への尾根筋へ登ってゆく ポイント【4】周辺 11:57



谷筋を抜けて、稲荷山へと続く西野山への尾根筋へ登る登り道。視界は暗くないが明るい



5

みんなでね 京都の山を 大切に



119番通報ポイント番号【6】 12:01
山腹を南から登ってきた勤修寺・山科浄水場からの道(左)との合流点
右が稲荷山への急で、稲荷山へ続く西野山の頂上への登り 頂上はもうすぐ上



尾根筋へ登り切るとそこは中央に三角点がある緑の明るい広場
豊道とした森を抜けての明るい空間に心地よい
西野山頂上 三角点 2016.9.13. 12:10



雨に煙る山科が樹木の間から見え 稲荷山へ続く西野山の頂上も近い



西野山頂上 三角点 2016.9.13. 12:10



南へ延びる西野山の広い山頂部 林の中に建つ石垣や塚の立てられている一角が現れる
深い森の中に 突然現れる不思議な空間 2016.9.13.



西野山山頂南部 將軍甚薩とその一角の塚 2016.9.13. 12:12



西野山山頂南部 將軍甚薩周辺 2016.9.13. 12:12
三角点の広場を抜け 南へ延びる西野山の広い 山頂部の林の中に建つ石の塚や祠があり
ちよつと不思議な空間 周辺あちこちに名前も不明な古い祠や粗上げられた岩がある。
稲荷山も含め、1万を超える塚や祠があるといわれている



西野山山頂南部 將軍甚薩周辺 2016.9.13.



西野山山頂周辺 将軍菩提樹周辺 2016.9.13.



西野山から西へ林の中を稲荷山との鞍部へと下ってゆく 2016.9.13.



西野山を西へ林の中を下ると稲荷山との鞍部が見えてくる 2016.9.13. 12:19



西野山と稲荷山の鞍部十字路 2016.9.13. 12:19
左:深草方面 右:滑石街道稲荷山北登山口の標識がついた119番情報ポイント(11)



稲荷山頂上への登への道 杉林が続く 2016.9.13.
情報ポイント(11)と90番目に代わりました



西野山と稲荷山の鞍部十字路 稲荷山頂上への登への道 2016.9.13. 12:20.



稲荷山頂上への登への道 杉林が続く 2016.9.13.
稲荷山の杉林が山頂の森へ、さらさらと続いている。このころが...



正面 稲荷山 一の峯への辻 2016.9.13. 12:34

稲荷山 一の峯への辻 ポイント【52】 2016.9.13. 12:34

見えてきた鳥居をくぐって 斜へ登って行けば、稲荷山頂一の峯
左に白雪大神・大岩大神へ下る御石階。右に真っ直ぐ登へ行くと竹之下道
いづれも伏見稲荷 奥の附めぐりの表意である



伏見稲荷寺道図

今回歩くまで よく知らなかった稲荷山の副-塚そして行橋
山中いたるところに こんなに沢山あるのを初めて知りました

辻の反対側は急な海田になっていて 稲荷山・西野山から南へ落ちる谷筋へ続く
稲荷山と西野山の校部院部のところ、深草方面へ進めばこの下の谷へ出られたようだ。
この谷筋には白雪大神・大岩大神や参つても行場があるという。



稲荷山

朱塗りの鳥居をくぐると 参道すぐ前方には幾つも鳥居が立ち並び、
右からも赤い鳥居の参道が合流。そしてその上には御石階を渡して卒が開けていて、もう頂上まじかである。



右手からは 御膳谷からの稲荷山山ヶ崎回遊参道が合流
して稲荷山山頂へ。
それにしてもおびただしい鳥居にびっくりしました。

稲荷山一の峯近く 杉林の中 おびただしい数の朱塗りの鳥居が頂上一の峯へと続く 2016.9.13. 12:35

石段の続く参道が頂上へ
この参道に入るとさすがに参詣者が多い、それもほとんど外人である



鳥居の向こうに稲荷山一の峯の上社が見え、まもなく頂上到達 2016.9.13.



稲荷山 一の峯 伏見稲荷大社上社 2016.9.13. 12:40



稲荷山 一の峯 伏見稲荷大社上社 2016.9.13.



稲荷山 一の峯 伏見稲荷大社上社 2016.9.13.



稲荷山 一の峯 伏見稲荷大社上社 2016.9.13.

◆ 稲荷山三ツ峯の社の祭神について インターネット <http://jinnagan.hatenablog.com/entry/20140906/17125781> (ほかより)

伏見稲荷大社は稲荷大明神の神名化された下記5社の神々を祭神とする全国に広がる稲荷信仰の中心に位置する総本宮。稲荷山三ツ峯の下社に主祭神である「宇迦之御魂大神」を、「佐田彦大神」を中社、「大宮能売大神」を上社に据え、明治38年(1905年)に奉祀に合祀された左名の神社、「田中大社」、「西大神」一宇稲敷(一つの社殿に合祀する形)に祀っている。



伏見稲荷大社 本殿を眺める

本殿 向かって左から 田中大神 佐田彦大神 宇迦之御魂大神 大宮能売大神 西大神の五柱がまつられ、これら五柱の神々の総勢が「稲荷大神」とされている。稲荷神は古く一柱の神のように祀られていたものが、平安時代には下社、中社、上社に三座の神々(宇迦之御魂大神 大宮能売大神 西大神)が祀られ、やがて新たに二座(田中大神 佐田彦大神)を加えて現在の形になったと見られる。

稲荷山の山上、三ツ峯に祀られている三座の神々は古墳時代から続く稲荷山の神奈根宮御子とも結びついており、今でも一峰(上之社神庫-天眞大神)、二峰(中之社神庫-具木大神)、三峰(下之社神庫-三郎大神)の三ツ峯への信仰を色濃く残しています。(御神籤とは、太古に神が嘗ていた場所としり込また、三ツ峯の大神は稲荷大明神の神明とされた神々とされている。)また、三ツ峯の社の祭神については時代の移り変わりによって随分変わりますが、現在の大神の見解では、下社=宇迦之御魂大神、中社=佐田彦大神、上社=大宮能売大神とし、下社併社の田中大神、中社併社の西大神については連続不詳であるものの、「元は稲荷神と同じかの深い関わりがある地主神、あるいは土着信仰の護摩」とし、五柱の神を祭神として 伏見稲荷本宮に 一宇稲敷(一つの社殿に合祀する形)に祀っている。

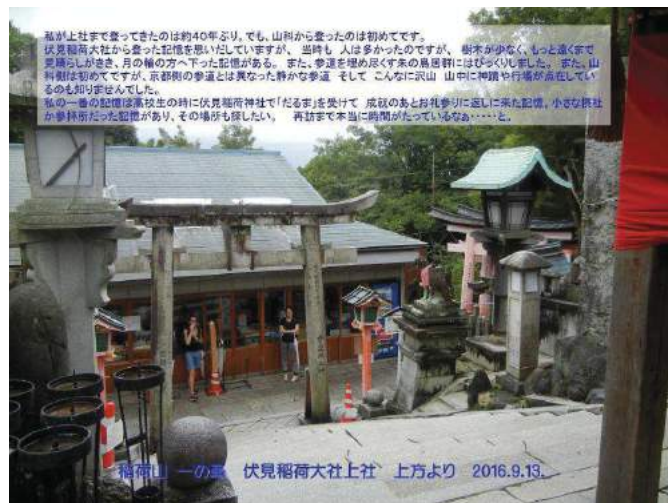


一の峯 上社 二の峯 中社 間の峯 荷田社 三の峯 下社

私が三ツ峯に登った記憶は遠く学生時代 もっと樹木も少なく、街がゆえたと、また、鳥居が山上まで 参道を遮れることなく塚の尽くしていることにも驚いています。当時も参拝者は多かったですが、今の外人観光客の姿にもびっくりです。



稲荷山 一の峯 伏見稲荷大社上社 2016.9.13.



私が上社まで登ってきたのは約40年ぶり、でも、山側から登ったのは初めてです。伏見稲荷大社から登った記憶を思い出していますが、当時、人は多かったのですが、樹木が少なく、しっとりと涼しく、月の方へ下った記憶がある。また、参道を埋め尽くす茶の鳥居群にはびっくりしました。また、山側から登って初めてですが、京都府の参道とは異なった静かな参道として、こゝに沢山 山中に神隠しや行儀が点在しているのを知りませんでした。私の一番の記憶は某校生の時に伏見稲荷神社で「たのま」を受けて、成就のあとお札参りに返しに来た記憶、小さな社が参拝所だった記憶があり、その場所も探したい、再訪まで本当に時間がたっているなあ……と。

稲荷山 一の峯 伏見稲荷大社上社 上方より 2016.9.13.



三の峯から四辻へ 鳥居のトンネルが続く 2016.9.13.



伏見稲荷 お山巡りの参道の起点 四つ辻 2016.9.13.

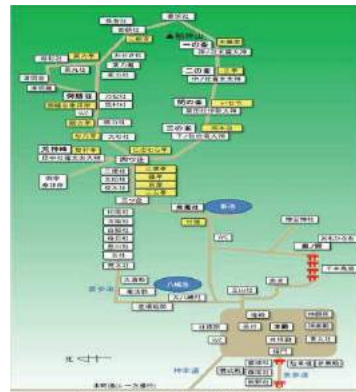


下から登ってきた参道

御膳谷へのお山めぐりの道(逆まわり)



伏見稲荷 お山巡り参道の起点 四つ辻 2016.9.13. 13:01
鳥居のトンネルを抜けると眼前に京都市街地の景色が広がっていました



四つ辻は下から登って来て「お山めぐり」の起点「お山めぐり」の参道 御膳谷参拝所を迂回してから山を下ることに通常は伏見稲荷大社本殿から奥の院の参道を登ってきて、この四つ辻から逆回り回りで三ヶ峯を登ってこの四つ辻へ戻る。今回は山科から登って 御膳稲荷山 頂上に登ったので、一の峯から二の峯 三の峯を登って四辻に降りてきました。それで 四つ辻から 三ヶ峯の北麓の御膳谷の参道の御拝所まで往復してから 稲荷大社に行くことになりました。



御膳谷へお山めぐりの道(逆まわり)の参道を下りる 2016.9.13. 13:04
右側の向こうには鳥居と鳥居の間を抜けるための峯への木の奥のトンネルが見えている



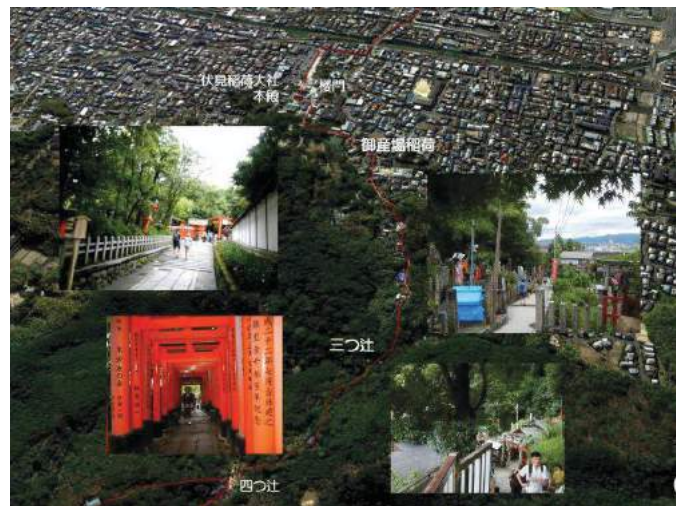
御膳谷 奉拝所 御膳谷神蹟 三ヶ峯の北後背地に当たる場所 2016.9.13. 13:11



御膳谷 眼力社 2016.9.13.



御膳谷 基拜所 二の峯の北後背地に当たる場所 御膳谷神蹟 御膳谷神蹟 台地の上にはたくさんのお花が咲いてる







【1】京都市街と山科を結ぶ東山滑石越 滑石街道を歩く 2016.9.13.

最近 山科西野山道 開きかけていた。東山トンネルの上を越えて東山と山科を結ぶ滑石街道(西道118号今熊野橋交差点)は、かつては京都市山科谷村が開道として、道路ではよく知られた道で、東山を越えて山科に入る東山山道は古い時代 半田氏(藤原氏の末裔)の本拠地であり、室町上田村の集落もある。また、室町大石内蔵が居た。東山道の斜面をめぐるところでもある。

また、この東山道は稲荷山そして稲荷への道でもある。古い歴史をたどる中で「滑石街道」の名前には必ず由縁があるのだらうと、「滑石街道」ゆかりの「東山道の歴史をたどる大石道」が、旅先で、稲荷山 東山の山道を探る「東山」道へ行った際に、通り付いた道で足を滑らせて転んだことあるように感じられる(大石道も「滑石街道」と呼ばれるようになったという。朝かすこい歴史がこの道に隠れているかと思いましたが、意外にも東山の歴史のイメージでした。

また、道がわかれた後、東の南側にゆとりと稲荷の集落が峰まで続く生活道路。三途谷(稲荷山) 室町通(東山)の道が、道の古い歴史がある新大石道(西道)で、ひたひたの東山道。

それも 東山道今熊野橋から東山道へ変るといふより、さらさら直道で約30分で、また、約30分で山科の集へ、約1時間 急げばもっと短い時間で 京都と山科の里「東山」を越えられるなど半道にびびり。

昔も今もずっと 東に東山道にゆける東山の道「滑石街道」だんだん、観光客の増加もなし、車にも邪魔されず、山からの眺めも景色も取り込み、京都にだけいって右側の散歩道 発見でした。

観光客の増加もなし、車にも邪魔されず、山からの眺めも景色も取り込み、京都にだけいって右側の散歩道 発見でした。

小松の道がらついているけれど、やっぱり この東山大石道の橋から稲荷山に登って 伏見稲荷大社へ参拝して帰ることに

2016.9.13. 山科 滑石-新大石道で たどってきた滑石街道の道の6分15秒 Masaru Nakayoshi



小野アルプス 紅山南稜の岩尾根 Walk 2016. 9. 24.

南稜岩尾根は一枚岩のスロープ 天然の滑り台!!

「紅山」

小野富士「惣山」



加古川中流 西岸 加古川市上荘町の田園より 2016.9.24.

加古川中流上荘橋西岸からは田園の中 西に帯状につながる日本で一番低い小野アルプスの山々が見渡せる。高さ200mにも満たない山々の連なりですが、それぞれ野山が岩肌を見せる岩山で、その中央の頂上から麓へ まっすぐ滑り落ちる岩稜を見せている岩山が高さ184mの「紅山」。その右隣の縁に包まれた岩山が高さ200m「小野富士 惣山」である。紅山の頂上から麓に延びる岩尾根はまるで滑り台のよう。平坦な岩肌の帯状のスロープが弧を描いて頂上から麓まで伸びている。すぐ南側を連山に沿って走る山陽自動車道からもよく見える山並み。

急傾斜のスロープで歩けないと思っていましたが、この「紅山」の岩稜を登ってゆくゴマ粒のようなハイカーが見える。国土地理院の地図にこの岩尾根ルートの道が記載されていず、この岩稜の表面状況もわからず、登りたいと思いながら、行けなかった「紅山」。「須磨アルプス 馬の背程度のハイキングコース」と教えてもらって、うっとおしい天気を選けて登ろうと。やっと晴れ間が出た9月24日 紅山南稜の岩尾根を登ることができました。



加古川上荘橋からながめる小野アルプス 左端に 紅山 惣山 2016.9.24.

紅山・惣山行程Map
国土地理院地図には岩尾根の道は記載されていないが、地元のハイキング地図には紅山南稜コースとして 記されている

加古川中流上荘橋からは日本で一番低い小野アルプスの山々。 高さ200mにも満たない山々の連なりですが、それぞれ岩肌を見せる岩山。中央左の岩山が高さ184mの紅山 右隣が高さ200mの小野富士 惣山 低山と侮るなかれ。 楽しい岩山をたどる縦走路があります



高低差約80m紅山の南稜岩尾根 2016.9.24.
実際にその下に立つとその大きさと傾斜にびっくりである



惣山稜線小野見山から眺めた紅山の南稜スラブ 2016.9.24.
背後の山は登ったことのある志方城山

紅山の南稜 一枚岩の岩尾根 まるで滑り台!!

紅山南稜 岩尾根のスロープを隣の惣山から眺める

高低差約80m 斜度約35度の急傾斜 上部は壁のように立ちはだかり、遠くから見ていると「このスロープは簡単には登れない」と 思っていましたが、恐怖感さえなければ、慎重に歩いて 頂上まで直登できるハイキングコース。

加古川中流上荘橋からは 川の西岸からは 田園の中 西に帯状につながる日本で一番低い小野アルプスの山々が見渡せる。高さ200mにも満たない山々の連なりですが、それぞれ野山が岩肌を見せる岩山で、その中央の頂上から麓へ、まっすぐ滑り落ちる岩稜を見ている岩山が高さ184mの「紅山」。その右隣の縁に包まれた岩山が高さ200m「小野富士 惣山」である。

紅山の頂上から麓に延びる岩尾根はまるで滑り台のよう。平坦な岩肌の帯状のスロープが弧を描いて頂上から麓まで伸びている。すぐ南側を連山に沿って走る山陽自動車道からもよく見える山並み。急傾斜のスロープで歩けないと思っていましたが、この「紅山」の岩稜を登ってゆくゴマ粒のようなハイカーが見える。

「大小の流紋石の破片が集積してできた流紋岩の一枚岩で、風化などで表面の塊状粒が抜け落ち、ざらざらで滑りにくいので、恐怖心さえなければ、高低差約80メートル斜度35度程度の見上げる岩壁を登り切れる」とつい最近教えてもらった。

国土地理院の地図にこの岩尾根ルートが記載されていず、この岩稜の表面状況もわからず、登りたいと思いつきながら、行けなかった「紅山」。「須磨アルプス 馬の背程度のハイキングコース」と教えてもらって、うっとおしい天気も避けて登ろうと。

やっと晴れ間の出た9月24日 紅山南稜の岩尾根を登ることに。原チャリで神戸を出て、いつものコース。 約1時間ほどで、加古川の上荘橋を渡って、登山口になる小野市鴨池へ。

見上げる岩壁のスケールにびっくり・圧倒されましたが、南稜の岩尾根を登って頂上へ。また、南稜のスロープを眺めるために 東隣の小野富士「惣山」(山頂稜線の岩山 小野見山)にも登りました。

天候に恵まれ、久しぶりに緊張しながら岩稜を登り切った爽快感とともに、「紅山」・「惣山」山頂から眺める播州の素晴らしい展望。そして 山麓のさすみの郷の収穫を待つまりの田園とともに、田園一面を真っ白に染めるそばの花の秋景色。本当に心地よいハイクでした。

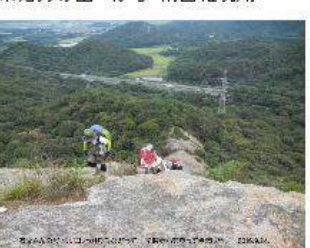
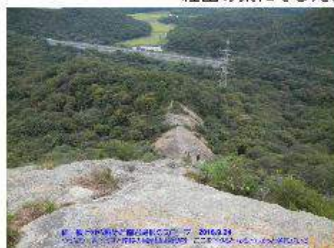
Good Luke !! 2016. 9. 24. 鴨池で Mutsu Nakanishi



【紅山山頂より 東南から南西にかけて広がる東播磨のワイドビュー 2016.9.24】



紅山の東にそびえる惣山(山上中央部岩山小野見山 右端部が山頂) 紅山南稜正面 南 加古川市志方の山々から 南西権現湖



紅山山頂より 東南から南西にかけて広がる東播磨のワイドビュー 2016.9.24.



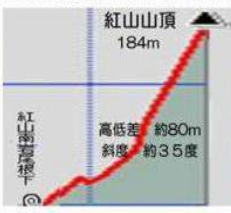
紅山の南稜岩尾根 高低差約80m そのスケールにびっくり 2016.9.24. 頂上付近はかべのよう。また、傾も鈍にもなし。登ってゆく人がゴマ粒三角に集ったその頂点を頂上まで真っすぐ登るのだとやっと合点がいく

【紅山 南稜の岩尾根 2016.9.24】

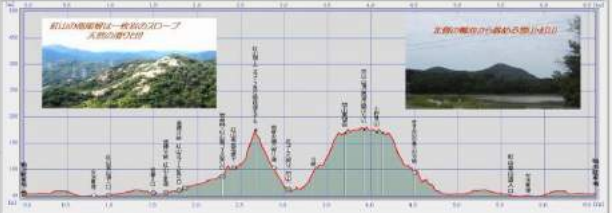


紅山頂上から眺めた岩尾根のスロープ 2016.9.24. やつぱり一枚岩の傾斜は約35度。よく滑り落ちるようになることが、羨ましい。

紅山南稜の岩尾根 高低差約80m 斜度約35度を紅山頂上まで直登する



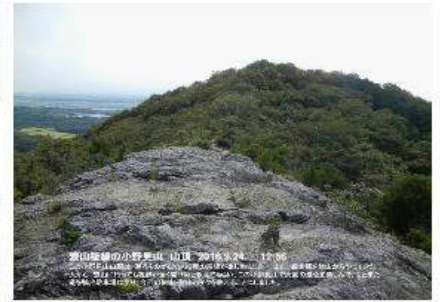
加古川上荘橋からながの小野アルプス 左端に 紅山 惣山 2016.9.24



【総山 小野見山から眺める 紅山南稜のスロープと東播磨360度の展望 2016.9.24】



惣山を中央に南の景色



惣山南麓の小野見山山頂 南眺め 2016.9.24



西側 紅山の南、惣山脊・南稜の slope 2016.9.24



惣山南麓小野見山山頂から北眺め 2016.9.24



惣山の稜線 展望台を中央に北の景色



惣山南麓小野見山山頂から北東眺め 2016.9.24



惣山南麓小野見山山頂から東眺め 2016.9.24



惣山南麓小野見山山頂から南東眺め 2016.9.24



惣山南麓小野見山山頂から南眺め 2016.9.24

北東部 来住野・小野の田園地帯から 東に連なる小野アルプス そして南東部の東播磨の海岸まで遠望し、南の頂上部稜線展望台へ。



惣山 小野見山から南西眺め 2016.9.24



惣山 小野見山から西眺め 2016.9.24



惣山小野見山から北西眺め 2016.9.24

南西側から 西の紅山・北に延びる総山の頂上部稜線展望台へ。

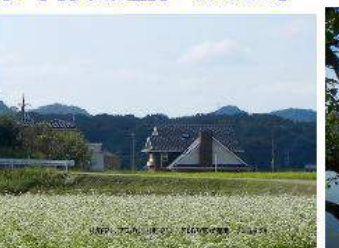
【紅山 北山麓 きすみの田園風景 小野市来住野 2016.9.24】



小野市来住野の田園風景 2016.9.24



小野市来住野の田園風景 2016.9.24



小野市来住野の田園風景 2016.9.24

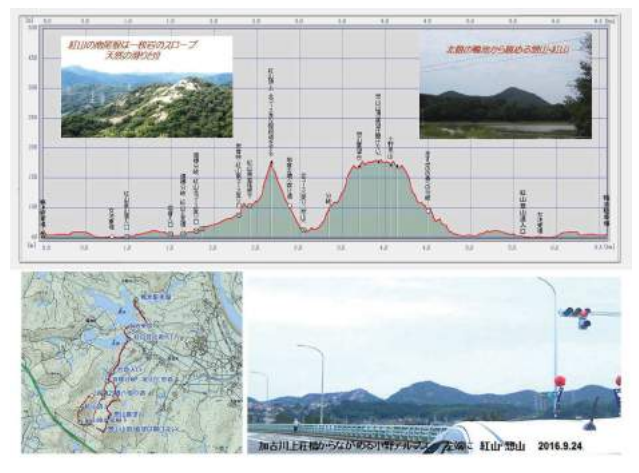
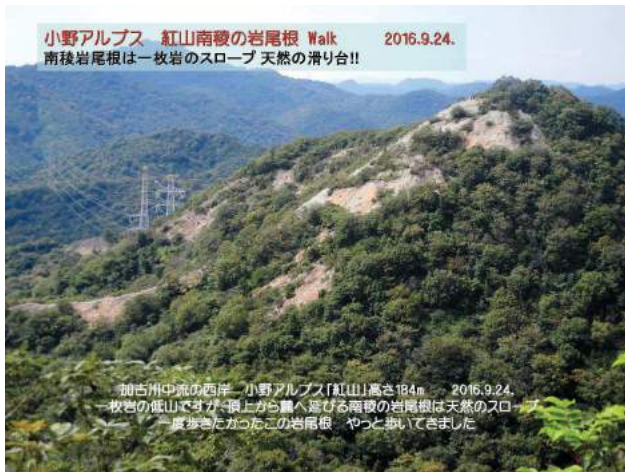


小野市来住野の田園風景 2016.9.24

約2時間ほどで歩けたてがるな低山のwalking ですが、
 久しぶりに緊張感をもって 岩稜を登り切った爽快感。
 紅山・惣山から眺める360度に広がる東播磨の大パノラマ
 小野アルプス 低山と侮るなかれ 岩壁のスケールに圧倒された楽しい山
 紅山北麓のきすみのの郷もまた素晴らしい秋景色
 次回は この小野アルプス 縦走して 「ふびか」の温泉に下ろうと
楽しい東播磨Walk Good Luke 念願の紅山南稜を歩きました。

2016.9.24. そばの花満開の小野市きすみのから
 小野アルプスを眺めながら by Mutsu Nakanishi







東の惣山嶽線路の岩山小野見山から眺めた紅山の南麓のスロープ 2016.9.24
背後の山は登ったことのある志方嶺山



紅山のハイクワのスター村は小野市鴨池から 2016.9.24 10:40



紅山の南麓尾根を登りたくて、北からの登りは北麓に海へ、岩倉峠に出て、そこから、紅山南の岩倉峠をのぼりました。また、北麓の道も知りたくて、北にいったん下って、紅山のスロープを眺めるために惣山にも登りました。紅山・惣山の小野見山からの展望は素晴らしい眺めでした。



鴨池から紅山への登り口 2016.9.24 10:43



惣山・紅山尾根を登りたくて、北麓の岩倉峠へ向かう 2016.9.24 10:58



左手に惣山への分岐を過ぎて、さらに岩倉峠への道を進むと樹間から紅山が見えだし、間もなく、小野アルプス縦走路との十字路 紅山と惣山の鞍部岩倉峠



紅山北登山口との分岐 2016.9.24 10:58
北登山口からの道は森林の回を頂上まで途なずけが長く、よく整備された登山道。視界は狭くないが安全な道である



岩倉峠 紅山南岩尾根下への登り道 紅山山頂まで400mの標識が見える 2016.9.24 11:05



樹林の中を抜けると樹林が幅10mほど樹林が切れ、視界が開け下へ斜めに落ちる岩肌が見える。紅山南稜の岩尾根に到達したと 2016.9.24. 11:09



紅山南稜の岩尾根 思っていたより 急な岩稜を登ってゆくと人が見える 2016.9.24.



視界の開け方南には、山麓自動車道が見え、その向こうに遠方の里山見えている。また北側樹林の上には、紅山の頂上へ登る岩尾根が見えている。



樹林を抜けると紅山の由来となった古い岩肌、紅山の南稜岩尾根全体が見える 2016.9.24. 両側に傾斜があるので、それぞれ直登、登り道は上へ一直線 すごいと 11:13



紅山 南稜岩尾根の下の登り口到達 2016.9.24. 11:14



高低差約80m紅山の南稜岩尾根 2016.9.24. 実際にその下に立つとその大きさと傾斜にびっくりである



紅山の南稜岩尾根、高低差約80m、そのスケールにびっくり 2016.9.24. 頂上付近はかべのよう、また、樹も真木にも似し、登ってゆく人がゴマ和三角に乗ったその頂点を頂上まで真っすぐ登るのだとやっと各点が行く



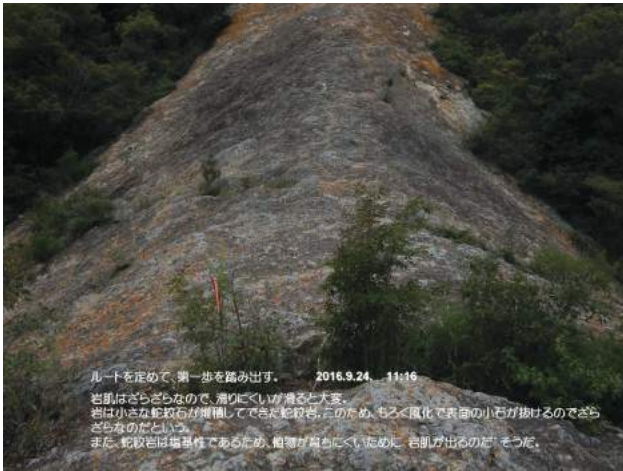
振り返ると南 山麓自動車道の向こう 志方の山並みと後醍醐が見えるその奥に顔を出しているのは 高野位山か・・・



岩壁の登り口に近い人がいる岩尾根の中腹にいます。滑らずに真っすぐ直登ができるようだ。きついのは、狭間は緑が見えるテラスの上。頂上直下の壁のような



紅山の名の由来になった赤色は、岩肌にごびりついで生息する地衣類で、岩壁全体に生息しているのが見える。



ルートを定めて、第一歩を踏み出す。 2016.9.24. 11:16
岩肌はさらさらなので、滑りにくいが滑ると大変。岩は小さな蛇紋石が層積してできた蛇紋岩。そのため、もろく風化で表面の小石が剥けるのでさらさらなのだ。また、蛇紋岩は塩基性であるため、植物が育みにくいため、岩肌が出るのだ。そうだ。



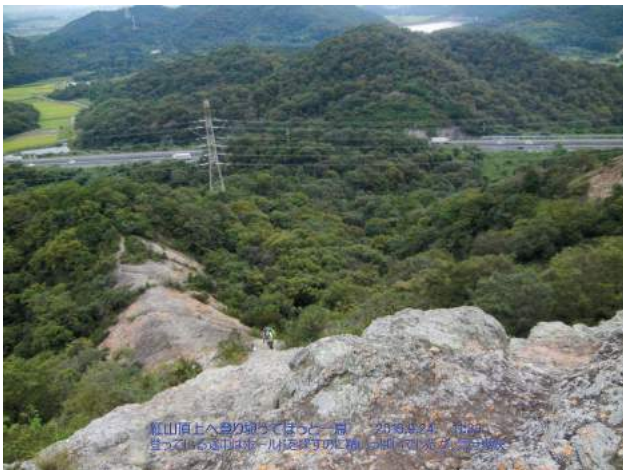
頂上のすぐ下、最上部をまっすぐ登っている人が見える。 2016.9.24.
見上げて楽しんでいるのはいいが、登るとなると慎重に、滑らぬようにと



小野アルプス 一枚岩の岩尾根「紅山」南稜 最上部 やっばり壁のような傾斜 2016.9.24.
樹木の茂るバンドの上が難関。横へトラバースもできず、真っすぐ白い印を確りに登る。すぐ手の届く上に丸印があるのですが、手が届かず、慎重にホールドを探しつつ頂上へ登ってゆく。



高さ184m 紅山頂上 2016.9.24.
山は新しいですが岩壁、一気の西向き気分の爽快感 心地よ!



紅山頂上へ登り始めてはじめて 2016.9.24. 16:00
登って出る道には赤い丸印がいくつかあり、その間をすり抜けて登る。

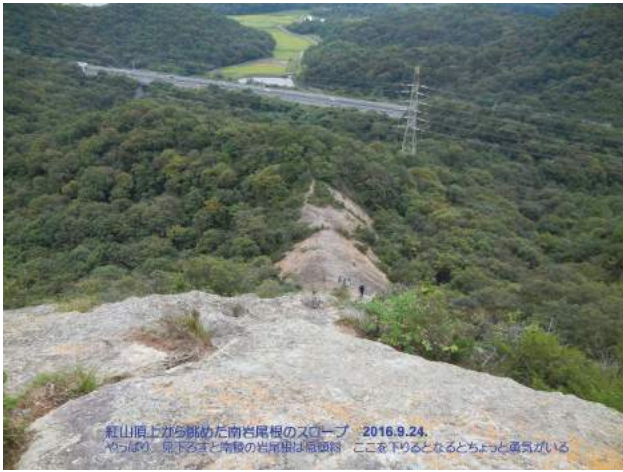


【紅山山頂より 東南から南西にかけて広がる東濃圏のワイドビュー 2016.9.24】



【紅山 南稜の岩尾根 2016.9.24】

紅山南稜の岩尾根、南稜尾根から、南西の山頂まで登る。



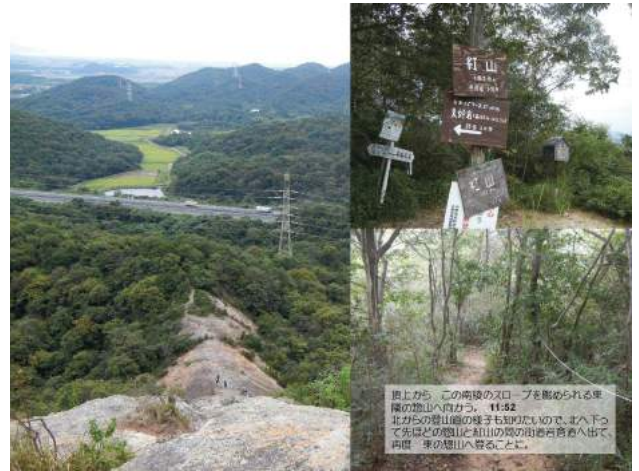
紅山頂上から眺めた南岩尾根のスロープ 2016.9.24.
やっぱり、見下ろすと片側の岩尾根は高級料 ここを下りるとなるとちよつと蒸気がいる



高さ1541m 紅山頂上 2016.9.24



お父さんのザイルにしっかりつながって、子供たちも登ってきました 2016.9.24.



頂上から、この南側のスロープを断られる年
際の登山へ向かう、 11:52
北からの登山道の様子も知りたかったので、北へ下っ
て先ほどの登山道と紅山の間の両道両方へ出て、
両道一帯の登山へ出ることに。



紅山北の登山口へは道は樹林の中の傾斜のさつい山道 階段道もありますが、よく整備されている。
紅山は、高さ500mの山で、山頂の形をした山だと懸せられる。 2016.9.24. 11:58



紅山の東にある登山も樹間から顔を出す 2016.9.24-

樹間のきつい階段道を登り、降りると道は平たんとなり、岩壁面に降りてきた



スタート地点の精池や来住町の田園など北の景色が樹木の蔭から見える



岩倉道 北登山口の入口に長久寺は向かいの登山への道をたどる 2016.9.24. 12:20



惣山への道は北から南へ紅山への道も明るい登山道 2016.9.24.



樹間の間から、西の紅山や東側の景色も樹間から見え、惣山の頂上部の陸線が近い 2016.9.24.



スタート地点の稲池や栄住野の田園が見えている



空が明けて、惣山頂上陸線の展望台に 西には紅山南壁のスロープが見える 2016.9.24. 12:50



惣山陸線から眺めた紅山の南壁のきれいなスロープ 2016.9.24.
眺めたかった景色だが、中に岩線には登ったことのある私が登山が見えている



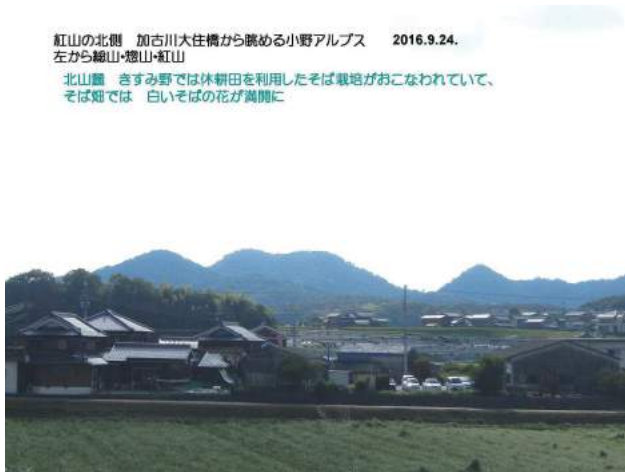
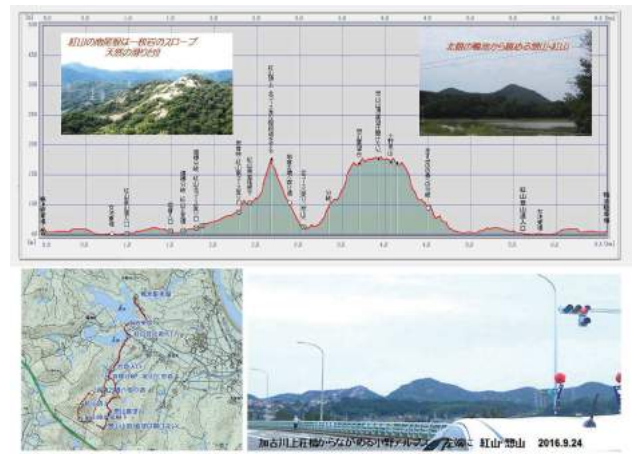
惣山展望台から南の景色、南に落ちる岩の稜線の向こうに隠れた惣山頂上 2016.9.24.
また東の岩山が惣山陸線の小野見山



惣山展望台から北の景色、北から流れ下ってくる加古川が見えている 2016.9.24.



惣山陸線の小野見山 山頂 2016.9.24. 12:56
この小野見山山頂は、昔もものがたりの伝説の場所が深しゆました。また、鎌倉道を惣山からやってきた人から、惣山に行くと杖が空を舞うと見えゆるといふこの小野見山で開眼の景色を楽しんで、また来た道を輪池駐車場に戻り、今日の惣山登山のハイクを終えることにしました。





小野アルプスの北山麓 来住野・きすみのではそばの花が満開 2016.9.24. 14:55



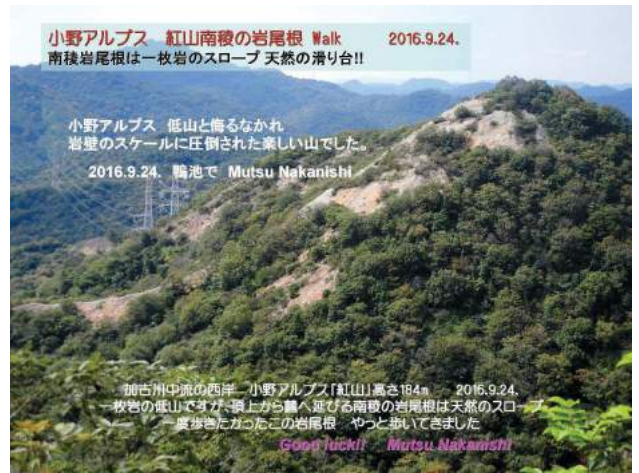
【紅山 北山麓 きすみの田園風景 小野市来住野 2016.9.24.】



約2時間ほどで歩けたてがるな低山のwalking ですが、
 久しぶりに緊張感をもって 岩稜を登り切った爽快感。
 紅山・惣山から眺める360度に広がる東播磨の大パノラマ
 小野アルプス 低山と侮るなかれ 岩壁のスケールに圧倒された楽しい山
 紅山北麓のきすみのの郷もまた素晴らしい秋景色
 次回は この小野アルプス 縦走して「ふびか」の温泉に下ろうと
 楽しい東播磨Walk Good Luke 念願の紅山南稜を歩きました。
 2016.9.24. そばの花満開の小野市きすみのから
 小野アルプスを眺めながら by Mutsu Nakanishi



小野アルプスの北山麓の田園では、そばの花が満開 2016.9.24.



小野アルプス 紅山南稜の岩尾根 Walk 2016.9.24.
 南稜岩尾根は一枚岩のスロープ 天然の滑り台!!

小野アルプス 低山と侮るなかれ
 岩壁のスケールに圧倒された楽しい山でした。
 2016.9.24. 騎池で Mutsu Nakanishi

前古川中流の西岸 小野アルプス「紅山」高さ184m 2016.9.24.
 一枚岩の低山ですが、頂上から望み入る南稜の岩尾根は天然のスロープ
 一度歩きたかったこの岩尾根 やっと歩いてきました
 Good luck!! Mutsu Nakanishi

【紅山 北山麓 きすみの田園風景 小野市来住野 2016.9.24.】



約2時間ほどで歩けたてがるな低山のwalking ですが、
 久しぶりに緊張感をもって 岩稜を登り切った爽快感。
 紅山・惣山から眺める360度に広がる東播磨の大パノラマ
 小野アルプス 低山と侮るなかれ 岩壁のスケールに圧倒された楽しい山
 紅山北麓のきすみのの郷もまた素晴らしい秋景色
 次回は この小野アルプス 縦走して「ふびか」の温泉に下ろうと
 楽しい東播磨Walk Good Luke 念願の紅山南稜を歩きました。
 2016.9.24. そばの花満開の小野市きすみのから
 小野アルプスを眺めながら by Mutsu Nakanishi





2016 秋桜 東播磨 志方の郷のコスモス畑

今年も加古川中流西岸の志方を訪ねました 2016.10.15.



志方のコスモス祭りの中央会場、高畑のコスモス畑 2016.10.15.



緑地が満開のコスモスの原を越えてゆく、下飯原のコスモス畑 2016.10.15.
高畑ですが、うれしい地のコスモスの景色です

志方南-高畑南 高畑のコスモス畑 2016.10.15.

高畑南-高畑南 高畑のコスモス畑 2016.10.15.



上荘町周辺 東から眺める東播磨の平野の向こうに聳える山々 同定間違ってればごめん

コスモス満開近かしの報に 毎年訪ねる 加古川中流西岸の志方の郷のコスモス畑を訪ねました。10月16日晴天の朝午後、加古川の土手に向かって 原チャリを走らす。収穫を迎えた田園の向こうに西から北にかけ、高御位山から小野アルプスの山並みがみえ、つい先日 全面黄金色に染まっていた田園は刈り入れの時期 刈り取りの終わった田にはひこばえが顔を出し、遠く野焼きの煙が上がっている。

志方の郷は加古川を渡った西岸 先月登った紅山のすぐ南側。西の高御位山から北の志方城山・小野連山の里山に囲まれた田園地帯東播磨の田園の景色の変化が深まって行く秋を感じさせてくれる。毎年毎年違った顔を見せてくれるコスモスの秋景色 コスモスに出会うのを楽しみ。毎度気持ちさをすっきりさせてくれる志方の郷の秋桜の秋景色 今年もどっぴりと。

また、紅山南稜ハイクに行き、忘れ物をしたように思っていた「紅山の南稜岩尾根スロープ」を南側正面の山陽自動車側から眺められるポイントを今回帰り道でやっと見つけて、正面から紅山頂上から落ちる急斜面のスロープのカーブを眺めてきました。

秋深し。夕暮れの帰り道眺めた黄金色に輝く田園なども印象的。うれしい東播磨の2016秋桜でした。加古川の土手 「また、来年も」と夕日と競争しながら、原チャリのアクセルをふかす。

毎年同じようなスライドばかりですが、2016年秋 私の好きな秋景色の一つです。



志方に暮らす高畑山 高畑の郷のコスモス畑 2016.10.15.



池に姿を映す飯盛山 広尾の郷のコスモス畑 2016.3.10.15.



鉄塔が満開のコスモスの原を渡ってゆく 下飯坂のコスモス畑 2016.10.15
今年も、この景色を見ることができました



鉄塔が渡ってゆく下飯坂の原 今年も満開のコスモスが埋め尽くしていました 2016.10.15.



正面に新金山が見える成何の郷のコスモス畑 2016.9.10.15.



2016 秋桜 毎年違った顔を見せてくれる 気持ちをすっきりさせてくれる志方の郷の秋桜の秋景色 今年もどっぴりと。



秋深し。夕暮れの帰り道眺めた黄金色に輝く田園なども印象的。うれしい東播磨の2016秋桜でした



志方のコスモス祭りの中央会場、高畑のコスモス前 2016.10.15.



播州中央の山並みにそびえる美しい山の姿を山を歌うにする播州の山内と真石寺の山々の眺が志方の秋 2016.10.15. 東播磨 能楽町志方より



晩秋と初冬が交錯する2016年12月はじめ
今年はずく近くで こんな紅葉に出会えました 2016.12.6.

- 1. 須磨アルプス 妙法寺界限 里山の紅葉
- 2. 京都御所の紅葉

1. 須磨アルプス 妙法寺界限 里山の紅葉

高取山

須磨の海

東山

馬の背

横尾山



名谷東落合 須磨東高校近傍上から 妙法寺駅・横尾団地越しに眺める紅葉した西六甲須磨アルプスの山々 20106.1

今年はずく近くで 自家のある妙法寺界限の里山は素晴らしい紅葉に
いつもは北から南の須磨アルプスを眺めるのですが、逆に妙法寺界限の紅葉した里山や須磨アルプスを眺めようと
歩いたことのない団地の小道を登るとここかしこで 素晴らしい晩秋から冬への衣替えが進む里山の景色。
わか街にこんな景色の良いポイントがあったのかとデジカメでパチリ
初めて知った我が町妙法寺界限の紅葉の里山ポイント
記録にと止めておこうといつも若草町から撮る須磨アルプスとは違ったポイントからの紅葉した里山の景色を集めました



左 北若草山の丘にある若草町 中央 南若草山の谷奥 右に高取山 右 南西緑ヶ丘越しに馬の背・横尾山
妙法寺 緑ヶ丘から眺める紅葉した妙法寺界限の里山 2016.12.6.



若草山山腹が真っ赤に 今年の紅葉はとりわけ美しい 2016.12.3.



妙法寺 緑ヶ丘の上から 北側 妙法寺川が流れ下る谷越しに眺める若草町の丘 2016.12.6.



葉が散ってしまう銀杏の樹を前景に 中央に若草小学校が見える若草町の丘
初めて南の緑ヶ丘で見つけた素晴らしいポイントで 2016.12.6.



紅葉した若草町の丘から 谷の向こうに眺める南の高取山 2016.12.6.

2. 京都御所の紅葉

京都御所は春の桜で有名ですが、家内の用事について行って、ちょっと時間が空いたので、ぶらぶら京都御所へ街中や紅葉の名所は名残の紅葉の探勝で人であふれていますが、京都御所はシーズン外れ。でも、京都御所内の樹木ももみじして 歩く地面は落ち葉の絨毯 素晴らしい空間を作っていました。



紅



紅葉した京都御所内の散策【2】 20106.12.4.

どこの街にも まだ知らない素晴らしい景色を見張らせるポイントがあるはず
ぜひ 一度 気ままにな散歩のともに そんなポイントをお探してください

2016.12.6. by Mutsu Nakanishi

風来坊 Country Walk 総覧

1. 里歩き・山歩き・街歩き

<http://www.infokkna.com/ironroad/dock/ironroad.htm>

風来坊 Country Walk 【I】 里歩き 1999. 9. -2002. 12.

- | | | |
|--------------------------------|-----------|-------------|
| 1. 北のまほろば 津軽 | 1999. 9. | kaze01. pdf |
| 2. 越中 花街道 奥美濃-五箇山-砺波平野 | 1999. 5. | kaze02. pdf |
| 3. 中国錦州 「化石から 山口県美祢を思う」 | 2000. 11. | kaze03. pdf |
| 4. 一足先に春を告げる南房総 | 2001. 4. | kaze04. pdf |
| 5. 新緑の九州 霧島 韓国岳 | 2001. 5. | kaze05. pdf |
| 6. 山口県 長門市 湯本温泉の記事 | 2001. 5. | kaze06. pdf |
| 7. 花の四月 関東で Country Walk | 2001. 5. | kaze07. pdf |
| 8. 福井県 一乗谷 朝倉氏遺跡 | 2001. 11. | kaze08. pdf |
| 9. 2002 京都の春 京大界限・大文字山 | 2002. 3. | kaze09. pdf |
| 10. 源平の 青葉の笛 須磨寺門前に「卯の花」を訪ねる | 2002. 3. | kaze10. pdf |
| 11. 福島県 三春 天然記念物「滝桜」 | 2002. 4. | kaze11. pdf |
| 12. 福島県 裏磐梯 残雪の五色沼 アルバム | 2002. 4. | kaze12. pdf |
| 13. 一度行きたかった草津温泉 風来坊 | 2002. 4. | kaze13. pdf |
| 14. 田中講 平先生の新しい陶房葉月を訪ねて | 2002. 5. | kaze14. pdf |
| 15. 春 草色に輝く秋吉台 カルスト台地 Walk | 2002. 5. | kaze15. pdf |
| 16. 2002 夏 「ねぶた」と「ねぶた」 青森 Walk | 2002. 8. | kaze16. pdf |
| 17. 青森三内丸山遺跡 2002 秋 点描 | 2002. 9. | kaze17. pdf |
| 18. 上毛三山 紅葉の妙義山の森を歩く | 2002. 11. | kaze18. pdf |
| 19. 奥会津の名勝 塔のへつり | 2002. 11. | kaze19. pdf |
| 20. 奥会津 館岩村 奥会津曲家集落を訪ねる | 2002. 11. | kaze20. pdf |
| 21. 白雪をいただく富士山 足柄山山塊 金時山 | 2002. 12. | kaze21. pdf |

風来坊 Country Walk 【I】 山歩き 1999-2003. 2

- | | | |
|-----------------------------------|-----------|---------------|
| 1. 上越国境 利根川の源頭 谷川岳 | 1999. 8. | mnyama01. pdf |
| 2. 尾瀬の秋 紅葉の尾瀬ヶ原 上越側 鳩町峠から会津側御池小屋へ | 1999. 10. | mnyama02. pdf |
| 3. 夏の尾瀬 尾瀬沼・尾瀬ヶ原 | 2000. 7. | mnyama03. pdf |
| 4. 高山植物の宝庫 早池峰山 | 2000. 6. | mnyama04. pdf |
| 5. 津軽富士 岩木山 | 1999. 9. | mnyama05. pdf |
| 6. 春の霧島連峰 韓国岳 登山 | 2001. 5. | mnyama06. pdf |
| 7. 初夏 水芭蕉の尾瀬 探勝 | 2001. 6. | mnyama07. pdf |
| 8. 夏的那須連峰 茶臼岳-朝日岳-三本槍岳 縦走 | 2001. 7. | mnyama08. pdf |
| 9. 晩夏 吾妻連峰の主峰 一切経岳へ | 2001. 8. | mnyama09. pdf |
| 10. 北上盆地の背にそびえる栗駒山 | 2001. 9. | mnyama10. pdf |
| 11. くろがね 鉄山 紅葉の安達太良山 | 2001. 10. | mnyama11. pdf |
| 12. 以北の最高峰 日光白根山〔奥白根山〕 | 2001. 10. | mnyama12. pdf |

13. 冬の陣馬山 ハイイク 陣馬山-小仏峠	2002. 2. mnyama13. pdf
14. 福島県 裏磐梯 残雪の五色沼 アルバム	2002. 4. mnyama14. pdf
15. 残雪の草津白根と殺生河原からの展望	2002. 4. mnyama15. pdf
16. 出羽 花の月山 WALK 高山植物が咲き乱れる山上の縦走路	2002. 7. mnyama16. pdf
17. 八甲田連峰 WALK 八甲田連峰縦走と草紅葉の毛無岱	2002. 9. mnyama17. pdf
18. 上毛三山 紅葉の妙義山の森を歩く	2002. 11. mnyama18. pdf
19. 白雪をいただく富士山 足柄 金時山ハイイク	2002. 12. mnyama19. pdf

風来坊 Country Walk 【2】 山歩き・里歩き 2003

1. 温かい冬の週末 柏ひだまり Walk	2003. 1. mnwalk01. pdf
2. 東京・千葉界限 桜散策 Walk 千鳥ヶ淵・谷中から上野・千葉佐倉	2003. 4. mnwalk02. pdf
3. 鎌掛(かいがけ)石楠花谷 Walk 天然記念物ホンシャクナゲの群落 滋賀県日野町	2003. 4. mnwalk03. pdf
4. 五月の連休 山口【1】秋吉台カルスト	2003. 5. mnwalk04. pdf
5. 五月の連休 山口【2】由宇温泉へ白壁の街「柳井」・本四のモデル大島 大橋を渡って	2003. 5. mnwalk05. pdf
6. 福島県 土湯峠湿原 「赤湯」温泉を訪ねて	2003. 5. mnwalk06. pdf
7. パオバブの木の下で 国立民族学博物館 特別展「西アフリカ おはなし村」open	2003. 7. mnwalk07. pdf
8. 「マリ国立民族舞踊団による音楽とおどり」 パオバブの木の下でみんな踊って	2003. 8. mnwalk08. pdf
9. 鉄のモニュメント 大阪万博 お祭り広場 大屋根 万博記念公園 点描	2003. 8. mnwalk09. pdf
10. 「久しぶりのアメリカ」で 風来坊	2003. 9. mnwalk10. pdf
11. 萩焼 田中講平先生の萩焼工房「陶房葉月」を山口市吉敷に訪ねて	2003. 10. mnwalk11. pdf
12. 鉄のモニュメント 北海道開拓百年記念塔	2003. 10. mnwalk12. pdf

風来坊 Country Walk 【3】 山歩き・里歩き 2004.

■ Country Walk III 里歩き 2004

1. 信州茅野 八ヶ岳山麓に縄文のビーナスを訪ねて	2003. 12. 2walk01. pdf
2. 網走 流水探訪 アルバム	2004. 3. 2walk02. pdf
3. 春風にそよぐ「かたくりの花」 兵庫県三日月町弦谷 自生地で	2004. 3. 2walk03. pdf
4. エンジョイ イタリア 古い都・街並みを訪ねて エンジョイイタリア イタリア旅行記(詳細版)	2004. 5. 2walk04. pdf
5. 信州 戸隠山の自然の中で 森林浴	2004. 6. 2walk05. pdf
6. 花の北海道 【1】礼文・富良野 美瑛・天塩 アルバム	2004. 8. 2walk06. pdf
7. 花の北海道 【2】2004 夏 花の北海道 Walk [礼文島・美瑛の丘・天塩/宗谷]	2004. 8. 2walk07. pdf
8. 2004 秋点描 関西で	2004. 10. 2walk08. pdf
9. 九州 縄文・古代を訪ねる旅 a. 熊本県 菊池川流域の装飾古墳群 b. 鹿児島県 上野原縄文遺跡 c. 宮崎県 記紀神話の西都原古墳群	2004. 10. 2walk09. pdf
10. 六甲の東端 こどもの頃から慣れ親しんだ甲山 Walk	2004. 12. 2walk10. pdf
11. 神戸便り Country Walk 11&12月	2004. 12. 2walk11. pdf

■ Country Walk III 山歩き 2004

1. 北摂の山 武田尾 大峰山へ 桜とツツジを訪ねて	2004. 4. 2walky01. pdf
2. 吉野山 初秋 ハイキング	2004. 10. 2walky02. pdf

風来坊 Country Walk 【4】 山歩き・里歩き 2005.

■ Country Walk IV 里歩き 2005

1. 北近江 安曇川・マキノ 雪の山郷 country Walk 2005. 1. 4walk01. pdf
2. 須磨便り「早春の須磨 梅見ハイク」 2005. 2. 4walk02. pdf
3. 北攝のポンポン山 福寿草ハイク 2005. 3. 4walk03. pdf
4. 桜アルバム「室生古道に満開の桜の古木を訪ねて」 2005. 4. 4walk04. pdf
5. 早春と冬が入り混じる「北の大地」を風来坊
釧路湿原と鶴・駒ヶ岳山麓・北の縄文・釧網線 2005. 4. 4walk05. pdf
6. 糸魚川・青海に縄文のヒスイ原石の谷を訪ねる 2005. 5. 4walk06. pdf
7. 広島県吉和 緑の高原のウッドワン美術館 2005. 6. 4walk07. pdf
8. 但馬 天日槍の国の歴史とコウノトリを訪ねて 2005. 6. 4walk08. pdf
9. 越中八尾「風の盆」を訪ねて 写真アルバム 2005. 9. 4walk09. pdf
10. 四国北岸を東西に貫く大断層「中央構造線」Walk
大断層帯にそびえる赤石山系と銅山の山郷 別子山村 2005. 11. 4walk10. pdf
11. 晩秋から初冬に移り行く函館散策 写真アルバム
夜景と美しい教会群 函館の街 Walk 2005. 11. 4walk11. pdf
12. 写真アルバム 瀬戸内海誕生の歴史を語る黄島
岡山県牛窓海岸 黄島・黒島 2005. 11. 4walk12. pdf

■ Country Walk IV 山歩き 2005

1. 山岳宗教の歴史を秘めた九州の霊峰「英彦山」 2005. 6. 4walky01. pdf
2. 写真アルバム 若狭・北近江国境の赤坂山・三国山 Walk 2005. 8. 4walky01. pdf
3. 写真アルバム 薩摩富士 開聞岳 2005. 10. 4walky01. pdf

風来坊 Country Walk 【5】 山歩き・里歩き 2006.

■ Country Walk 里歩き 2006.

1. 2006年春 花の淡路島を訪ねて 2006. 4. 5walk01. pdf
春の花 菜の花・チューリップ・三色スミレ
2. 「ひとつたりとも おろそかにできない命」 不戦の道を探って 2006. 8. 5walk02. pdf
広島平 和の祈り・平和行進 2006に参加
3. 2006年夏 瀬戸内海遠望 山や海峡から瀬戸内海はどこまでみとおせるのか・・・ 2006. 8. 5walk03. pdf
4. 写真アルバム 水田耕作・鉄・倭国 弥生の時代を作った渡来人たち 2006. 10 5walk04. pdf
北部九州 魏志倭人伝の世界 杵岐・筑前・筑後の遺跡を訪ねて
5. 甲州・信州国境 八ヶ岳山麓に縄文遺跡を訪ねて 2006. 10. 5walk05. pdf
「縄文人は山を見晴らす素晴らしい高原に住んでいた」
 1. 縄文の集落がそっくり 見つかった茅ヶ岳山麓 北杜市梅ノ木縄文集落遺跡
 2. 初秋 白樺が美しい紅葉し始めた 八ヶ岳清里の朝 清泉寮に泊まって
 3. 縄文の黒曜石原産地遺跡 長和市星屑峠に縄文の黒曜石鉾山を訪ねる
黒曜石を日本各地に配っていた信州 霧ヶ峰・中山峠

■ 風来坊 Country Walk 山歩き 2006

1. 蝦夷の雄「アテルイ」の足跡京都東山 陽だまりハイク 2006. 2. 9. 5walky01. pdf
「清水寺・將軍塚」と 永観堂「みかえり阿弥陀仏」を訪ねて
2. 北摂連山の「キリシタンの里 千提寺」Country Walkと「マリア十五原義図」展 2006. 2. 5walky02. pdf
3. 芦屋市弥生の高地性集落「会下山遺跡」からロックガーデンへ ハイキング 2006. 7. 5walky03. pdf

風来坊 Country Walk 【6】 山歩き・里歩き 2007.

■ Country Walk 里歩き 2007.

1. 神戸の春 2007 写真アルバム 須磨山上満開の梅と明石林崎漁港のいかなご漁 2007. 3. 1. 6walk01. pdf
2. 写真アルバム 2007 年春 櫻の便り 2007. 4. 15. 6walk02. pdf
 - 山梨県北杜市 の樹齢 2000 年 神代桜と清里から見る春の南アルプス・ハヶ岳
 - 山口県美祢 市街を流れる厚狭川の桜 美祢の Y さんからメールで送っていただきました
 - 木津川上流 笠置の桜と沈下橋
3. 写真アルバム 「2007 年 5 月 新緑の野山で」 2007. 6. 1. 6walk03. pdf
 - 滋賀県日野町鎌掛 石楠花谷
 - 新緑の里山 大和川 亀の瀬・龍田山
 - 大阪府二上山周辺で
 - 神戸 北野の市街地 旧水源地のツツジ
 - 葛城山の南斜面 深紅の花を敷きつめる山ツツジ
 - 新潟県 弥彦山から見る越後平野
4. 鳴門 大塚美術館に西洋美術 2000 年の陶板画を訪ねる 2007. 7. 16. 6walk04. pdf
 - パチカン システィーナ礼拝堂の天井画 完全復元 祝別式に参加
5. 信州の縄文を訪ねる旅 2007. 9. 5. & 9. 6. 6walk05. pdf
 1. 不思議な人体文縄文土器が出土した伊那谷の北部 南箕輪村 久保上ノ平遺跡
 2. 縄文中期研究の先駆けとなった縄文集落 平出縄文集落遺跡
 3. 信州 長和町 黒曜石原産地遺跡 縄文の黒曜石鉱山「星糞峠」
6. 鉄のモニュメント 2007. 9. 10. 6walk06. pdf
 - 長良川にかかる現存最古の近代吊橋 「美濃橋」(重要文化財) 岐阜県美濃市
7. 2007 年 秋 点描 10 月 11 月. 6walk07. pdf
 - 初秋の西播磨の山郷 一面ススキが覆いつくす 砥峰高原 2007. 10. 4.
 - 奥出雲雲南市掛合町へ 松江道の工事現場から 次々と製鉄遺跡が出土 2007. 10. 13.
 - 久しぶりに夜の船で四国 松山へ 2007. 10. 26. -28.
 - 山口県美祢市の夜明けの朝霧 2007. 11. 9.
 - 神戸でも 今 紅葉の真っ最中 2007. 11. 26.

■ 風来坊 Country Walk 山歩き 2007

1. 日本三 彦山の一つ 越後 弥彦山 Walk 6walky01. pdf
 - 古代鉄の国「越」 弥彦山に鍛冶神の痕跡を探して 2007. 5. 16.
2. 紀ノ川のランドマーク 紀州富士「龍門山」に磁石を訪ねて Walk 007. 7. 24. 6walky02. pdf

風来坊 Country Walk 【VII】 山歩き・里歩き 2008.

■ Country Walk 里歩き 2008.

1. 南ドイツ クリスマス ツア 見て歩き 2008. 12. 4. -12. 10. 7walk01. pdf
 - ドイツ 中世の町並みと 2007 年クリスマス市を楽しみました (pdf file)
2. 神戸陽だまりハイク【写真アルバム】神戸のランドマーク「錨山」・「市章山」に登る 2008. 2. 14. 7walk02. pdf
3. 【写真アルバム】春まじか 早春の南淡路 立川水仙郷と梅満開の由良・生石岬 2008. 2. 15. 7walk03. pdf
4. 東大寺のお水取り「おたいまつ」 2008 年 3 月 8 日夕 2008. 3. 8. 7walk04. pdf
 - 立ち寄りたかった故河島英吾さんゆかりの喫茶「TEN. TEN CAFE」にも立ち寄れました
5. 越前と美濃を結ぶ街道 越美北線／越美南線 越美北線の終点 九頭竜湖駅へ行く 2008. 3. 25. 7walk05. pdf
 - 九頭竜川に沿って福井県の名峰日本百名山 越前大野盆地の南にそびえる荒島岳

6. 2008 春 桜 アルバム 2008. 4. 5. -4. 13. 7walk06. pdf
1. 神戸の桜 東須磨 妙法寺川堤の桜 2008. 4. 5.
 2. 奈良県大宇陀「又兵衛桜」と室生寺・長谷寺の桜 Walk 2008. 4. 8.
 3. 岡山県真庭市「醍醐桜」 和鉄の道に咲いて 1000 年 2008. 4. 13.
 4. 北播磨 三日月町 佐用川沿いの桜 2008. 4. 13.
 5. 山口県美祢 N.Y. さんからの桜便り 2008. 4. 7.
 - 美祢桜山の桜に遊ぶ めじろ と 岩国錦帯橋の桜
 6. 山梨県甲府の N さんからの桜便り 素晴らしいと桜並木の富士山 2008. 4. 13.
7. 新緑の里山をぬけて 日本 6 古窯の一つ 陶芸の郷 立杭へ 2008. 4. 16. 7walk07. pdf
- 【写真アルバム】2008 新緑の里山をぬけて 陶芸の郷 立杭へ
8. Country Walk 巨大草食恐竜「丹波竜」を訪ねる 丹波市山南町上滝 2008. 5. 15. 7walk08. pdf
9. 初夏の花 満開のスイスアルプス ハイキング アルバム 2008. 6. 29. - 7. 8. 7walk09. pdf
1. 雪が消えて アルプスの山々には 初夏の花が満開
 2. 「エーデルワイスの花ほほ笑みて 鋭き岩肌 金色に照り
 3. スイス アルプスは 『鉄のモニュメント』 『鉄の郷』
10. 夏の朝の清涼をたっぷり 「京朝顔」 京都府立植物園の「朝顔展」 2008. 8. 4. 7walk10. pdf
11. 【写真アルバム】秋の風物詩 黄金色の畦を飾る 赤・黄・白三色の彼岸花 2008. 9. 22. 7walk11. pdf
- 彼岸花の郷 播磨 多可町 間子集落 (PDF File)
12. 「今 GPS Logger が面白い」 GPS Logger を腰に須磨 Walk 2008. 10. 10. 7walk12. pdf
13. 【写真アルバム】愛宕山 (924m) 紅葉 Walk 2008. 11. 15. 7walk13. pdf
- 京都市最高峰 火伏せの神 愛宕神社が鎮座する霊山
- 番外 青森・八戸 縄文の郷 「是川」 縄文文化を代表する是川遺跡・風張遺跡を訪ねる 2008. 10. 30. 8iron13. pdf
- 縄文漆の素晴らしい文化を咲かせた縄文晩期の是川中居遺跡
 - 墓域のある広場を環状に取り囲む住居群 縄文後期の環状集落 風張遺跡

風来坊 Country Walk 【8】 山歩き・里歩き 2009.

■ Country Walk 里歩き 2009.

1. 2月陽だまりハイク 工都 尼崎 を支える「尼崎港閘門 (尼ロック)」Walk 2009. 2. 4. 9walk01. pdf
 1. 工都尼崎 を支える「尼崎港閘門 (尼ロック)」Walk
 2. 尼崎港閘門・尼ロック 解説 (インターネットより)
2. 謎の古代石造物・石の宝殿 と竜山石を訪ねて 2009. 2. 27. 9walk02. pdf

古代からの石切りの郷 高砂市「生石 (おおしこ)」Walk
3. 【写真アルバム】 東近江 陽だまり walk 2009. 3. 15. 9walk03. pdf

縄文のウッドサークル 能登川正楽寺遺跡と近江八幡 左義長祭りを訪ねる
4. 【写真アルバム】 西播磨佐用 たたらに里に咲く「カタクリと一本桜」を訪ねる 2009. 3. 31. 9walk04. pdf

兵庫県佐用町 [旧三日月町 弦谷 & 旧南光町徳久・漆畑]
5. 【写真アルバム】 ほのぼの鉄道 福井 えちぜん鉄道と雪を戴く白山連峰 2009. 4. 3. 9walk05. pdf

参考 弥生後期から古墳時代にかけて 福井平野は鉄の先進地
6. 【写真アルバム】 樹齢 1500 余年 岐阜県揖斐川 根尾谷に咲く「淡墨桜」 2009. 4. 8 9walk06. pdf
7. 【写真アルバム】 関西のツツジの名所 三室戸寺を訪ねる 2009. 5. 5 9walk07. pdf
8. 【写真アルバム】 摂津／播磨国境の証し? 白川峠夫婦岩 裏山の白川峠に磐座を訪ねる 2009. 5. 20. 9walk08. pdf

古代 西国からの出入口 須磨 摂津・播磨の国境は山越か? その証しかも ??
9. 【スライド】 六甲高山植物園 「初夏 6 月 高山植物 花 Walk 」 2009. 6. 8 9walk09. pdf
10. 【写真アルバム】 「ひまわりの夏 2009 」 2009. 7. 31. 9walk10. pdf

たたらに里 西播磨佐用町西下野に咲くひまわり

11. **【写真アルバム】** 江戸時代にタイムスリップした宗教都市の町並み「寺内町 富田林」 2009. 8. 15. 9walk11. pdf
12. **【スライド】** 伏条台杉〔芦生杉〕の群生地 京北町 片波川源流 2009. 9. 14 9walk12. pdf
京都北山 桂川・由良川の源流地帯に屋久杉クラスの巨木の群生地がある
13. 初秋の青森・秋田風来坊 **【1】** 2009. 9. 4-7 9walk13. pdf
青森 初秋の風物詩 岩木高原「嶽キミ」Walk と三内丸山遺跡「縄文のお月見」
1. 青森初秋の風物詩岩木高原「嶽キミ」Walk 2009. 9. 4. & 9. 5. 朝
2. 三内丸山縄文遺跡「縄文のお月見」 2009. 9. 5.
14. 初秋の青森・秋田風来坊 **【2】** 2009. 9. 6-7 9walk14. pdf
秋田県中央 マタギの里「森吉山」Walk と 縄文の環状列石 鷹巣・伊勢堂岱遺跡再訪
1. マタギの里 阿仁 リンドウの花満開の森吉山ハイク 2009. 9. 6
2. 鷹巣 縄文の環状列石群 伊勢堂岱遺跡 再訪 2009. 9. 7
15. **【写真アルバム】** 2009 年秋点描 コスモスから紅葉へ 2009. 10. 9walk15. pdf
16. **【スライド】** 2009 年秋 京都 紅葉ライトアップ 紅葉 Walk 2009. 11. 15. 9walk16. pdf

風来坊 Country Walk **【9】** 里歩き・山歩き 2010

1. 西播磨 歴史の町に春を訪ねる 西播磨綾部山梅林と江戸の町並みが残る坂越港 10walk01. pdf
● 菜の花と梅満開の綾部山観梅 walk
● 綾部山 39 号墳を訪ねる 「大和・阿波・讃岐・播磨」の連合を示す播磨の重要な古墳
● 古代秦氏の播磨進出地 港町「坂越」walk
赤穂市坂越西播磨名産「牡蠣」& 古い港の町並みが残る坂越
● 西播磨 歴史の町に春を訪ねる まとめ
2. **【写真アルバム】** 京都御所と植物園に満開の桜を訪ねる 10walk02. pdf
● 京都御所の桜
● 植物園の桜
● 久しぶりに見た重文近代建築 京都府庁&レンガのアグネス教会
3. **【写真アルバム】** 春の妖精 カタクリの花 兵庫県播磨 佐用町 2010.4.8. 10walk03. pdf
4. **【写真アルバム】** 草木萌ゆ 春の里山風景 神戸北 丹生山系を越える国道 428 号 2010.4.19. 10walk04. pdf
5. 春 石楠花と新緑の綿向山山麓 滋賀県東近江 日野町 walk 2010.5.2. 10walk05. pdf
1. 天然記念物 鎌掛谷のホンシャクナゲ 満開の群生地を訪ねる
2. 鎌掛峠を越えて綿向山へ 綿向山山麓 Walk
3. 馬見岡綿向神社 日野祭(宵山)
参考 **【Country Walk】** 鎌掛 石楠花谷 Walk 滋賀県日野町 2003.4.
6. **【スライド】** 2010 京都 葵祭 2010.5.15. 10walk06. pdf
1. 葵祭の名の由来となった植物「ふたば葵」
2. 葵 祭 walk 御所から下鴨神社へ向かう本列(男列)と斎王代に従う斎王代列(女列)
7. **【スライド】** 春から初夏へ 花 Walk 六甲高山植物園 2010.6.1. 10walk07. pdf
幻のヒマラヤの青いケシ・高山植物の女王「コマクサ」
8. 平城遷都 1300 年祭で賑わう奈良 Walk 大遣唐使展・若草山・平城宮大極殿 2010.6.11. 10walk08. pdf
1. 平安遷都 1300 年記念大遣唐使展
2. 大和平野の素晴らしい展望台 若草山 walk
3. 平城遷都 1300 年祭 平城宮跡 復元朱雀門と大極殿
9. **【写真アルバム】** ひまわりの夏 西播磨佐用 旧南光町林崎・漆野のひまわり畑で 2010.7.20. 10walk09. pdf
10. 京都堀川 京の七夕 2010. 8.3. 10walk10. pdf
11. **【写真アルバム】** 涼を求めて 布引の滝・ハーブ園から摩耶山掬星台へ 2010.8.6. 10walk11. pdf

12. 【写真アルバム】 花で追う2010年の秋 小さい秋 みつけた 10walk12. pdf
1. 山田錦の郷 三木市吉川 灘の酒蔵の旗がはためく実りの秋 2010.9.6.
 2. 新しい兵庫の蕎麦の郷 加古川市志方町野尻・小野市小野町 2010.10.1.
 3. 稲穂が揺れる田圃の畔に彼岸花 加古川市志方町で 2010.10.1.
 4. コスモスの里 加古川市志方町広尾西・東中コスモス畑 2010.10.13.
 5. 一足早い溪谷の紅葉 信州蓼科中央高原「横谷溪谷」 2010.10.17.

13. 【写真アルバム】 縄文を代表する国宝「火焰土器」 新潟県十日町市 笹山遺跡を訪ねる 2010.11.17. 10walk13. pdf

風来坊 Country Walk 【10】 里歩き・山歩き 2011

1. 早春の須磨アルプス 馬の背を久しぶりに歩きました 2011.2.23. 11walk01. pdf
横尾から馬の背への谷筋 旧道直登ルートを見つけました
2. 2011.春 西神戸で春を探す 春を告げるカタクリ・雪割草・寒葵・土筆 2011.3.28. 11walk02. pdf
みんながみんな「東北頑張れ」「日本頑張れ」と
3. 春の訪れを告げるカタクリの花古代鉄関連地の山蔭に咲く花を今年も訪ねました 11walk03. pdf
 1. 西播磨 佐用町 弦谷のカタクリ 2011.4.5.
 2. 西神戸 神出 雌岡山のカタクリ 2011.4.11.
- 4 春の六甲高山植物園新緑の森をめぐりながら花の説明に耳を傾ける 2011.4.29. 11walk04. pdf
5. 春から初夏へ 里山の花を訪ねる Walk 2011.5.8. - 5.26. 11walk05. pdf
 1. 六甲森林植物園 石楠花 新緑の六甲森林植物園の石楠花谷 2011.5.8.
 2. 丹波・兵庫氷上盆地 田植えが始まった郷・レンゲ畑・九尺の藤 2011.5.14.
 3. 梅雨の晴れ間 山口県美祢カルスト台地 2011.5.24.-5.26.
美祢の山郷・水が張られた棚田・麦秋・バラの花
- 6 ひまわりの夏 2011 西播磨佐用 南光町林崎のひまわり 2011.7.23. 11walk06. pdf
- 7 京都に夏を告げる祇園祭 2011 2011.7.16. & 7.17 11walk07. pdf
 1. 祇園祭宵山 提灯に灯がとまり祇園囃子が響く鉾町 walk
 2. 山鉾巡行 巡行のハイライト 鉾の辻回し
- 8 神戸の夏を歩く 2011 これからが夏本番 11walk08. pdf
 1. 六甲高山植物園 夏の高山植物 2011.6.15. 2. 布引の滝 2011.7.6.
 3. 高校野球 地区大会を観戦 2011.7.12.& 7.15. 4. 梅雨が明けた入道雲 須磨で 2011.7.14.
- 9 2011 年夏 佐川美術館「セガンティーニ」展と湖面に広がる蓮の花 2011.8.11 11walk09. pdf
琵琶湖 守山佐川美術館 & 草津水生植物公園 蓮の群生地
 1. アルプスの画家 セガンティーニ展 佐川美術館
- 光と山 - GiovanniSegantini-Light and Mountains-
 2. 佐川美術館 彫刻の佐藤忠良館 陶芸の楽吉左衛門館 日本画平山郁夫館
 3. 湖面に広がる満開の蓮の花 (草津水生植物公園 蓮群生地)
 参考 2008 年の夏 スイスの旅より
セガンティーニが住んだサンモリッツ周辺 & ツェルマツト周辺の山郷の風景
- 10 真っ青な空にもくもくと入道雲 神戸の夏 2011 2011.8.8. 11walk10. pdf
西神戸 鶴越の奥にそびえる菊水山からの大阪湾の眺望
11. 播磨多可町に秋を訪ねる 彼岸花の里&播磨の最高峰千ヶ峰登山 2011.9.27. 11walk11. pdf
 1. 彼岸花の里 多可町 2. 三谷登山口より千ヶ峰に登る
12. 東播磨 加古川西岸の丘陵地 加古川市志方に秋を訪ねる【2】
播磨の小さい秋 コスモスの郷 加古川市志方町で 2011.10.17. 11walk12. pdf
13. 2011 年秋 紅葉 walk 紅葉の名所 京都西山 長岡京市 粟生の光明寺

風来坊 Country Walk【11】 里歩き・山歩き 2012

1. 久しぶり 仲間が誘ってくれた 神戸 ジャズ ライブ 2012.2.5. 12walk01. pdf
2. 知っているようで知らなかった京都東山界隈のお寺 walk 2012.2.21. & 2.22. 12walk02. pdf
東寺の「弘法さん」・知恩院さん・祇園建仁寺の「竜」・清水寺
3. 2012 年 春の便り From Kobe & 各地の仲間からの春便り 2012.3.25. 12walk03. pdf
 1. 神戸の春便り
 - 1.神戸の春 満開の梅・海・菜の花の丘 2.神戸の自宅周辺も春の景色がどんどん変化しています
 2. 各地の仲間からいただいた春便り
 - 1.西宮 H.S.さんからの便り 2.秦野 T.S.さんからの便り 3.横浜 M.K.さんから三溪園の梅便り
 - 4.神戸 H.O.さんより 5.マーレシアベナン T.S.さんからの便り
4. 神戸桜 Walk 2012 「奥平野の舞桜」 神戸にも素晴らしい一本桜がありました 2012.4.10 12walk04. pdf
神戸の基礎を築いた平清盛の都「福原京」を見下ろす一本桜「奥平野浄水場の舞桜」
5. 神戸の春を楽しむ 原チャリWalk 神戸丹生山 箕谷/淡河線 & 雌岡山 2012.4.2 12walk05. pdf
 - 1.新緑の中ミツバツツジが美しい神戸丹生山越 箕谷/淡河線 2.カタクリの咲く雌岡山にギフチョウが舞う
6. 京都 桜 Walk 2012 醍醐・宇治平等院・高野川堤・植物園夜 2012.4.12 12walk06. pdf
7. 京都 洛北 春Walk 上賀茂 深泥池 から 岩倉 円通寺へ 2012.4.13. 12walk07. pdf
静寂な円通寺の庭園へ行きたくって 深泥池から円通寺へ歩きました
8. 六甲 石楠花谷(森林植物園)の日本シャクナゲ 2012.5.8. 12walk08. pdf
9. 知っているようで知らなかった京都 伏見の街を歩く 2012.5.15. 12walk09. pdf
10. 久しぶりに九州へ 素晴らしいバラの街「ハウステンボス」を訪ねました 2012.5.27. 12walk10. pdf
バラの街 ハウステンボス・西の要の軍港 佐世保・陶磁器の町 有田
11. 千種川流域に咲くひまわり畑と製鉄神「天目一箇神」を祭る「天一神社」を訪ねる 2012.7.18. 12walk11. pdf
ひまわりの夏 2012 古代たたら郷 佐用 西播磨佐用町(旧南光町)林崎
 1. 「ひまわりの夏 2012」千種川沿いの河岸段丘一面を黄色に 佐用町林崎のひまわり畑
 2. ひまわり畑のすぐ近く東徳久間村の里山 製鉄神「天目一箇神」を祭る「天一神社」を訪ねる
12. 須磨 塩屋海岸の洋館 Walk - 梅雨の晴れ間 高倉山-旗振山から塩屋へ下る - 2012.7.9. 12walk12. pdf
13. 丹波焼の郷「立杭」山野草愛好家では有名な「伝市窯」Walk 2012.7.10. 12walk13. pdf
14. 祇園祭 2012 宵山 & 巡行の朝 銚町を歩く 2012.5.27. 12walk14. pdf
 - 1.2012 祇園祭 宵山銚町 walk 2.2012 祇園祭 巡行の朝 銚町を歩く
15. 『尼の喧嘩祭』として有名な尼崎貴布禰神社夏祭り〔宵宮〕 だんじりと暴れ太鼓の宮入 2012.8.1. 12walk15. pdf
16. わが家の2012年夏 朝顔帳 12walk16. pdf
17. 涼を求めて 布引谷へ 滝道を歩く 2012.8.15. 12walk17. pdf
18. 豊かな稔りを迎えた 初秋の西神戸田園 Walk 2012.9.7. 12walk18. pdf
残暑と初秋の爽やかな風が交錯する 9月上旬 美しい空に惹かれ、秋を見つけに西神戸の田園 Walk
19. 「彼岸花の里 播磨多可町」今年も千ヶ峰・妙見山の麓に彼岸花を訪ねました 2012.9.27. 12walk19. pdf
 - 1.小野市天神 国道 175 号線脇の田園の畦を飾る彼岸花 2.多可町中區間子 妙見山の麓 彼岸花の里
 - 3.多可町加美 岩座神集落 千ヶ峰の山懐 棚田を飾る彼岸花 4.多可町加美 杉原川沿い田園の彼岸花
20. 京都北山ドライブ 花脊峠・佐々里峠を越えて 由良川源流へ 2012.9.17. 12walk20. pdf
北山の森・大悲山 峰定寺・美山「かやぶきの里」を訪ねる
21. 播磨のコスモスの里 加古川市志方 2012.10.12. 12walk21. pdf
22. 旧別子銅山跡の産業遺産が眠る別子山 2012.10.27. 12walk22. pdf
紅葉に彩られた念願の「別子山銅の道・銅山越」Walk
23. 私の阿蘇谷「阿蘇黄土」を訪ねる 古代の製鉄原料??? 2012.11.1.& 11.2. 12walk23. pdf
阿蘇谷にベンガラ原料「阿蘇黄土」を訪ねました また、日本一美しいダム 豊後竹田白水ダムへも
ベンガラ原料の「阿蘇黄土・濁鉄鉱」これが日本での製鉄の開始と関係していないか???

1. 【写真アルバム】琵琶湖 野洲川河口 守山市なぎさ公園の菜の花畑に一足早い春を訪ねる 13walk01. pdf
 なぎさ公園から眺める早春の琵琶湖・近江富士（三上山）・御上神社
 2012. 11. 21. & 2013. 2. 11. 滋賀県守山市 & 野洲市
2. 屋久島縄文杉ハイクのためのトレーニングハイク 13walk02. pdf
 -早春の比叡山きらら坂・六甲周辺を歩く-
 1. 京都雲母坂を比叡四明ヶ岳へ 2013. 2. 23. 2. 布引谷から天狗道を摩耶山へ 2013. 3. 2.
 3. 菊水山から鍋蓋山 天王谷大吊橋 2013. 3. 5. 4. 雌岡山・雄岡山早春の梅林ハイク 2013. 3. 16.
 5. 三宮から油こぶし道を六甲山へ 2013. 3. 17. 6. 武田尾/宝塚 武庫川渓谷廃線歩き 2013. 3. 23.
3. WV 仲間との屋久島合宿 プライベート記録「私の屋久島」 2013. 4. 13. -4. 16 13walk03. pdf
4. 屋久島縄文杉トレーニングハイク〔最終回〕
 新緑の京都銀閣寺から大文字山越して大津・三井寺へ 2013. 4. 26. 13walk04. pdf
5. 重要伝統的建造物群保存地区榎原市今井 寺内町「今井」町並 Walk 2013. 5. 25. 13walk05. pdf
6. 須磨離宮庭園のバラ 新緑の風に乗ってほのかに漂うバラの香り 2013. 5. 28. 13walk06. pdf
7. 初夏の尾瀬ヶ原・尾瀬沼を歩く 初夏6月 尾瀬の草花 2013. 6. 16. & 6. 17. 13walk07. pdf
8. ひまわりの夏 小野市ひまわりの丘公園&西播磨佐用林崎ひまわり畑 2013. 7. 16. & 7. 19. 13walk08. pdf
 今年も一面を埋め尽す元気なひまわりの群れに出会えました
9. 2013 年夏 朝顔帳 From Kobe by Kikuko Nakanishi 2013. 8. 10. 13walk09. pdf
10. 旧尼崎城下「築地だんじり祭 Walk」 2013. 9. 16. 13walk10. pdf
 1. 旧城下町築地と 尼崎とだんじり祭 outline 2. 尼崎&旧尼崎城下地図
 3. PDF 版 「築地だんじり祭 WALK だんりがぶつかり合う「山あわせ」
11. ナッシュビル Bluegrass Music ライブ 2013. 10. 2. 13walk11. pdf
 大阪なんば ライブハウス「アナザードーム」にて
12. 西神戸・東播磨の田園に深まり行く秋を訪ねる 2013. 10. 13walk12. pdf
 1. 加古川東岸の山裾に広がる志方のコスモス畑 . 志方町高畑・広尾・野尻のコスモス畑
 2. 実りの秋の収穫 播州の秋のすばらしい景色 加古川西岸 志方町 & 上荘町で
 3. 小野市鴨池の秋 小野市鴨池
 4. 西神戸神出の田園地帯の夕暮れ 日没 神戸市西区神出
 5. グリーンスタジアム神戸 夏の終わりをつげる花火ナイト 神戸市西区総合運動公園
13. 松山・宇和島から四万十グリーンライン・高知へ 13walk13. pdf
 南四国の秋 一度やってみたかった 四国の列車を楽しむ 鉄ちゃんの旅
 1. 松山伊予鉄 美しいイルミネーション付路面電車 伊予電鉄 松山市街線
 2. 松山→宇和島 アンパンマン列車 特急 宇和海 JR 予讃線
 3. 宇和島→窪川 《シマントグリーンライン》 海洋堂ホビートレイン JR 予土線・ 土佐くろしお鉄道線
 清流 四万十川の秋景色・四万十川に架かる沈下橋・ 日本一暑い所 41℃を記録した四万十の里 江川崎
 4. 窪川→高知 特急 あしずり JR 土讃線
 5. 高知土佐電鉄 はりまや橋 路面電車ダイヤモンドクロス 土佐電鉄高知市街線

1. 京都水族館 孫と好奇心一杯で 2014.1.4. 14walk01.pdf
 「金子みすず「大漁」のシーンそのままに群れ動くイワシの大群」に感激
 ● 大水槽を乱舞する鰯の群れ 金子みすず「大漁」のシーンを思い出していました
 ● 化石でしか知らなかった生きて化石「オウムガイ」が悠然と泳ぐ姿
 ● 「空飛ぶケーブペンギン」「くらげ」「ゴマフアザラシ」「いるかショウ」等々
2. 冬の神戸を楽しむ 2014年1月 冬晴れの神戸 walk 2014.1月 14walk02.pdf
 1. 雪が降った寒い朝サクサクと凍った雪を踏みしめて散策 久しぶりの雪を楽しむ 2014.1.19.早朝
 2. 澄み切った空 冬晴れを楽しむ《1》
 街に出たくなって 布引谷を歩いた後 神戸街中にある「二宮温泉」へ
 神戸ウォーターとして有名な布引の水 その下 地下 1000m から汲み上げた天然温泉 2014.1.16.
 3. 阪神淡路大震災から 19年 神戸の記憶 2014.1.17.
 4. 冬晴れを楽しむ《2》 名産「須磨海苔」の主要養殖地 須磨塩屋漁港を訪ねる 2014.1.16.
 5. 冬晴れを楽しむ《3》 冬の楽しみ ラグビー観戦 2014.1.11.&1.19.
 6. 冬晴れの夕暮れ その美しさに電車の窓からパチリ 2014.1.11.夕
3. 西播磨佐用 古代たたら郷に春を告げる「カタクリの花」 2014.3.28. 14walk03.pdf
 西播磨佐用のカタクリ群生地 旧南光町東徳久殿崎 & 旧三日月町弦谷
4. 2014 京都 好奇心いっぱい桜 Walk 2014. 4.7. & 4.8. 14walk04.pdf
 <1.西京極> → <2.天神川桜堤> → <3.御室・嵐電沿線 桜のトンネル> → <4.平野神社> → <5.高野川桜堤>
5. 西神戸の里山 丹生山田の郷の 2014 春景色 2014. 4.23. 14walk05.pdf
6. 「シャクナゲ 2014」 六甲森林植物園 石楠花谷探訪 2014. 5.1. 14walk06.pdf
7. Jazz の街 神戸 2014 Jazz Street 【1】
 15回 新開地ジャズ ボーカルクイーン コンテスト 2014. 5.10. 14walk07.pdf
8. Jazz の街 神戸 2014 Jazz Street 【2】
 Country Music Live 13回 Fortworth Jamboree 2014. 5.17. 14walk08.pdf
 ライブハウス「Fortworth」 Country グループ 10 数組出演 5 時間にわたるライブコンサート
9. 尼崎市立文化財収蔵庫 平成 26 年度第一回企画展 「秀吉 尼崎の危難展」 2014. 5.16. 14walk09.pdf
10. <抜粋版>震災後初めて三陸沿岸を東北三陸沿岸の Iron Road を訪ねる 2014.6.7-6.9. 14walk10.pdf
 1. 世界産業遺産登録 を目指す 日本近代製鉄発祥の地「釜石」 2014.6.7.
 2. 発掘中の古代の製鉄遺跡 山田町船越「焼山遺跡」を訪ねる 2014.6.8.
 3. 三陸鉄道に乗って20数年前訪れた龍泉洞そして 砂鉄浜普代浜を訪ねる 2014.6.7.&6.8.
 4. 車窓より眺める久慈・八戸周辺の砂鉄浜を 2014.6.9.
 5. 震災後3年 生活復興を進める三陸沿岸の街の今 Photo集
11. <詳細版>震災後初めて 東北 三陸沿岸の Iron Road を訪ねる 2014.6.7-6.9 【1】 14iwalk11.pdf.
 1. 世界産業遺産登録 を目指す近代製鉄発祥の洋式高炉建設地「釜石」 橋野・大橋を訪ねる. 2014.6.7.
 - 1.1. 釜石線 別名「銀河鉄道」に乗って遠野・釜石へ
 - 1.2. 日本最古の洋式高炉跡が残る橋野高炉跡へ遠野から笛吹峠越で北上山地を越える
 - 1.3. 日本最古の洋式高炉跡が残る橋野鉄鉱山(製鉄所)見学
 - 1.4. 北上山地分水界 仙人峠を釜石線の長いトンネルとΩ ループで越えて 「陸中大橋」を経て釜石へ
 - 1.5. 釜石 鉄の歴史館 再訪
 - 1.6. 土砂降りの中 路線バスで再度 日本初の洋式高炉の操業地 陸中大橋 旧釜石鉄鉱山(製鉄所)へ

【参考】近代製鉄発祥の地 釜石の橋野・大橋鉄鉱山の概略

12. <詳細版>震災後初めて 東北 三陸沿岸の Iron Road を訪ねる 2014.6.7-6.9 【2】 14iron08.pdf.
 2. 古代の製鉄遺跡 山田町船越「焼山遺跡」発掘現場を訪ねる 2014.6.8. .
 【参考】 概略資料 古代製鉄遺跡が 300 を越える山田町の古代遺跡について .
13. 2014 年祇園祭 後祭 山鉾巡行 150 年振りに「大船鉾」が都大路をゆく 2014.7.24. 14walk13.pdf
14. <詳細版>震災後初めて 東北 三陸沿岸の Iron Road を訪ねる 2014.6.7-6.9 【3】 14walk16.pdf.
 3. 三陸鉄道に乗って20数年前訪れた龍泉洞 & 普代・黒崎を訪ねる
 3.1. 三陸鉄道 宮古から龍泉洞の最寄り駅小本へ 震災・大津波の被災地の今を三陸鉄道の車窓から
 3.2. 20数年前訪れた岩泉町の龍泉洞 透明なブルーに出会いたくて
 3.3. 土砂降りの雨の中 北緯40度の地球村 普代・黒崎へ
 3.4. 普代から久慈へ 普代川の河口の砂鉄浜の今「普代浜 & 普代の街」 and 三陸鉄道の車窓
 3.5. 【資料】 南部鉄を支えた久慈の砂鉄と製鉄 & 旧たたら館
15. 京都府立植物園 半日会 2014 年京朝顔展 朝顔帳 2014.8.4 14walk14.pdf
16. 日本の恐竜化石の宝庫 福井県勝山市福井県立恐竜博物館 2014.8.14. 14walk15.pdf
 恐竜博物館の日本の代表といわれる巨大な恐竜博物館
17. 秋の西神戸 里の秋 ヒガンバナ・山田錦の郷を訪ねる 2014.9.18. 14walk17.pdf
 実りの田の畔を飾るヒガンバナ & 酒蔵の旗がはためく灘の酒米「山田錦」の郷
18. <詳細版>震災後初めて 東北 三陸沿岸の Iron Road を訪ねる 2014.6.7-6.9 【4】 14walk18.pdf
 4. 久慈から八戸へ 八戸線車窓から眺める砂鉄浜 洋野町有家海岸 & 砂鉄浜 八戸 種差海岸
 4.1. 砂鉄の宝庫 八戸・久慈周辺の砂鉄 概要 その周辺の沿岸には砂鉄が堆積する砂鉄浜続く
 4.2. 八戸線 車窓から眺める砂鉄浜 洋野町有家海岸
 4.3. 砂鉄浜 八戸 種差海岸を歩く
19. 2014 コスモス探訪 2014 年 10 月 14walk19.pdf
 神戸運動公園コスモスの丘・加古川市志方のコスモス畑・大阪鶴見緑地
20. 2014 紅葉探勝 <<1>> 14walk20.pdf
 六甲・有馬の紅葉探勝 ケーブル・ロープウェイを使って 六甲越で有馬へ
21. 2014 紅葉探勝 <<2>> 久しぶり 秋の布引谷散策 14walk21.pdf
22. 2014 紅葉探勝 <<3>> 14walk23.pdf
 2014 紅葉の秋景色 京都東山哲学の小道 & 神戸須磨 自宅界隈の紅葉
 1. 京都銀閣寺疎水 2014. 11. 12.
 2. 大阪淀屋橋で 2014. 11. 12.
 3. 私の住む神戸須磨 山麓バイパス界隈 2014. 11. 21.
23. ゆったりとした時間が流れる 芦屋川の河口 芦屋浜 2014. 11. 21. 14walk22.pdf



風来坊 Country Walk【14】 里歩き・山歩き・街歩き 2015

1. お勤めの博物館「竹中大工道具博物館」新神戸駅横 2015. 2. 13. 15walk01. pdf
大工道具の歴史を実物展示する大工道具博物館 素晴らしい和風展示館がオープン
2. 春の妖精 カタクリの花 2015. 3. 22. 15walk02. pdf
西播磨 佐用 旧三日月町 弦谷カタクリの群生地
3. 2015 神戸の春【1】 春蘭漫 2015 神戸花便り 3月末から4月上旬 15walk03. pdf
新生の息吹に満ちて 芽吹きを迎えた里山の春 花景色
 1. 西神戸 春の香りを漂わす 梅満開の雌岡山 西神戸 神出雌岡山
 2. 西播磨 春の妖精 カタクリの花 西播磨 佐用町 旧三日月弦谷
 3. 西神戸 芽吹きを迎えた里 土筆・タンポポ・桜 西神戸 高和 性海寺の里
 4. 修復された白鷺城 & きらきらの須磨の海 姫路城 & 垂水平磯海釣り公園
 5. 東神戸 魚崎運河 アーモンドの並木道 桜に先立ちピンクの花を枝いっぱい
 6. 神戸の桜 我が町の若草町の桜 須磨 若草山
 7. 京都洛北 芽吹の里 野山を彩る満開の桜・菜の花 京都 御所・高野川・大原街道
 8. 芽吹きの里山にピンクの三つ葉つつじ 須磨 若草山
4. 2015 神戸の春【2】 新緑の須磨アルプス 東山を楽しむ 2015. 4. 22. 15walk04. pdf
真っ青な空のもと 草木燃える新緑の中で 自然の空気を胸いっぱい吸い込んで・・・
5. 2015 神戸の春【3】 新緑の山を彩る純朴な大輪の花 シャクナゲ 2015 2015. 4. 27. 15walk05. pdf
六甲森林植物園 石楠花谷 2015. 4. 27.
6. 丹波市市島町 妙高山 氷上回廊の分水嶺直ぐ北に自生するクリンソウ 2015. 5. 19. 15walk06. pdf
7. 雨に先駆けて山麓の湿地に ひっそり咲くピンクの花 クリンソウ 2015. 5. 20. 15walk07. pdf
千種 天児屋たたら跡に咲くクリンソウを訪ねる
8. 梅雨の合間 須磨アルプス 岩稜 馬の背を歩く 2015. 6. 10. 15walk08. pdf
9. 霧雨に煙る京都北山・北摂の美林を巡る 京都北山周山街道から亀岡摂丹街道を北摂の能勢へ 15walk09. pdf
京都北山周山街道 北山杉の郷「中川」から亀岡・北摂の杉林を巡って神戸へ 2015. 6. 10. 15walk10. pdf
祇園祭のお囃子に 日本人の心の故郷「優しき縄文」が今も生きている
祇園町・祇園囃子は縄文の響き・リズム 日本人の故郷ではないか・・・と
11. ひまわりの夏 2015 西播磨 佐用町旧南光 千種川沿いのたたら郷のひまわり畑 2015. 7. 28 15walk11. pdf
今年も 黄色の帯が田園地帯一杯に広がり、元気に太陽に顔を向ける沢山の笑顔に出会えました
12. <Iron Road・和鉄の道で> 風の森峠から南郷へ 金剛山東山麓 葛城の道 walk 2015. 8. 23. 15walk12. pdf
13. 東播磨の田園に初秋を訪ねる <加古川鬮竜灘・彼岸花の里・山田錦の里> 2015. 9. 11. 15walk13. pdf
加古川中流の名勝 滝野 鬮竜灘 彼岸花の里 多可町 酒米「山田錦」の里 加東・三木吉川
14. 路面電車 阪堺電車に乗る イメージとは大違い びっくり!! 2015. 9. 14. 15walk14. pdf
低床の最新電車 二両連結の最新電車も
15. 京都北山の最北部 三国峠周辺山里の秋を巡る. 2015. 9. 20. 15walk15. pdf
旧鯖街道 根来・針畑越 & 芦生・美山への入口 朽木「生杉」から 美山茅葺集落へ
16. <志方のコスモスの里>
爽りの秋を迎えた播磨加古川市 志方の里にコスモスを訪ねる 2015. 10. 15. 15walk16. pdf
1. 広尾・広尾東 2. 高畑 3. 中国高速道路沿い野尻 4. 東飯坂
17. 晩秋の西神戸 ゆったりとした神戸の田舎 <榎谷> 2015. 11. 28. 15walk17. pdf
新発見 看板にひきつけられて
・街道筋の「餡子製造所・神戸牛牧場とJA「レインボーショップ」のコラボ

1. 1月末 酷寒の寒さも和らいで 春の足音を探す 2016. 1. 26. 16walk01. pdf
須磨網敷天満宮・離宮公園 春の花とハートバレンタイン展
1. 須磨 網敷天満宮の梅 2. 須磨 陽光の影が映り輝く須磨浦
3. 須磨離宮公園温室 春の花とハートバレンタイン展
2. <<早春のアルバム>> 神戸 神出の里 早春の雌岡山山麓 Walk 2016. 2. 26. 16walk02. pdf
弥生三月 春が生まれてる 春はもうそこまで
3. <<2016 神戸の春アルバム>> 早春から春爛漫に 神戸の春を駆ける 16walk03. pdf
◆神戸の春の海からの贈り物 「イカナゴ」漁と西播磨相生・室津の殻付き牡蠣
◆早春の大阪街散歩& 淀川3河川(桂川・宇治川・木津川)合流点 淀川背割り堤
◆3月27日 復活日(イースタ)
◆西神戸の里での例年の土筆とり & 久しぶりの春選抜野球の応援に
◆神戸でも 桜も咲き始め 野も街も桜満開 春爛漫に
◎ 神戸奥平野の「舞桜」と神戸市民の山 再度山の山桜
◎ 西播磨 佐用町漆野の「大糸桜」と姫新線千種川沿い桜堤
◎ 毎年春になると一番出会いたい 山の斜面で身を震わせる春の妖精「カタクリ」
4. <<2016 神戸の春アルバム>> 新緑の但馬路 氷ノ山山系大屋加保坂・ 16walk04. pdf
八手北の高層湿原に 氷河期の生き残りの水芭蕉を訪ねる 2016. 4. 20.
5. <<2016 神戸の春アルバム>> 六甲森林植物園 石楠花谷& 六甲高山植物園
<<2016 石楠花>> 新緑の六甲に石楠花・春の高山植物を訪ねる 2016. 5. 2. 16walk05. pdf
6. 新緑の西六甲縦走路 須磨アルプスの岩稜 馬の背
2016. 5. 21. 16walk06photoA. pdf
7. 春の終わりを飾るばら
16walk07photo. pdf
須磨離宮公園 ローズフェスティバル 2016 2016. 5. 21.
8. ひまわりの夏 2016 小野市ひまわりの丘 & 佐用のひまわり畑を訪ねる
16walk08. pdf
■小野市ひまわりの丘で
2016. 7. 11
■千種川が流れ下るたたら郷たたら郷 佐用のひまわり 2016. 7. 20.
■夏の冷風 佐用旧上月 櫛田の飛龍の滝 2016. 7. 20.
9. 2016 朝顔帳 2016 盛夏 夏の朝を爽やかにしてくれる朝顔 2016. 8月. 16walk09. pdf
10. 京都半日会 京朝顔展 京都府立植物園 2016. 8. 2.
16walk10. pdf
11. 京都 東山三十六峰越 walk【1】 京都にうれしい散歩古道の発見
京都市街と山科を結ぶ東山滑石越「滑石街道」を歩く 16walk11. pdf
12. 京都 東山三十六峰越 walk【2】 稻荷山降臨伝承の三ヶ峰から伏見稻荷大社へ
東山三十六峰南端の稻荷山 三ヶ峰越 横断ハイク 2016. 9. 12.
16walk12. pdf
13. 天然の滑り台!! 小野アルプス「紅山」南稜岩尾根ハイク 2016. 9. 24. 16walk13. pdf
14. 2016 秋桜 東播磨 志方の郷のコスモス畑 2016. 10. 15. 16walk14. pdf
15. 【Photo Album】 師走の紅葉 今年はずぐ近くで こんな紅葉に 2016. 12. 6. 16walk15. pdf
1. 須磨アルプス・妙法寺界限 2. 京都御所

2. 山口・美祢・長門の四季

<http://www.infokkna.com/ironroad/dock/ironroad.htm>

美祢・長門の四季【1】1998.-2003.

- ◆ 山口県長門市 湯本温泉 2001. 5 kaze06. pdf
- ◆ 田中講平先生の新しい陶房葉月を訪ねて 2002. 5. kaze14. pdf
- ◆ 春 草色に輝く秋吉台 カルスト台地 Walk 2002. 5. kaze15. pdf
- 1. オニックス・大理石と花の街 美祢市 1998. 1. sikimine01. pdf
- 2. 土井が浜弥生遺跡と人類学ミュージアム 土井が浜弥生パーク 1999. 5. sikimine02. pdf
- 3. 萩焼のふるさと 陶芸の里「長門深川」 1998. 1. sikimine03. pdf
- 4. 日本名水百選 別府弁天池湧水 秋吉カルスト台地の湧水 1997. 1. sikimine04. pdf
- 5. 初夏の草花 黒田さん宅の素晴らしいガーデニング 1999. 5. sikimine05. pdf
- 6. 美祢線の夏 於福駅付近 たたらの山 花尾山をバックに走るワンマーカー 1998. 8. sikimine06. pdf
- 7. 美祢夏便り 大理石シンポジウム ファイナーレ 1998. 8. sikimine07. pdf
- 8. 美祢・長門の秋の風物詩 1 秋芳なし 1998. 9. sikimine08. pdf
- 9. 美祢・長門の秋の風物詩 2 田のあぜの彼岸花 1998. 9. sikimine09. pdf
- 10. 山口県美祢・秋芳町の境にある河原上たたら製鉄遺跡 1996. 10. sikimine10. pdf
- 11. 第15回日本陶芸展 陶芸作家 田中講平先生 連続入選 1999. 6. sikimine11. pdf
- 12. 山口県美祢市に住んで5年 1998. 4. sikimine12. pdf
- 13. 西長門角島の夕暮れ & 秋芳 白糸の滝 2001. 1. sikimine13. pdf
- 14. 山口市吉敷に田中講平先生の新しい陶房葉月を訪ねて 2002. 5. sikimine14. pdf
- 15. 春 草色に輝く秋吉台 カルスト台地 Walk 2002. 5. sikimine15. pdf
- 16. 2002年秋 霧の中の美祢と小野田の銘菓 最中「セメンダル」 2002. 10. sikimine16. pdf

山口・美祢・長門の四季【2】2004

- 1. 山口県角島 浜木綿の花が咲く浜と角島大橋 2004. 7. 2mine01. pdf
- 2. 萩焼 陶房葉月 田中講平先生の作品 田中講平 広島作陶展より 2mine02. pdf
萩焼 花器と花のコラボレーション 2004. 5.
- 3. 萩焼きにほたる舞う」 2004. 10. 2mine03. pdf

山口・美祢・長門の四季【3】2005

- 1. 田中講平さんの素晴らしい作品展示館 「GALLERY HAZUKI」を訪れて 2005. 10. 3mine01. pdf
オールカラー鋼板の斬新な建物に感激
- 2. 久々の下関で おもしろかった下関唐戸市場 2題 2005. 10 3mine02. pdf

山口・美祢・長門の四季【4】2006.

- 1. 6月の山口に広がる田園風景 山口吉敷の里と油谷半島の棚田 2006. 6. 4mine01. pdf
- 2. 写真アルバム山口・長門の秋 2006 美祢の朝霧 2006. 11. 4mine02. pd
 - 1. 晩秋 美祢の朝霧 美祢市来福台で
 - 2. 秋芳町から山口へ 秋吉カルスト台地 & 鳳翔山 山麓で
 - 山口吉敷の郷 赤田神社の紅葉 ● 秋芳町 別府弁天池
 - 3. 萩で 国民文化祭 陶芸展と萩の街
 - 4. 津和野の秋

山口・美祢・長門の四季【5】2007

1. 美祢 市街を流れる厚狭川の桜 2007. 4. 15. 5mine01. pdf
美祢のYさんからメールで送っていただきました
2. 久しぶりに童謡詩人「金子みすず」の街 長門市仙崎を訪ねました 2007. 6. 29. 5mine02. pdf
3. 写真アルバム 防府 阿弥陀寺のあじさい 2007. 6. 12. 5mine03. pdf
4. 写真アルバム 山口 県油谷半島 棚田の夕景 東後田の6月 2007. 7. 11. 5mine04. pdf
美祢市のYさんからの写真メール

山口・美祢・長門の四季【6】2008

1. 山口 美祢からの便り 2008. 3. 12. 6mine01. pdf
復元された古代の円筒炉で 銅製錬実験が行われました
奈良の大仏の採銅所 古代の長登銅山遺跡のイベント
2. 美祢 N.Y.さん からの桜便り 2008. 4. 7. 6mine02. pdf
美祢桜山の桜に遊ぶ めじろ と 岩国錦帯橋の桜
3. 日本最古の銅山 奈良の大仏の銅を産出した「長登銅山」を訪ねて 2008. 6. 10. 6mine03. pdf
 1. 日本最古の銅山 奈良の大仏の銅を産出した「長登銅山」概要
 2. 「長登銅山」と奈良の大仏 長登銅山の変遷と日本国内銅生産事情概説
 3. 日本最古の銅山 奈良の大仏の銅を産出した「長登銅山」Walk
 4. 長登銅山の銅鉱床・銅鉱石の変遷と銅製錬技術
銅の製錬も 鉄と同じく 一筋縄ではなかった
 5. 東大寺大仏と 重源
東大寺大仏殿の焼失後 山口県佐波川上流の山 徳地の木材で再建された 山口市徳地町
4. 【写真アルバム】 佐々木小次郎/宮本武蔵血統の場 下関海峡 巖流島 2008. 6. 7 6mine04. pdf

山口・美祢・長門の四季【7】2009.

1. 【写真アルバム】 霧雨に煙る美祢の6月 2009.6.5. 7mine01. pdf
2. 蒭萩焼の主原料土「大道土」の採取地 鑄銭司・大道を訪ねる 2009.6.6. 7mine02. pdf

山口・美祢・長門の四季【8】2010

1. 美祢市於福に店内に野菜生産工場がある野菜レストラン誕生 美祢も新しい街の息吹が・・・ 2010.8.2. 8mine01. pdf

山口・美祢・長門の四季【9】2011

1. 初窯・本焚きの見学記 山口市吉敷 萩焼陶芸家 田中講平さん自作の登り窯 2011.1.15. 9mine01. pdf
田中講平さん自作の萩焼登り窯の初窯・本焚きの一日
2. 梅雨の晴れ間 山口県美祢カルスト台地で 2011.5.24.-5.26. 9mine02. pdf
美祢の山郷・水が張られた棚田・麦秋・バラの花

山口・美祢・長門の四季【10】2012

1. 2012 初夏の山口美祢【1】 私の心に残る風景 初夏 美祢の田園風景 2012.5.25.~5.29. 10mine01. pdf
誰にも 記憶にとどめておきたい心の風景がある 美祢の初夏は そんな私の心に残る風景
2. 2012 初夏の山口美祢【2】 森に包まれた美祢湖 初夏の野の花 walk 2012.5.26. 10mine02. pdf
3. 2012 初夏の山口美祢【3】 初夏の秋吉台カルスト 野の花 walk 2012.5.26 10mine03. pdf
アザミなど 初夏の野草を見たくてカルスト台地内の散策路を歩く